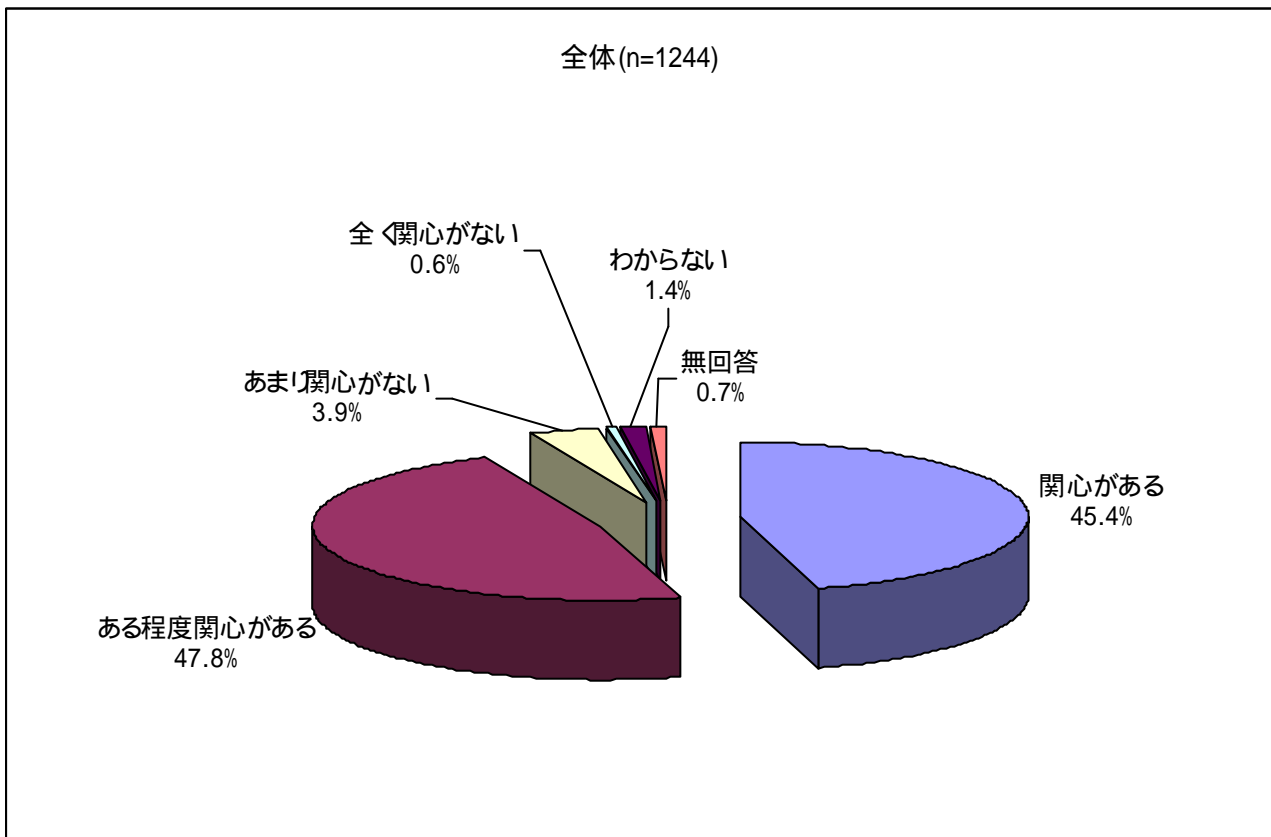


# 環境にやさしいまちづくり

## 1 地球温暖化について

### 地球温暖化問題への関心度

問3 あなたは、地球温暖化問題についてどの程度関心がありますか。次の中から、あてはまるものに 1つ をつけてください。



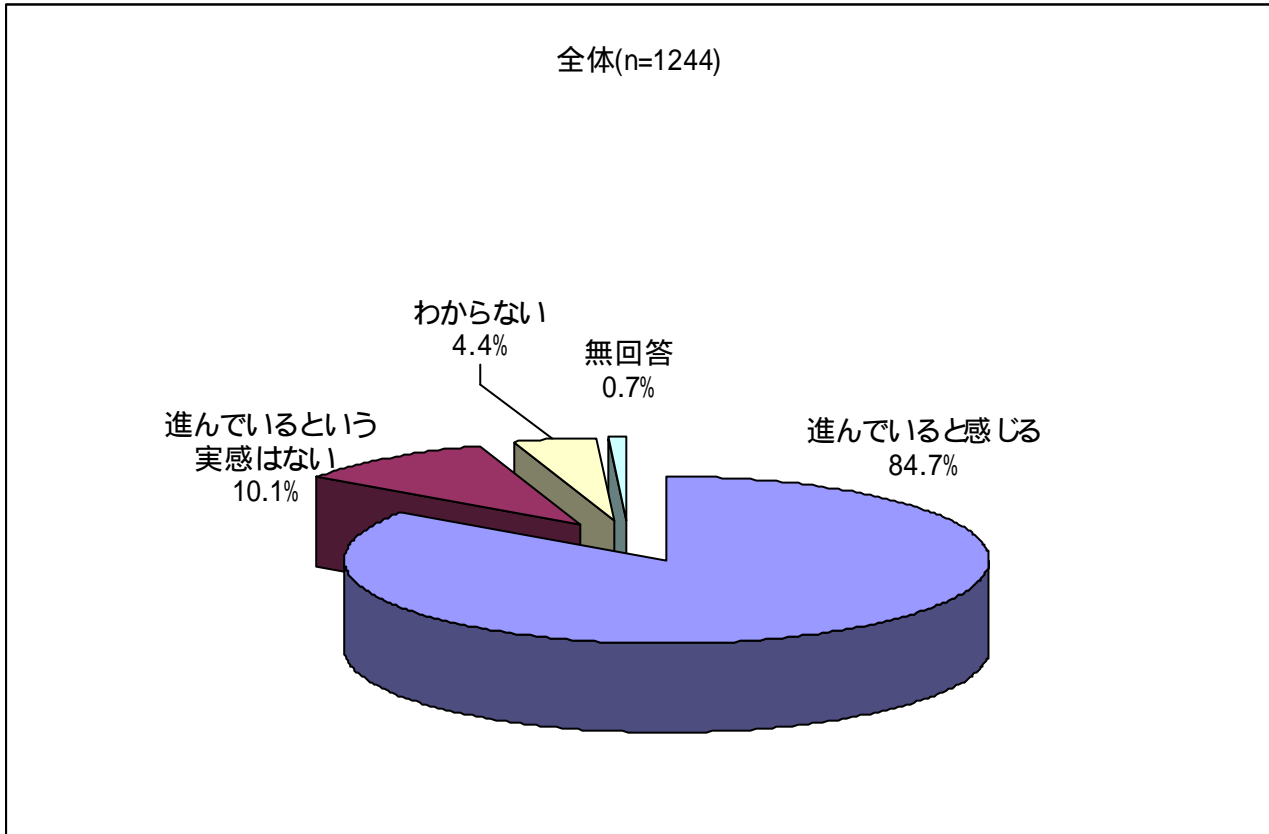
地球温暖化問題については、「関心がある」が 45.4%、「ある程度関心がある」が 47.8%、これらを合わせた“関心がある”は 93.2%、となっている。

これに対して、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた“関心がない”は 4.5%、となっている。

地球温暖化問題については、“関心がある”(「関心がある」+「ある程度関心がある」)が 93.2%。

## 地球温暖化に対する実感

問4 あなたは、地球温暖化が進んでいると感じますか。次の中から、あてはまるものに1つをつけてください。



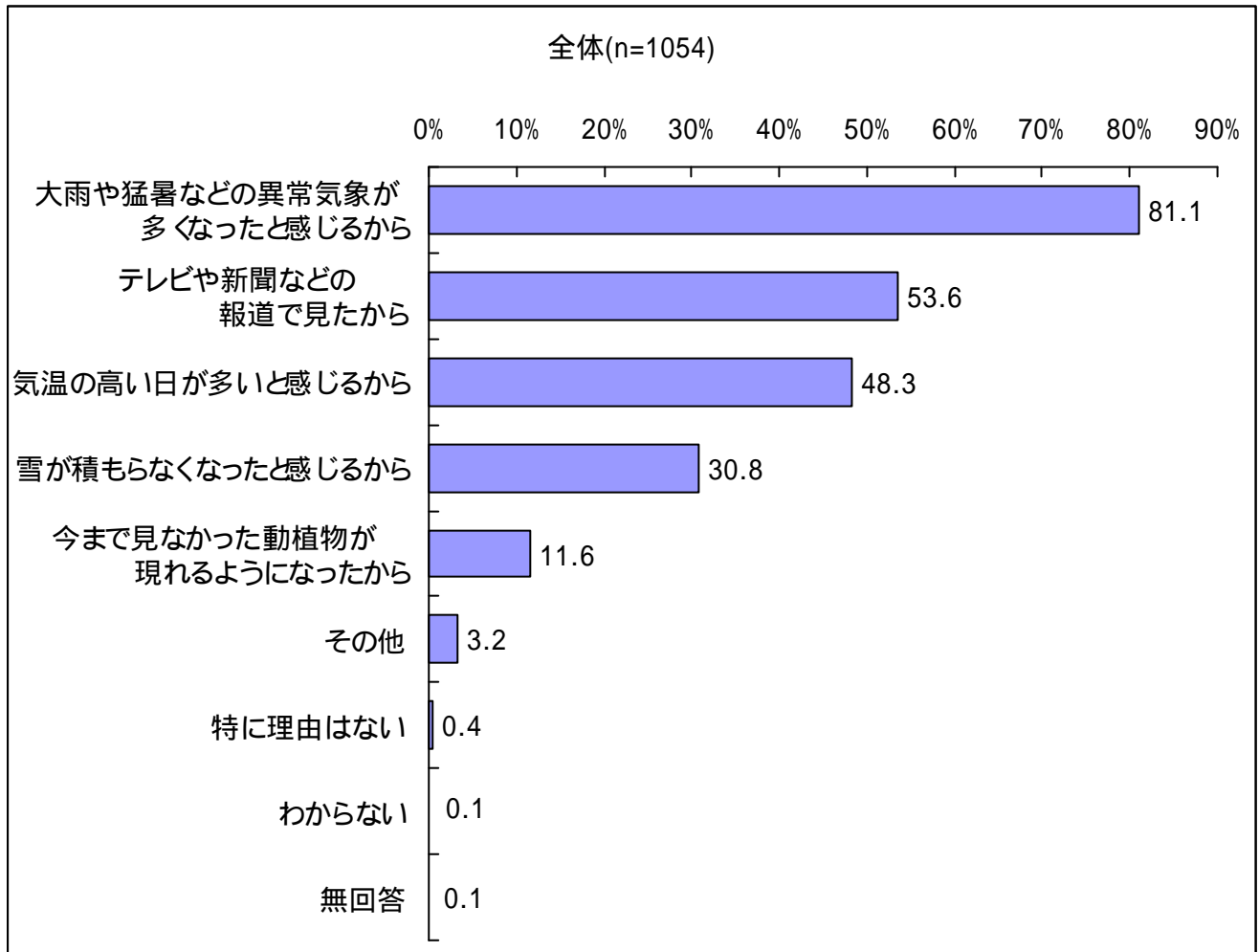
地球温暖化が「進んでいると感じる」が84.7%、これに対して、「進んでいるという実感はない」が10.1%、となっている。

地球温暖化に対する実感については、「進んでいると感じる」が84.7%。

## 地球温暖化を実感する理由

《問4で「1 進んでいると感じる」と答えた方にお聞きします》

問4の1 地球温暖化が進んでいると感じる理由は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでもをつけてください。

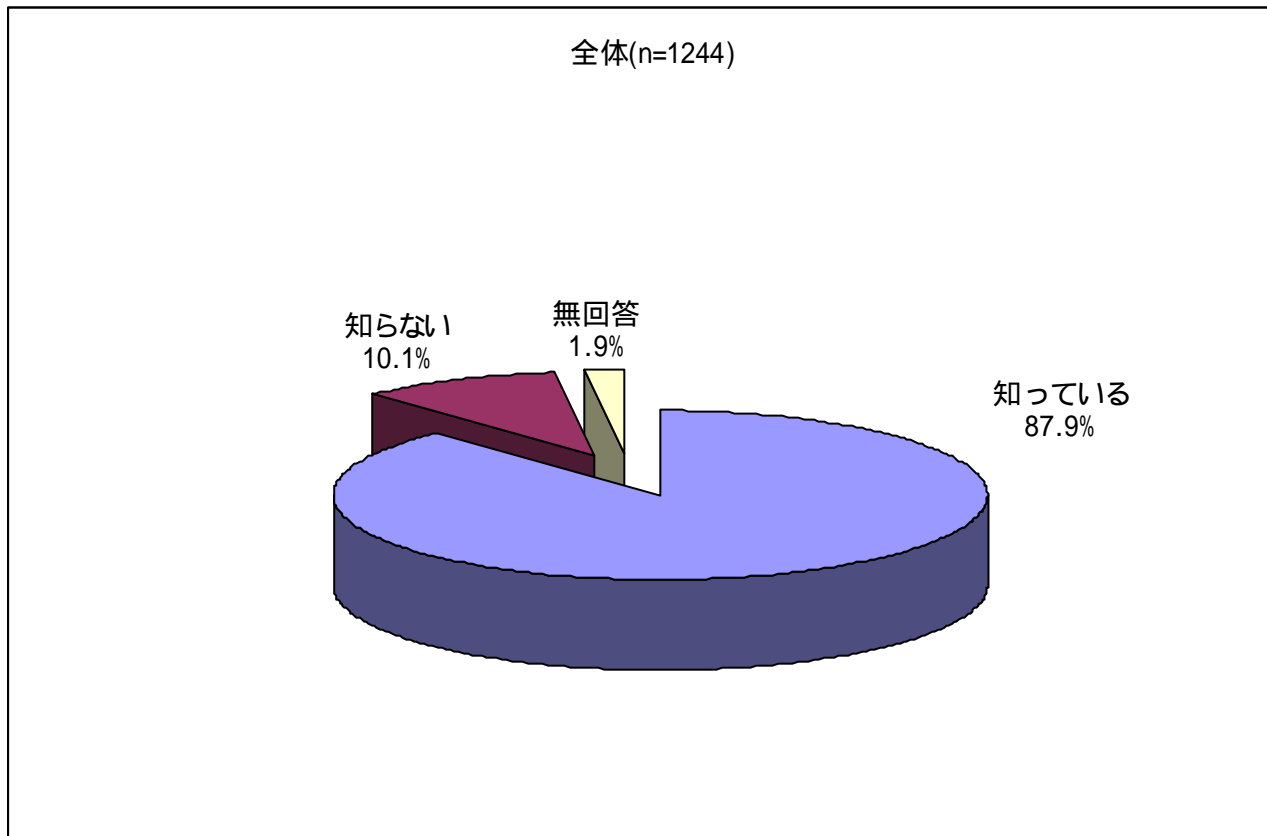


地球温暖化が進んでいると感じる理由は、「大雨や猛暑などの異常気象が多くなったと感じるから」が 81.1%で第1位、「テレビや新聞などの報道で見たから」が 53.6%、「気温の高い日が多いと感じるから」が 48.3%、「雪が積もらなくなったと感じるから」が 30.8%、となっている。

地球温暖化を実感する理由は、「大雨や猛暑などの異常気象が多くなったと感じるから」が 81.1%で第1位、「テレビや新聞などの報道で見たから」が 53.6%で第2位。

## 地球温暖化の主な原因（温室効果ガスの増加）の認識

問5 あなたは、地球温暖化の主な原因が温室効果ガス（二酸化炭素やメタンなど）の増加であることを知っていますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。



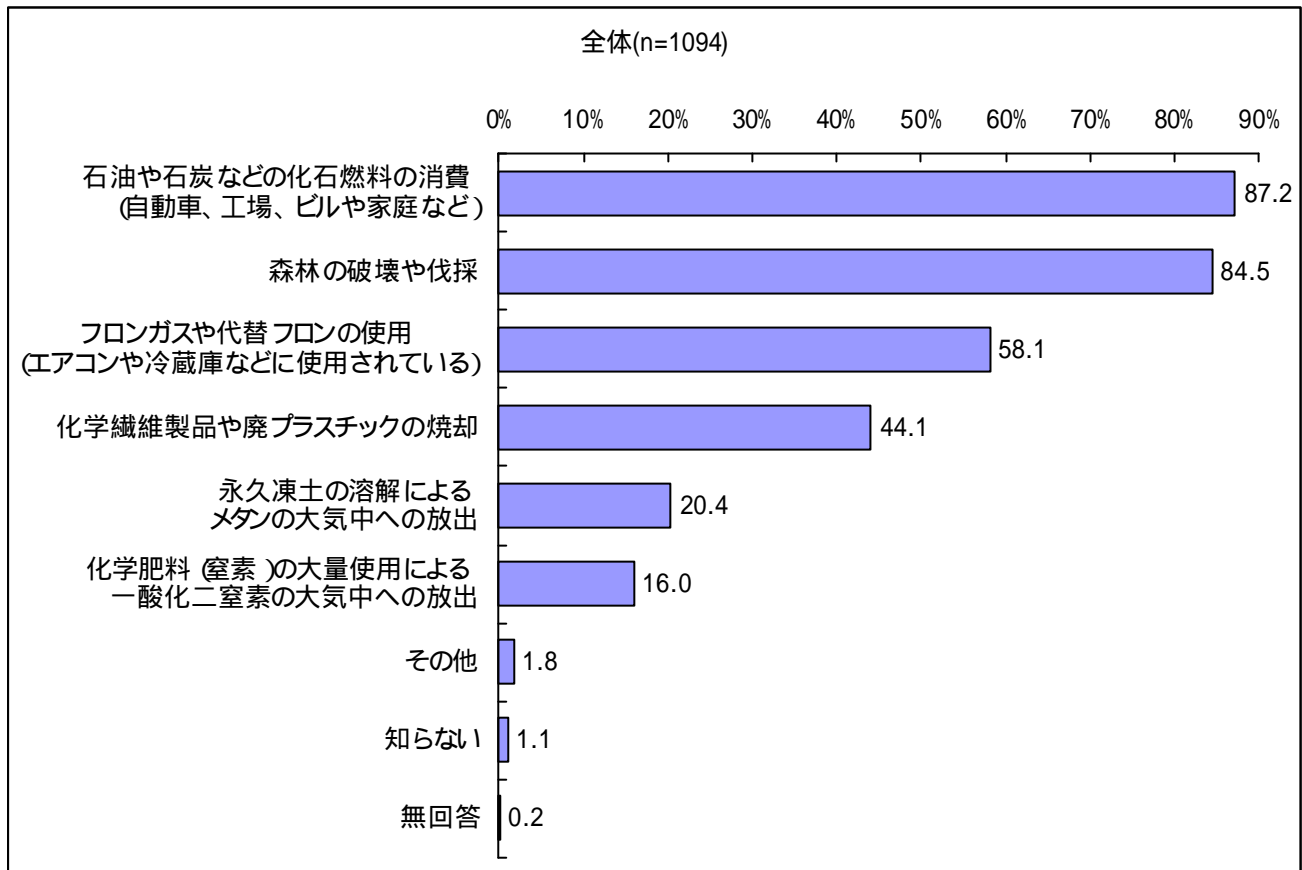
地球温暖化の主な原因が温室効果ガスの増加であることについては、「知っている」が 87.9%、「知らない」が 10.1%、となっている。

地球温暖化の主な原因が温室効果ガスの増加であることを「知っている」が 87.9%。

## 温室効果ガスが増加する主な原因

問5で「1 知っている」と答えた方にお聞きします》

問5の1 あなたは、温室効果ガスが増加する主な原因としてどんなことを知っていますか。  
次の中から、あてはまるものいくつでも をつけてください。

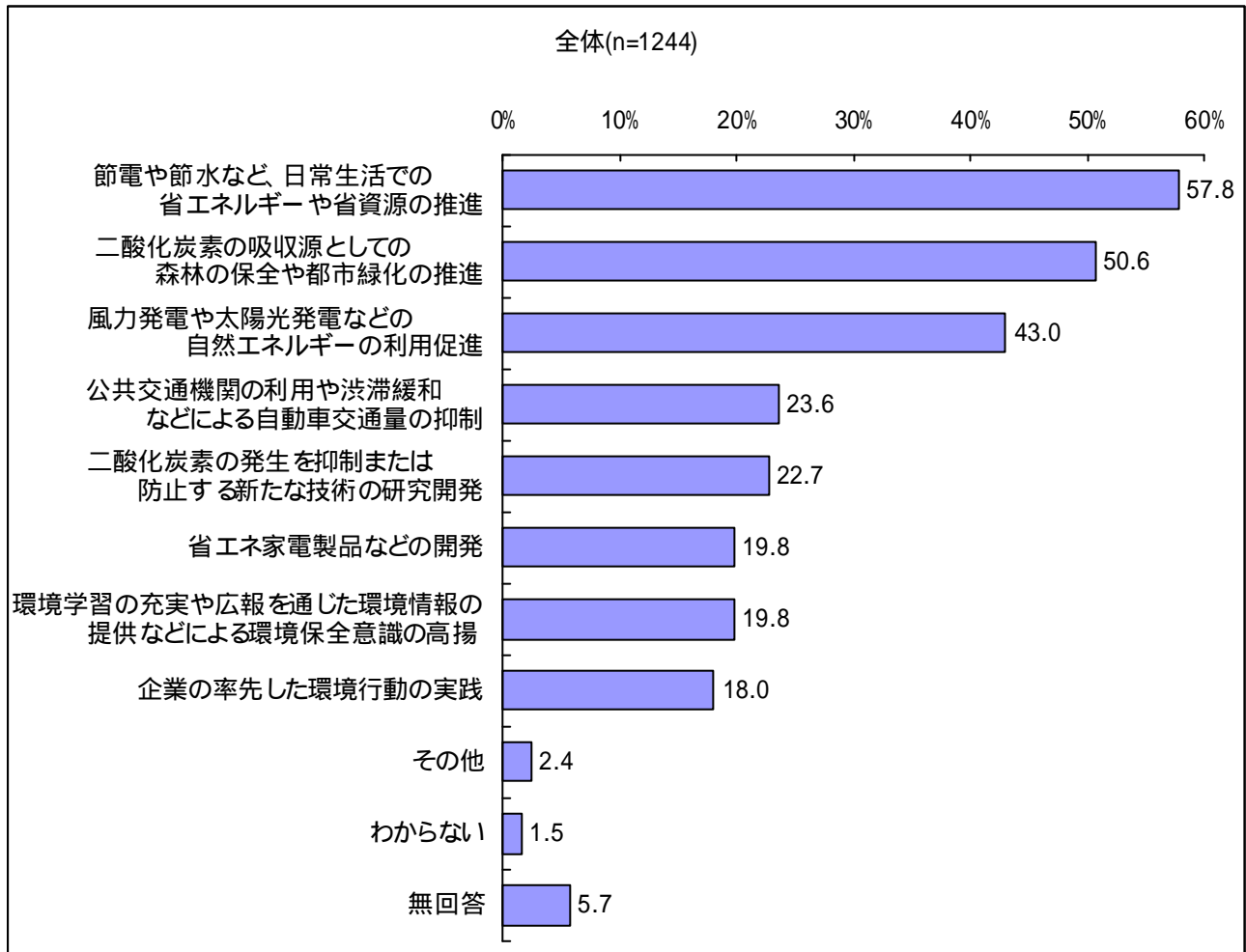


温室効果ガスが増加する主な原因として認識している事については、「石油や石炭などの化石燃料の消費」が 87.2%で第1位、「森林の破壊や伐採」が 84.5%、「フロンガスや代替フロンの使用」が 58.1% となっている。

温室効果ガスが増加する主な原因として認識している事は、「石油や石炭などの化石燃料の消費」が 87.2%で第1位、「森林の破壊や伐採」が 84.5%で第2位。

## 地球温暖化防止策

問6 日本の温室効果ガス排出量の約9割は、石油などの化石燃料を使用した際に発生する二酸化炭素であり、近年、家庭での日常生活におけるエネルギー排出量も増えてきています。あなたは、地球温暖化を防止するためにどんなことが重要だと思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものに3つまで をつけてください。

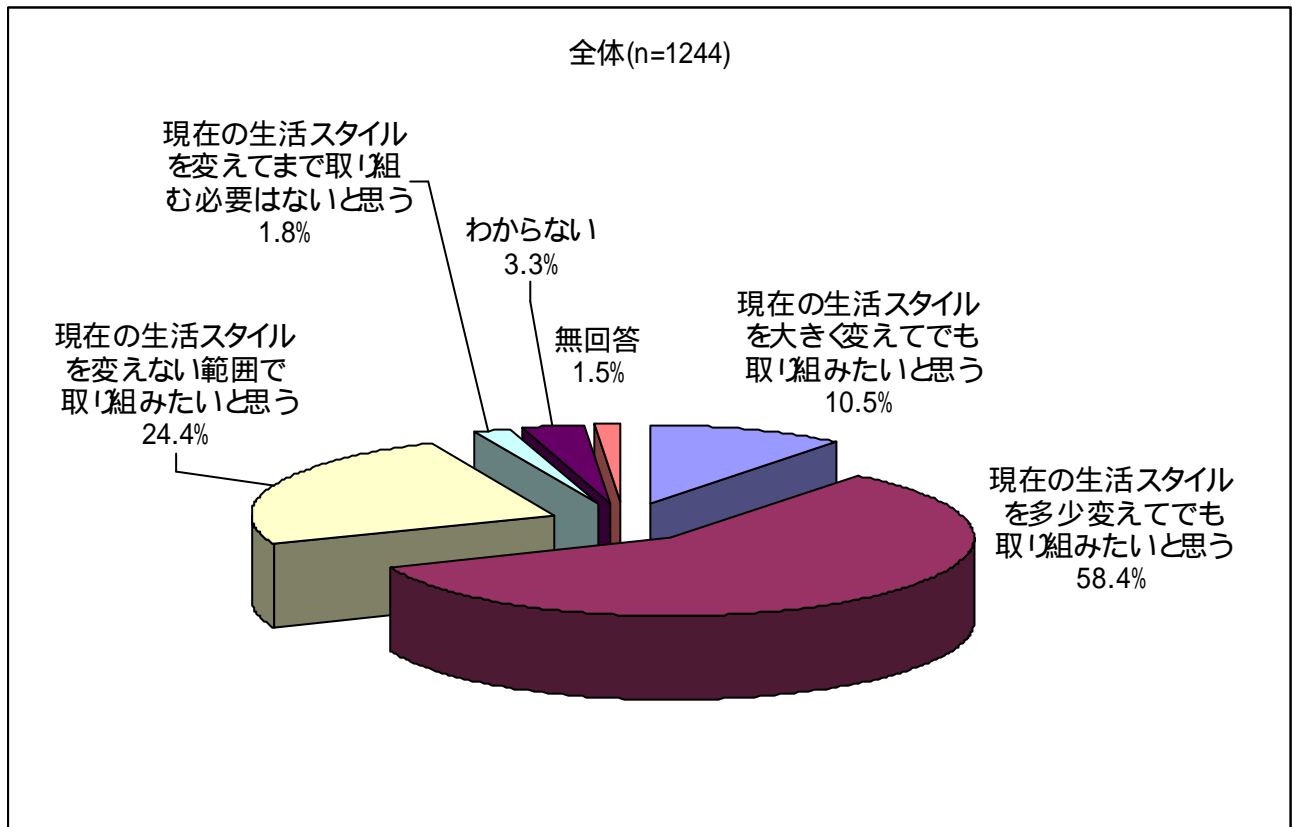


地球温暖化防止策としては、「節電や節水など、日常生活での省エネルギーや省資源の推進」が57.8%で第1位、「二酸化炭素の吸収源としての森林の保全や都市緑化の推進」が50.6%、「風力発電や太陽光発電などの自然エネルギーの利用促進」が43.0%、となっている。

地球温暖化防止策としては、「節電や節水など、日常生活での省エネルギーや省資源の推進」が57.8%で第1位、「二酸化炭素の吸収源としての森林の保全や都市緑化の推進」が50.6%で第2位。

## 生活スタイル見直しの意識

問7 地球温暖化を防止する上では、現在の大量生産・大量消費型の生活スタイルは見直しが必要です。あなたは、生活スタイルの見直しについてどう思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものに1つ をつけてください。



地球温暖化を防止する上での生活スタイルの見直しについては、「現在の生活スタイルを多少変えてでも取り組みたいと思う」が58.4%で第1位、「現在の生活スタイルを変えない範囲で取り組みたいと思う」が24.4%、「現在の生活スタイルを大きく変えてでも取り組みたいと思う」が10.5%となっており、これらを合わせた“生活スタイルを見直したいと思う”は93.3%となっている。

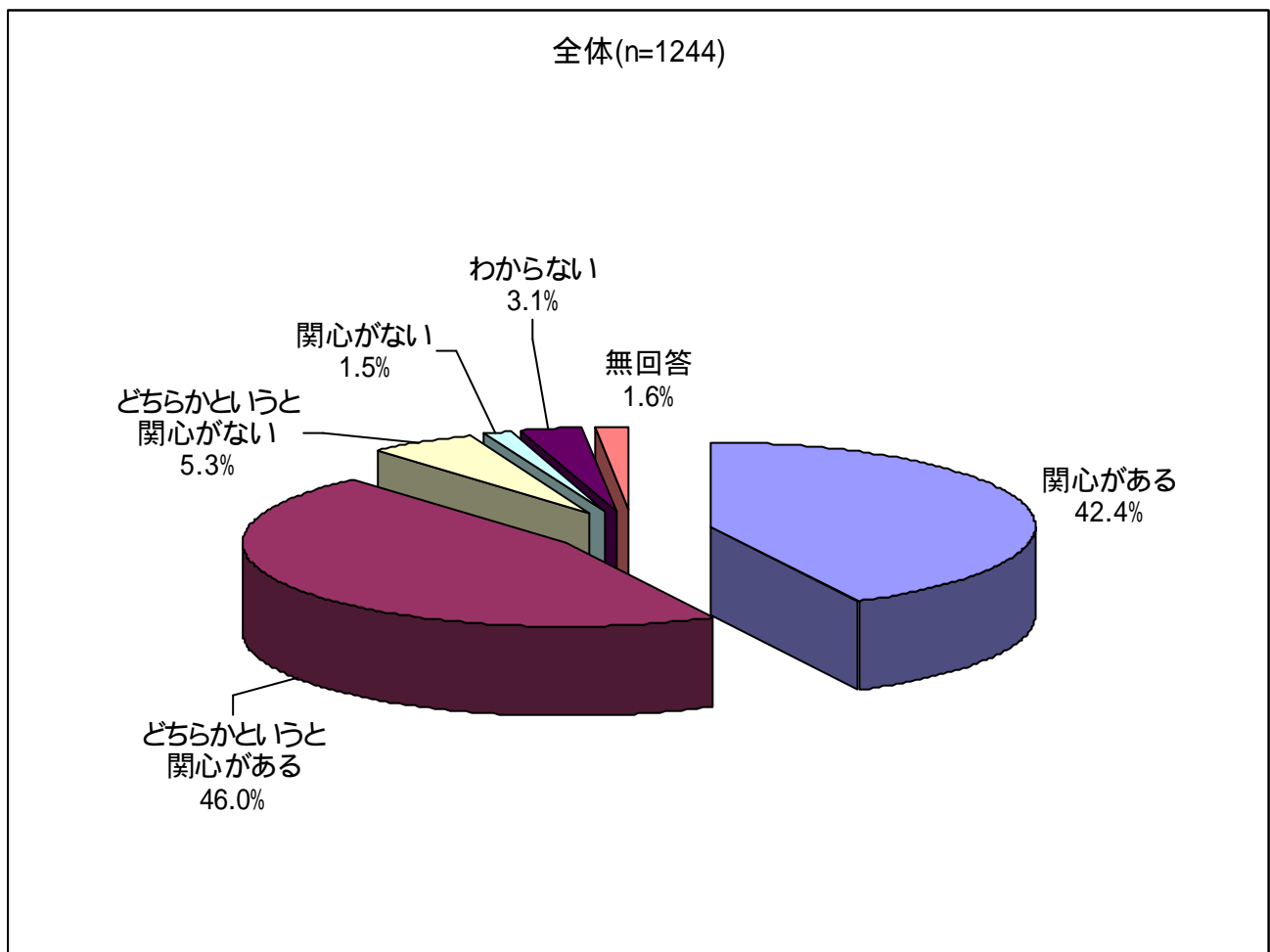
これに対して、「現在の生活スタイルを変えてまで取り組む必要はないと思う」は1.8%と極めて低い。

生活スタイル見直しの意識については、“変えてでも取り組みたい”(「現在の生活スタイルを大きく変えてでも取り組みたいと思う」+「現在の生活スタイルを多少変えてでも取り組みたいと思う」)が68.9%、“変えない範囲で取り組みたい”が24.4%。

## 2 家庭生活での環境に配慮した取り組みについて

### エコライフへの関心度

問8 あなたは、環境に配慮した生活（エコライフ）に関心がありますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。



環境に配慮した生活（エコライフ）への関心度は、「どちらかというに関心がある」が46.0%、「関心がある」が42.4%、これらを合わせた“関心がある”は88.4%、となっている。

これに対して、「どちらかというに関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”は6.8%、となっている。

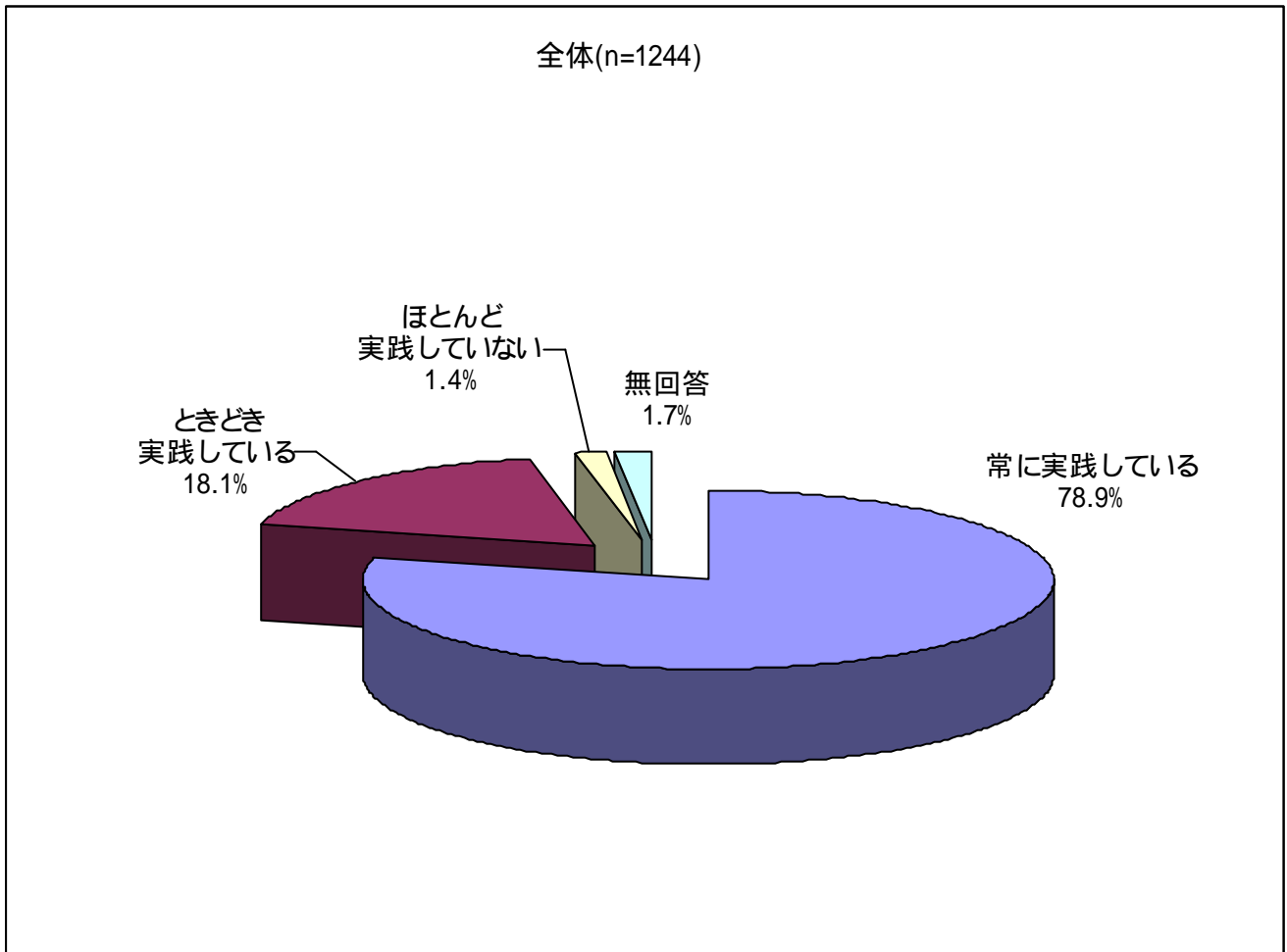
エコライフについては、“関心がある”（「関心がある」+「どちらかというに関心がある」）が88.4%。



## エコライフの実践頻度（部屋の明かり）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[1 使用していない部屋の明かりをこまめに消す]



エコライフの実践頻度で“部屋の明かりをこまめに消す”については、「常に実践している」が78.9%、「ときどき実践している」が18.1%、となっている。

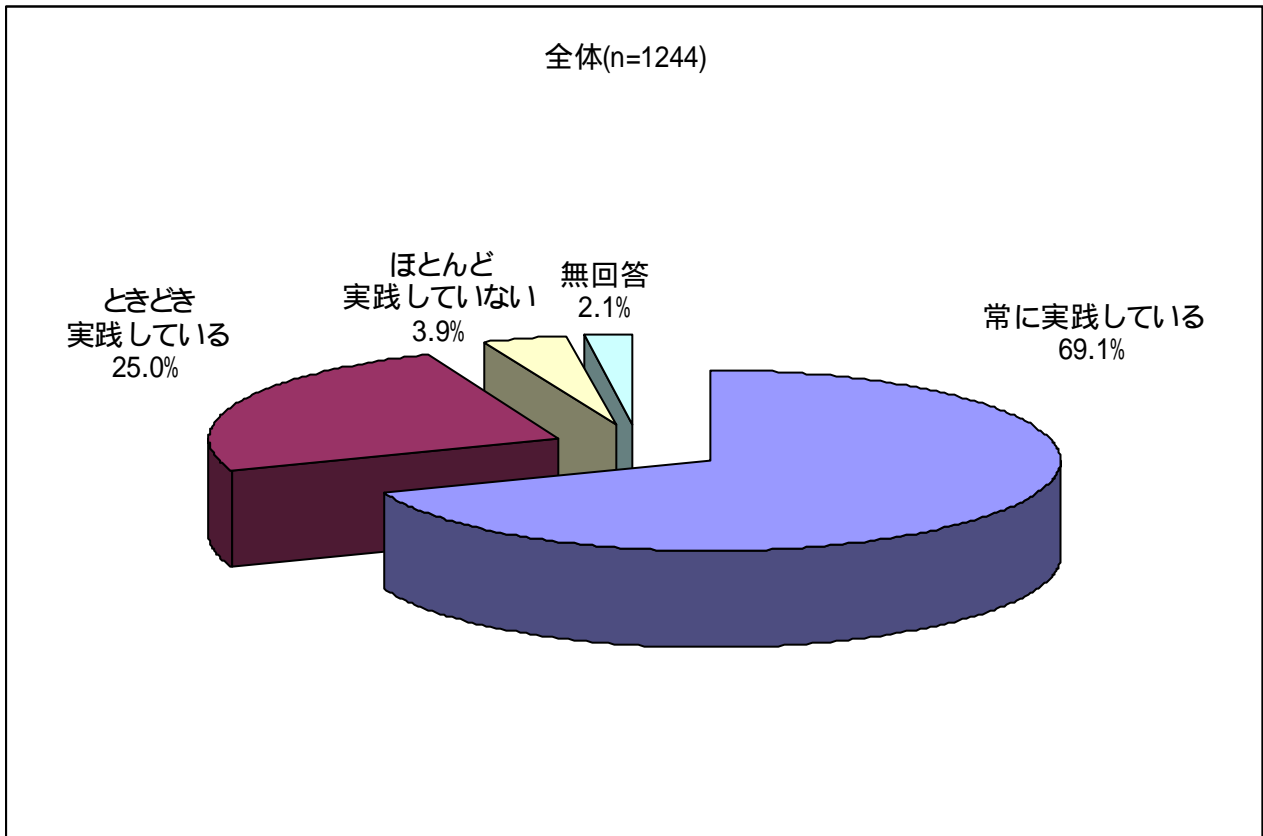
これに対して、「ほとんど実践していない」は1.4%、となっている。

“部屋の明かりをこまめに消す”は、78.9%の人が「常に実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（テレビ）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[2 テレビを見ていないときは消す]



エコライフの実践頻度で“テレビを見ていないときは消す”については、「常に実践している」が69.1%、「ときどき実践している」が25.0%となっている。

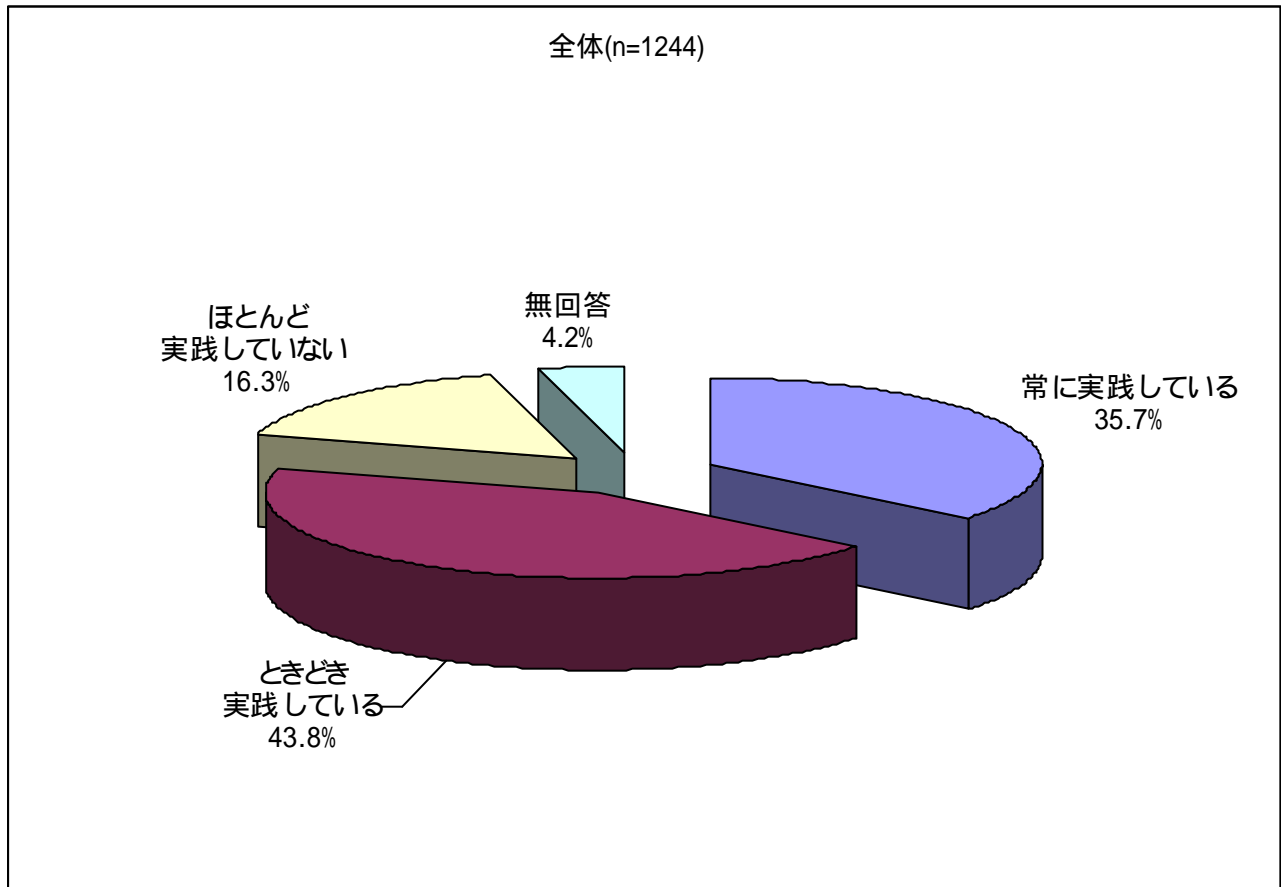
これに対して、「ほとんど実践していない」は3.9%となっている。

“テレビを見ていないときは消す”は、69.1%の人が「常に実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（冷蔵庫）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[3 冷蔵庫の中を整理整頓し、詰めすぎない]



エコライフの実践頻度で“冷蔵庫の中を整理整頓し、詰めすぎない”については、「常に実践している」が35.7%、「ときどき実践している」が43.8%、となっている。

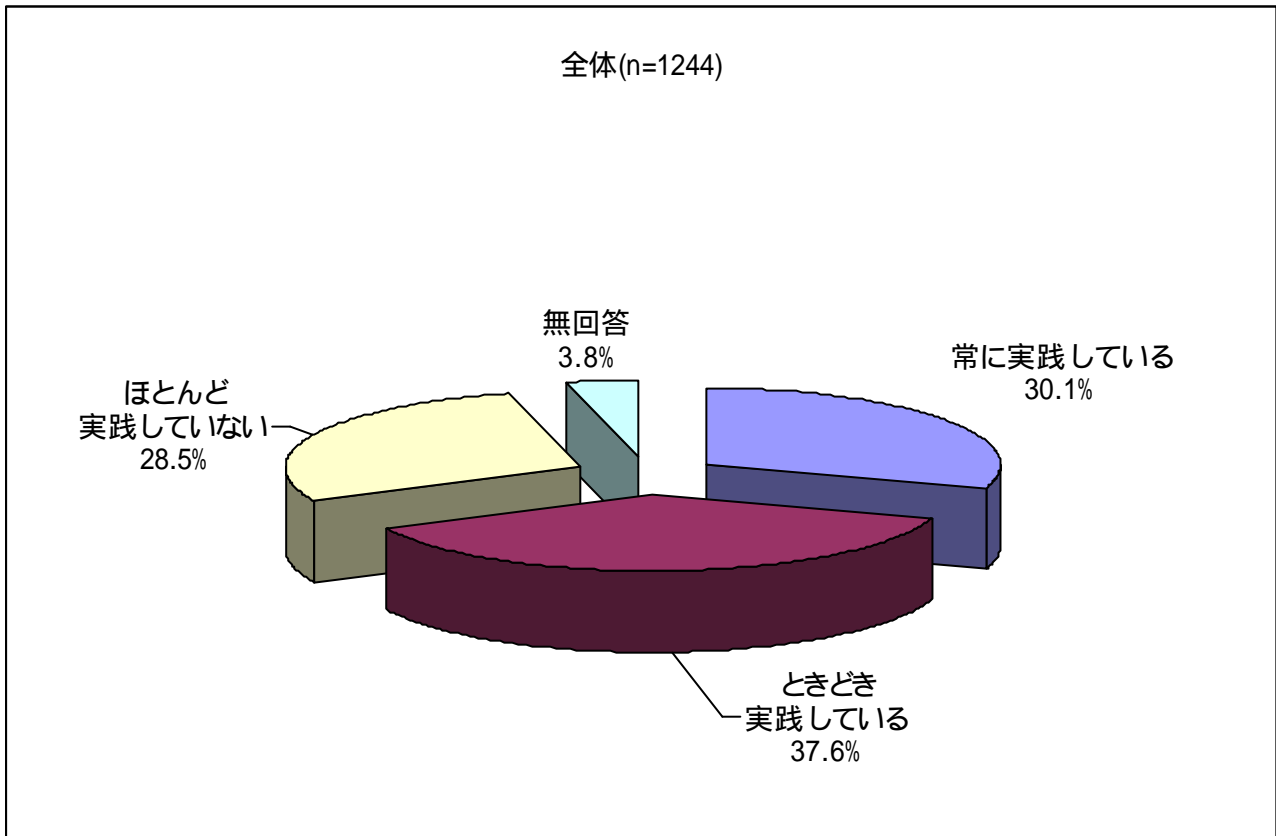
これに対して、「ほとんど実践していない」は16.3%、となっている。

“冷蔵庫の中を整理整頓し、詰めすぎない”は、35.7%の人が「常に実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（食器）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[4 食器は余分な汚れをふき取ってから洗う]



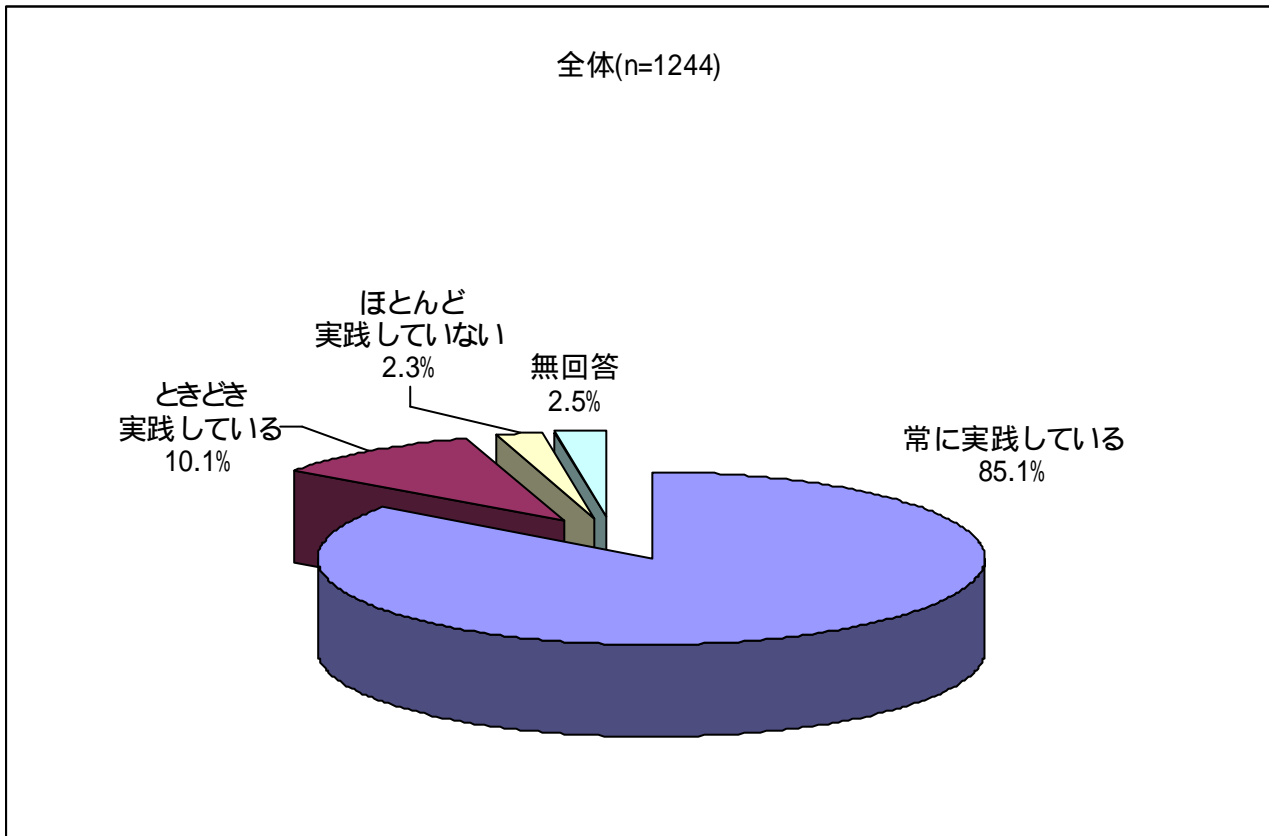
エコライフの実践頻度で“食器は余分な汚れをふき取ってから洗う”については、「常々実践している」が30.1%、「ときどき実践している」が37.6%、となっている。  
これに対して、「ほとんど実践していない」は28.5%、となっている。

“食器は余分な汚れをふき取ってから洗う”は、30.1%の人が「常々実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（ごみ）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[5 ごみの分別をきちんとする]



エコライフの実践頻度で“ごみの分別をきちんとする”については、「常々実践している」が85.1%、「ときどき実践している」が10.1%、となっている。

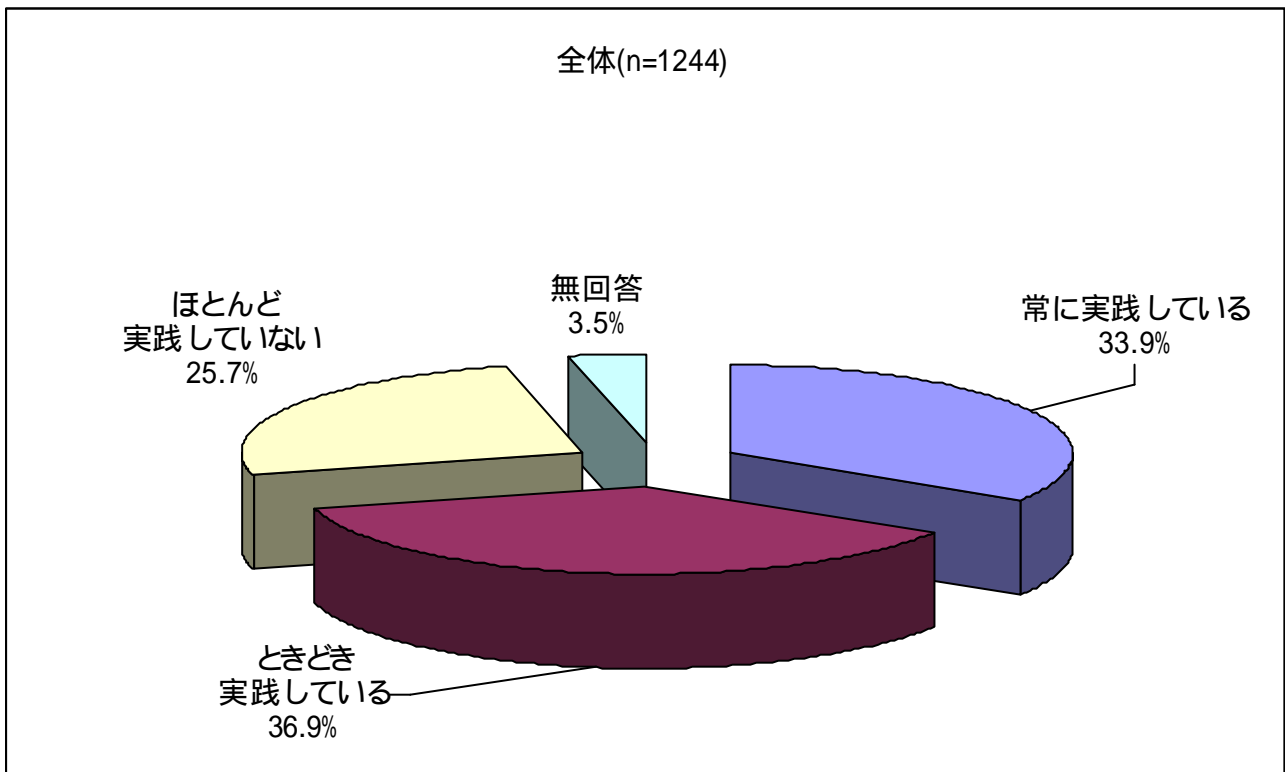
これに対して、「ほとんど実践していない」は2.3%、となっている。

“ごみの分別をきちんとする”は、85.1%の人が「常々実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（マイバック）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[6 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋をもらわない]



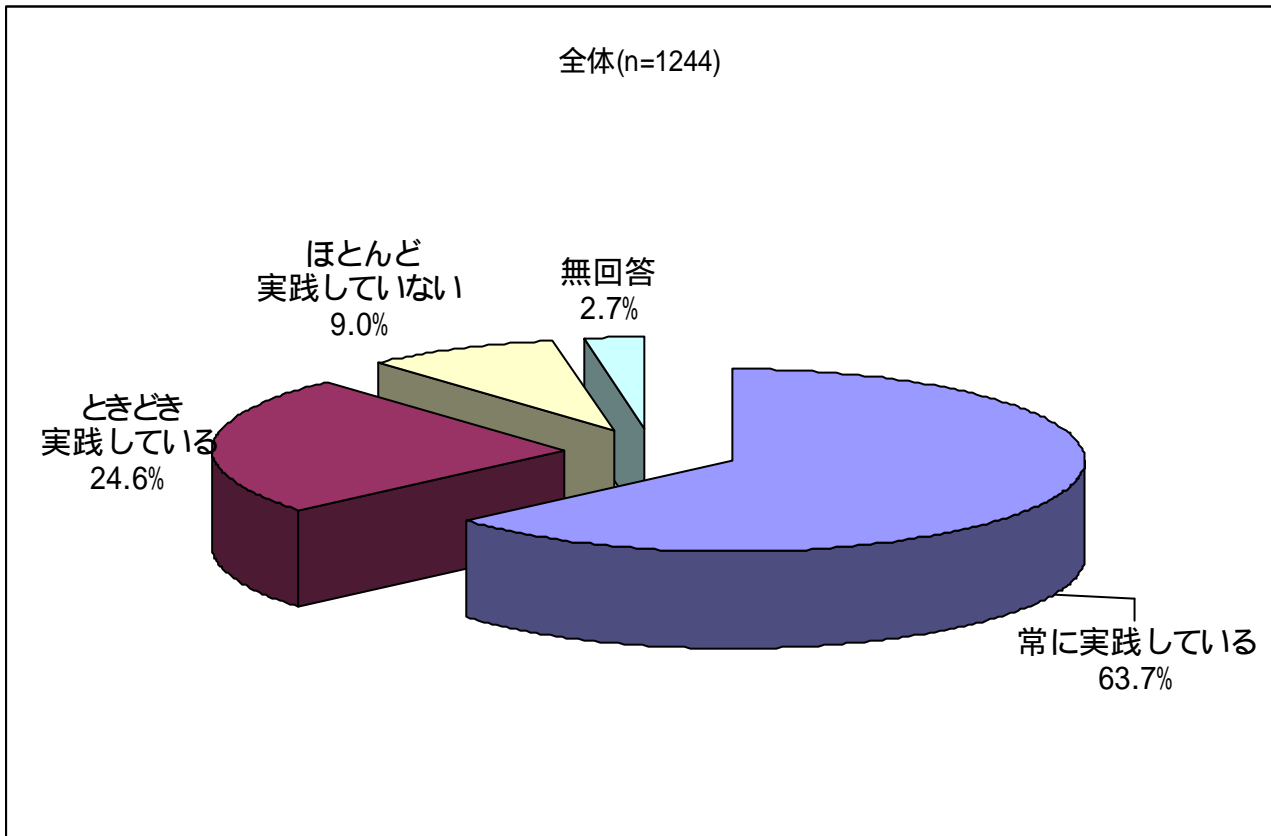
エコライフの実践頻度で“買い物にはマイバックを持参し、レジ袋をもらわない”については、「常々実践している」が33.9%、「ときどき実践している」が36.9%、となっている。  
これに対して、「ほとんど実践していない」は25.7%、となっている。

“買い物にはマイバックを持参し、レジ袋をもらわない”は、33.9%の人が「常々実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（洗濯）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[7 洗濯はまとめ洗いをする]



エコライフの実践頻度で“洗濯はまとめ洗いをする”については、「常々実践している」が63.7%、「ときどき実践している」が24.6%、となっている。

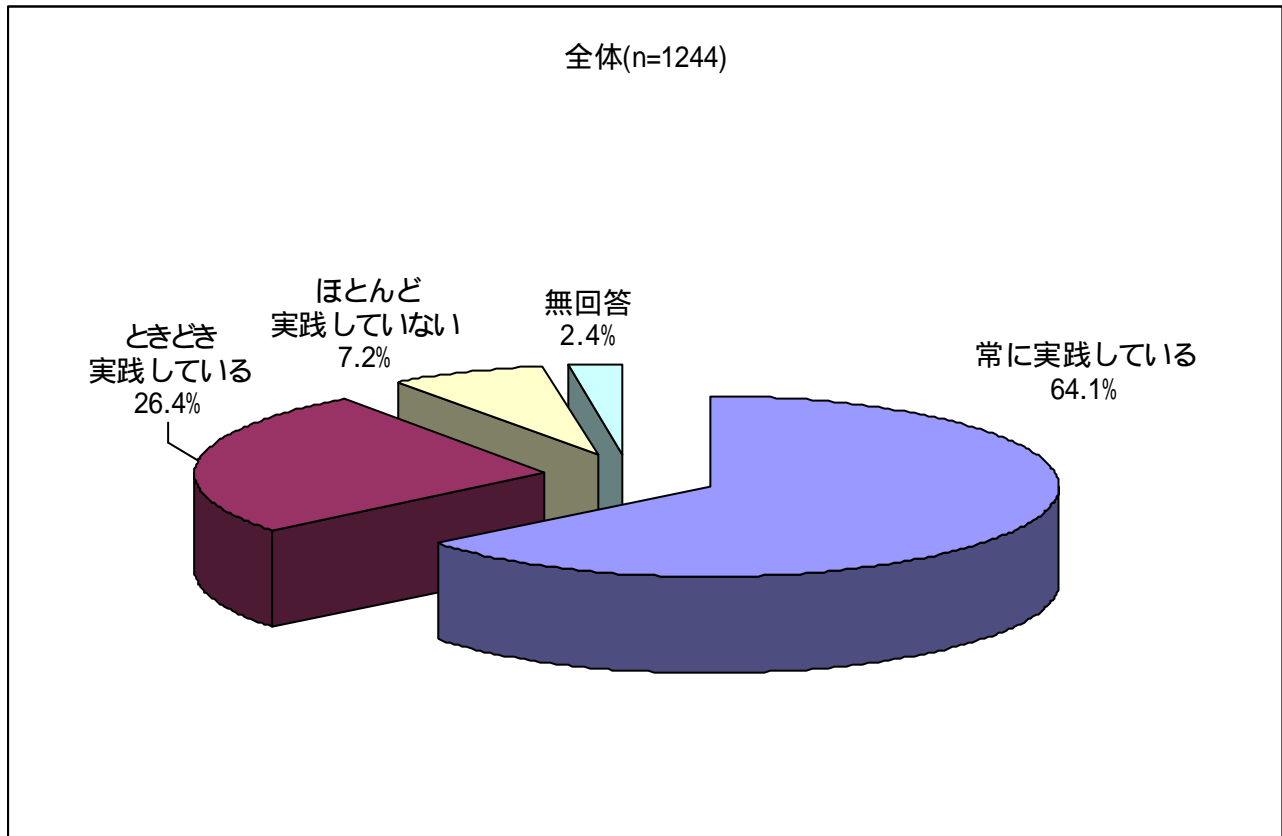
これに対して、「ほとんど実践していない」は9.0%、となっている。

“洗濯はまとめ洗いをする”は、63.7%の人が“常々実践している”と回答している。

## エコライフの実践頻度（シャワー）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[8 入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせずこまめに止める]



エコライフの実践頻度で“入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせずこまめに止める”については、「常に実践している」が64.1%、「ときどき実践している」が26.4%、となっている。

これに対して、「ほとんど実践していない」は7.2%、となっている。

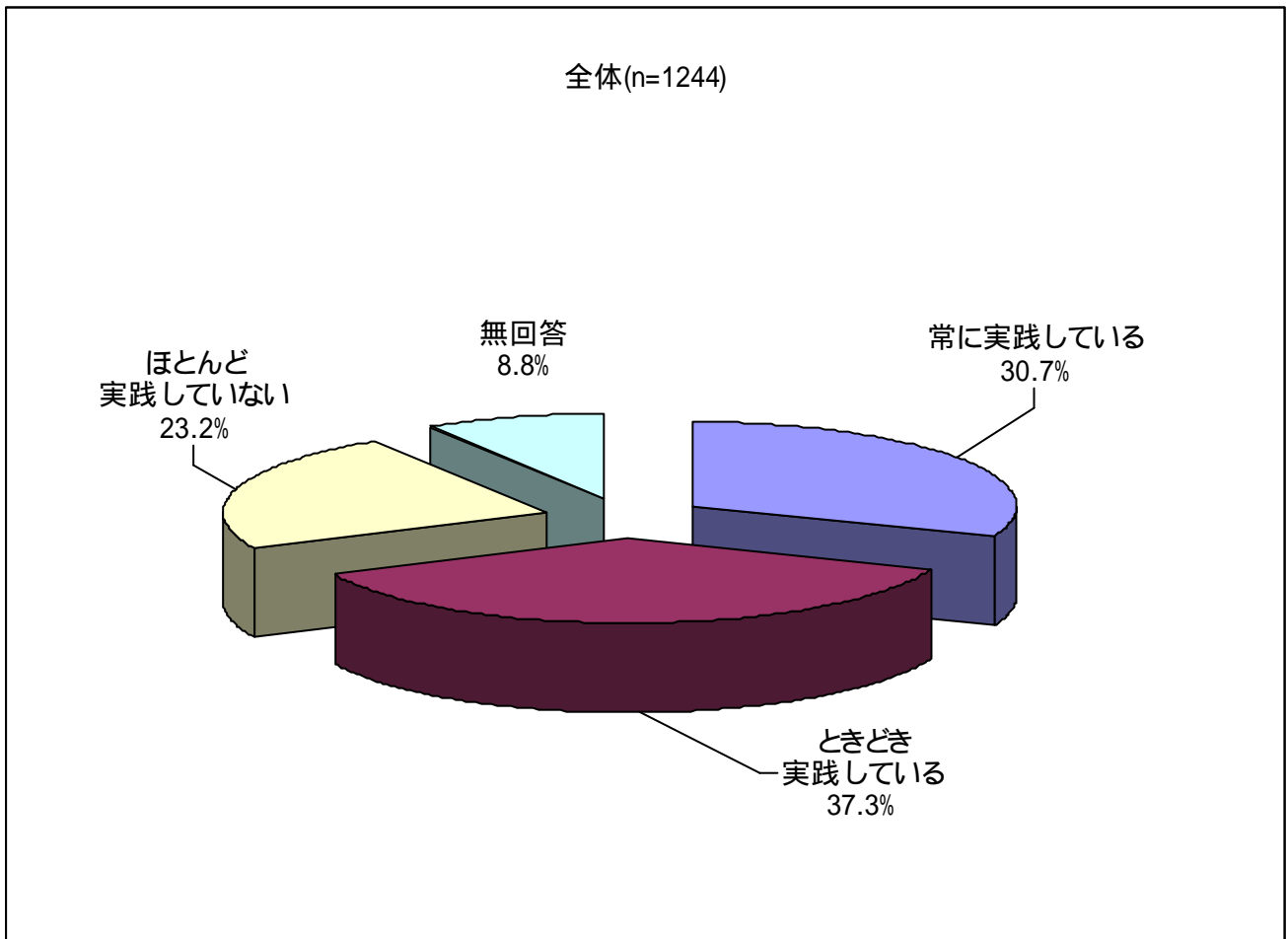
“入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせずこまめに止める”は、64.1%の人が「常に実践している」と回答している。



## エコライフの実践頻度（マイカー）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[9 マイカーの利用を控える]



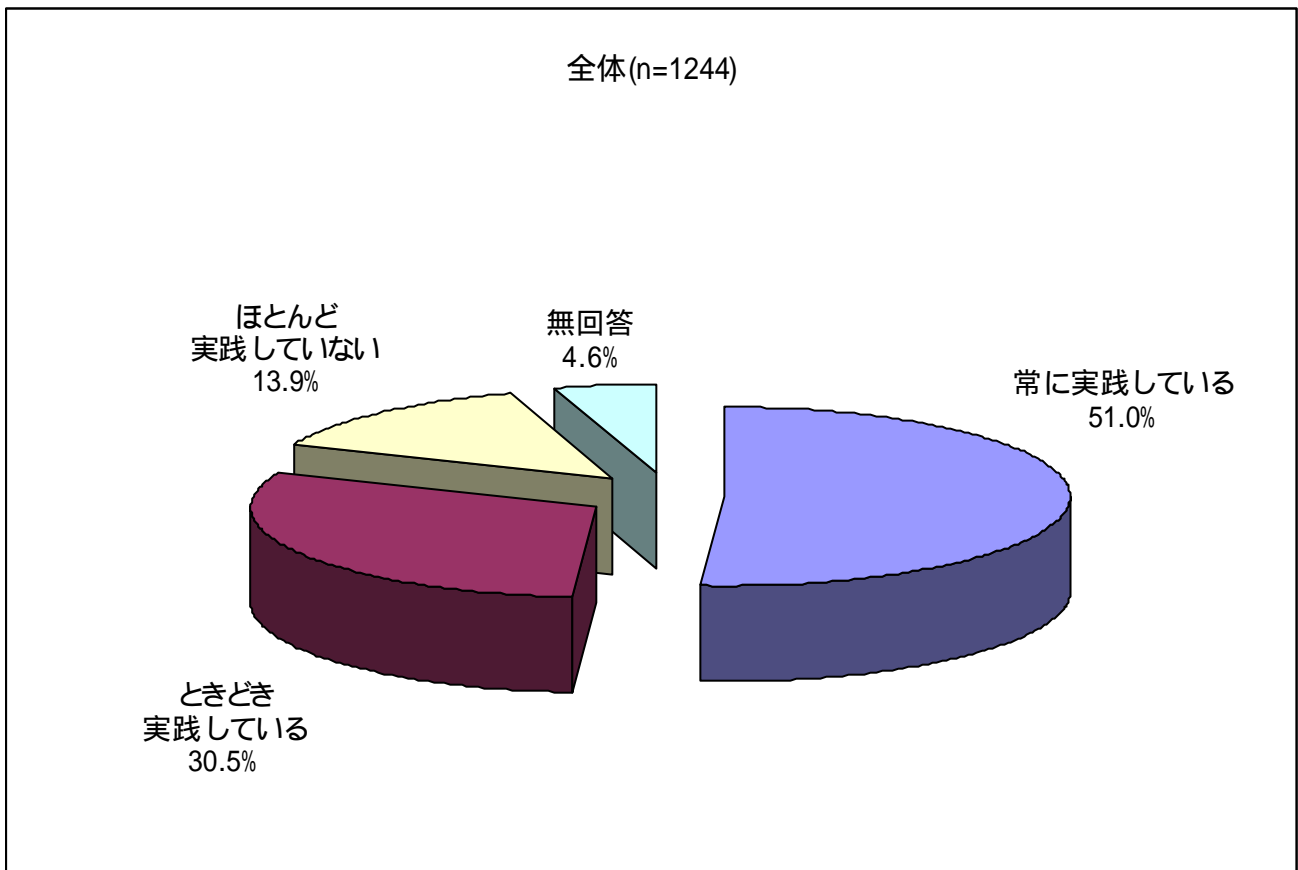
エコライフの実践頻度で“マイカーの利用を控える”については、「常々実践している」が30.7%、「ときどき実践している」が37.3%、となっている。  
これに対して、「ほとんど実践していない」は23.2%、となっている。

“マイカーの利用を控える”は、30.7%の人が「常々実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（家電製品）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[10 家電製品の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ]



エコライフの実践頻度で“家電製品の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ”については、「常に実践している」が51.0%、「ときどき実践している」が30.5%となっている。

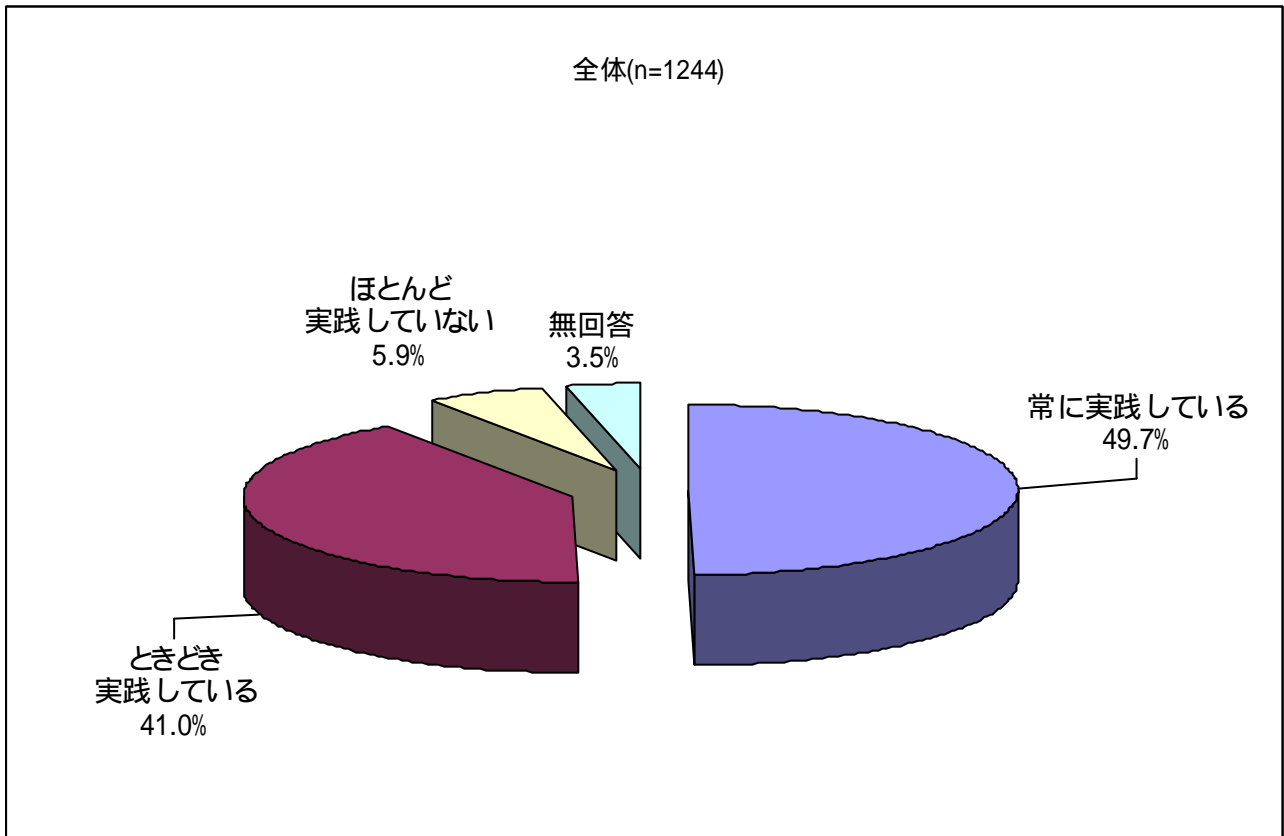
これに対して、「ほとんど実践していない」は13.9%となっている。

“家電製品の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ”は、51.0%の人が「常に実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（食材）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[11 食材は無駄なく買って使い切る]



エコライフの実践頻度で“食材は無駄なく買って使い切る”については、「常に実践している」が49.7%、「ときどき実践している」が41.0%となっている。

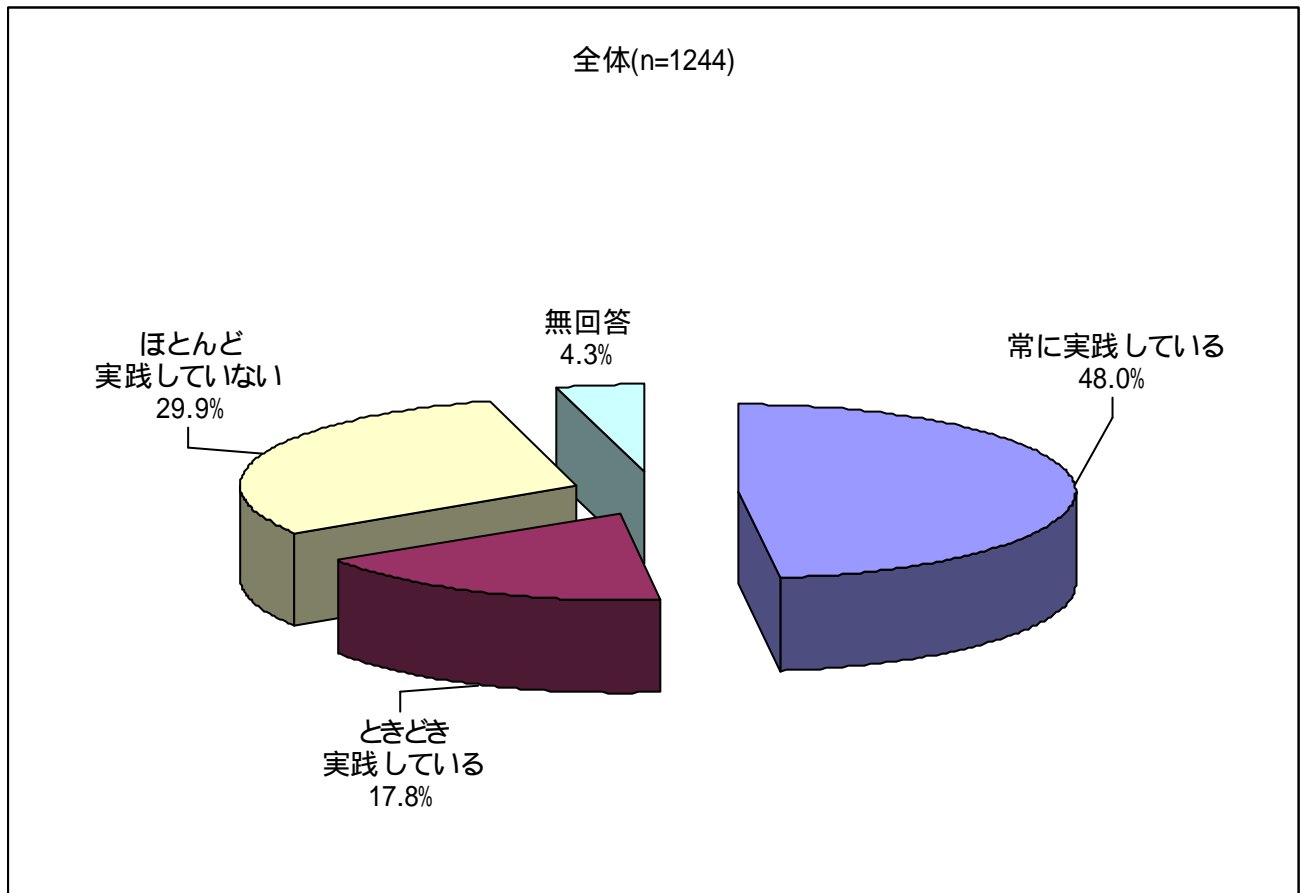
これに対して、「ほとんど実践していない」は5.9%となっている。

“食材は無駄なく買って使い切る”は、49.7%の人が「常に実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（風呂の残り湯）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[12 風呂の残り湯を洗濯などに利用する]



エコライフの実践頻度で“風呂の残り湯を洗濯などに利用する”については、「常々実践している」が48.0%、「ときどき実践している」が17.8%、となっている。

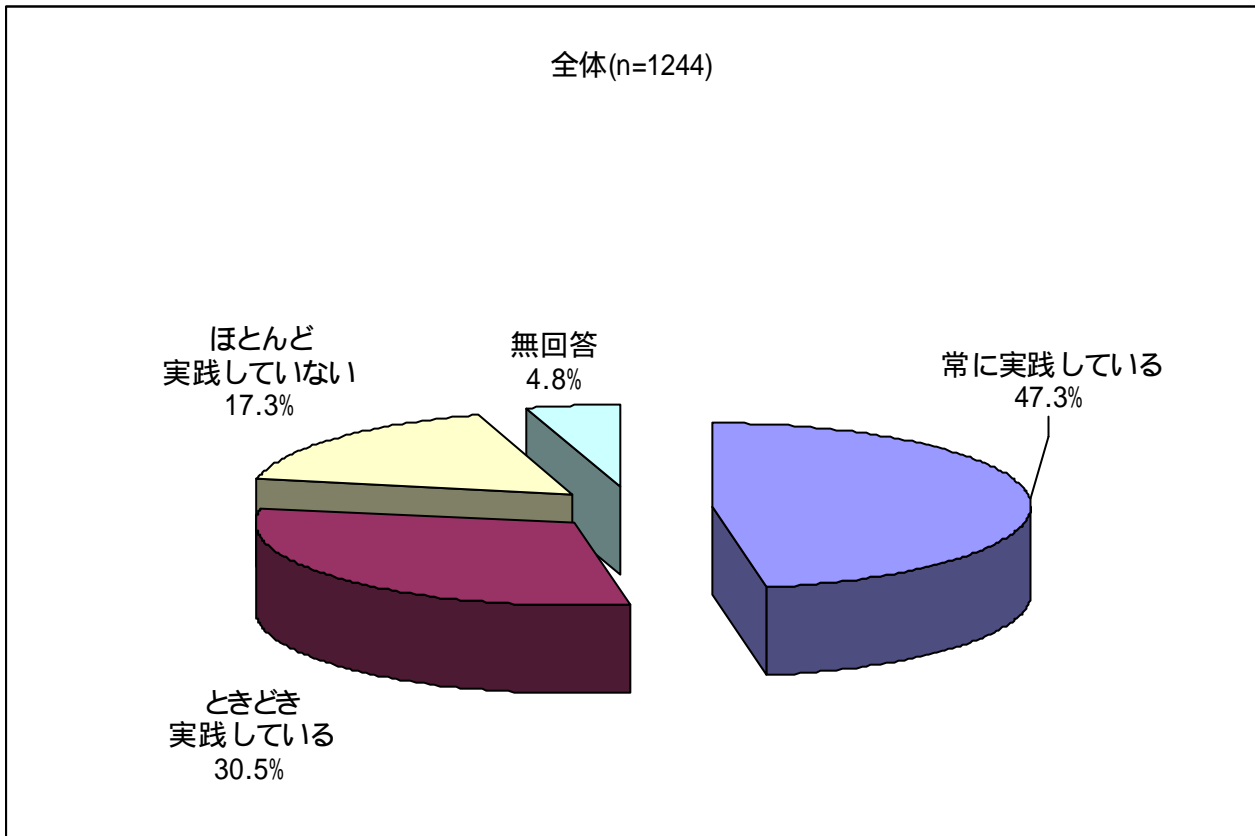
これに対して、「ほとんど実践していない」は29.9%、となっている。

“風呂の残り湯を洗濯などに利用する”は、48.0%の人が「常々実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（室温調整）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[13 外気や太陽光を室温調整にうまく利用する]



エコライフの実践頻度で“外気や太陽光を室温調整にうまく利用する”については、「常々実践している」が47.3%、「ときどき実践している」が30.5%、となっている。

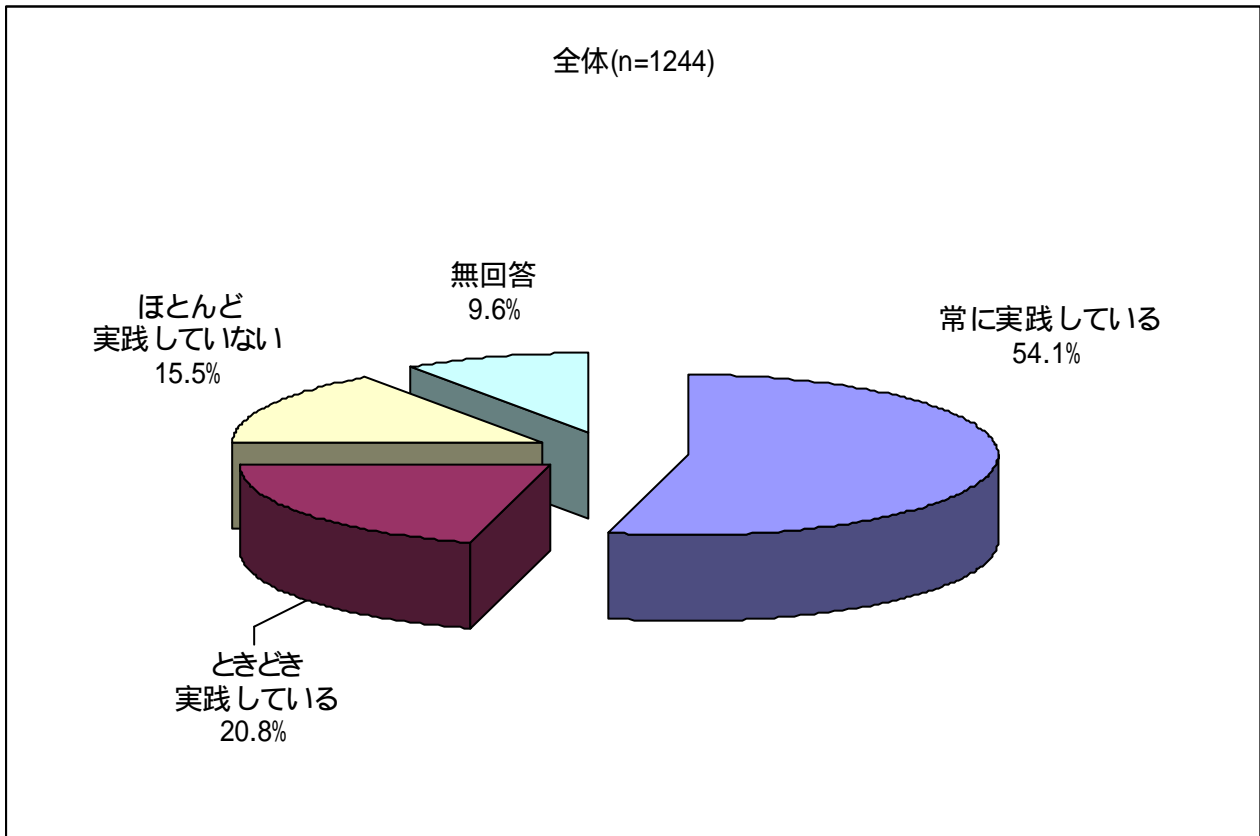
これに対して、「ほとんど実践していない」は17.3%、となっている。

“外気や太陽光を室温調整にうまく利用する”は、47.3%の人が「常々実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（温水洗浄便座）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[14 温水洗浄便座は季節に合わせて温度設定をし、使わないときはふたを閉める]



エコライフの実践頻度で“温水洗浄便座は季節に合わせて温度設定をし、使わないときはふたを閉める”については、「常々実践している」が54.1%、「ときどき実践している」が20.8%、となっている。

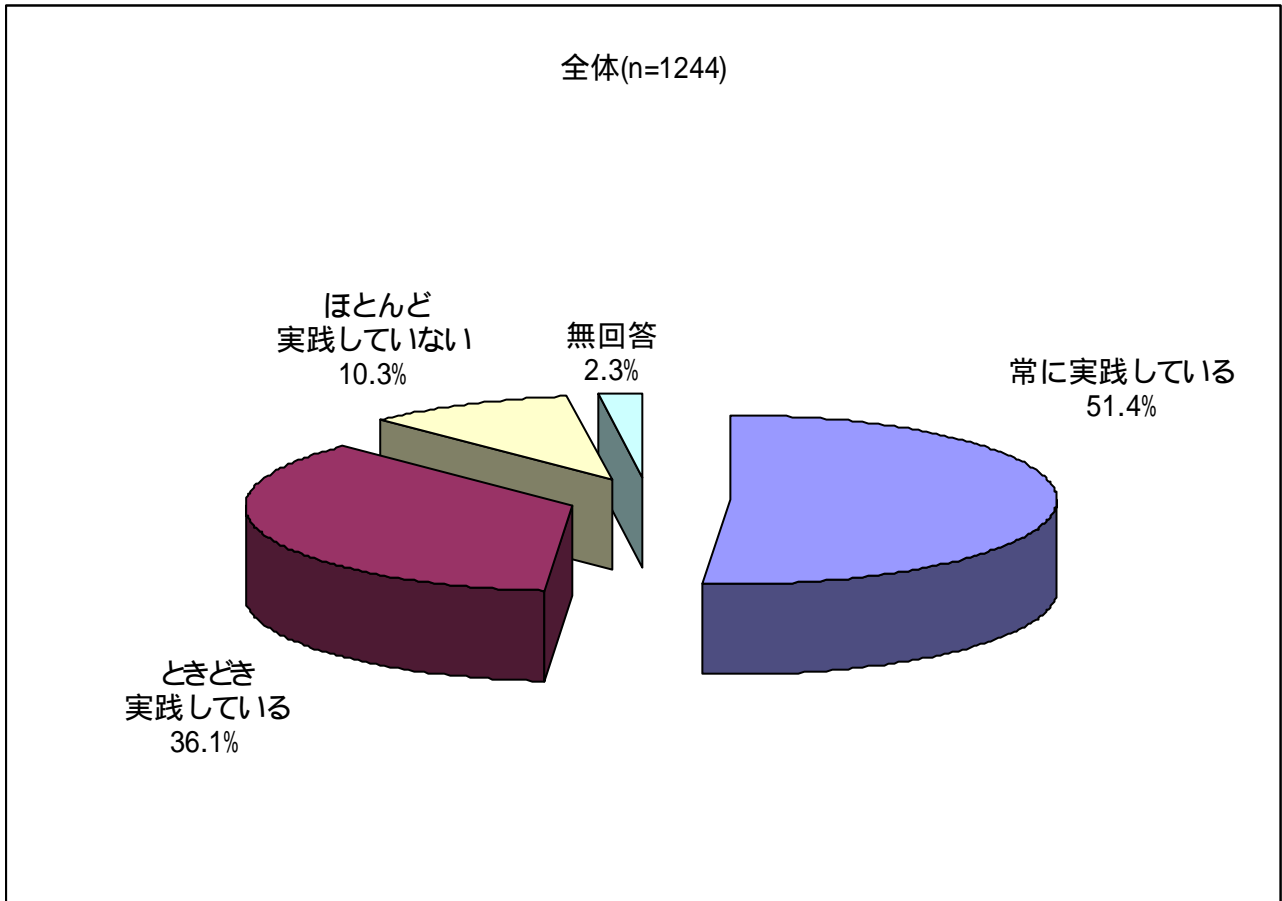
これに対して、「ほとんど実践していない」は15.5%、となっている。

“温水洗浄便座は季節に合わせて温度設定をし、使わないときはふたを閉める”は、54.1%の人が「常々実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（暖房の設定温度）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[15 寒いときは服をもう1枚着るなどして、暖房の設定温度を1 下げる]



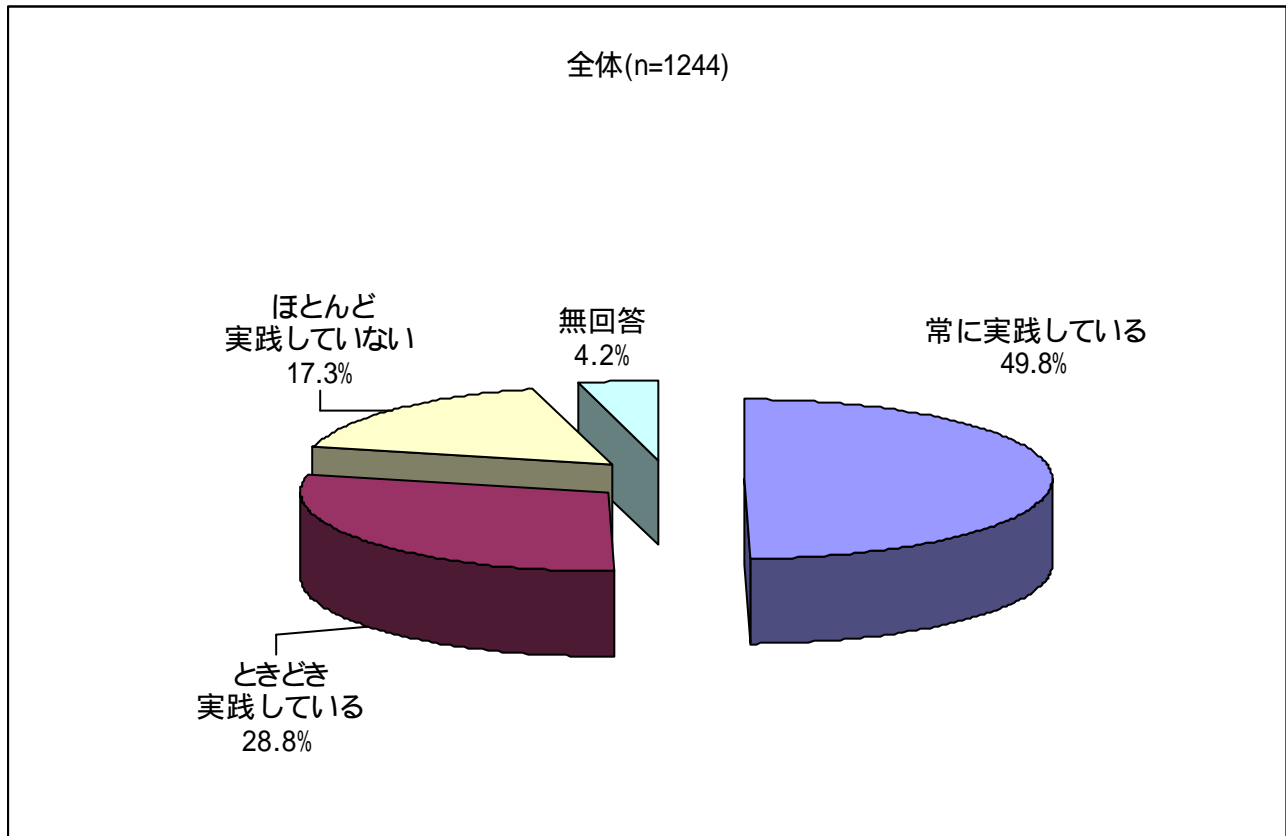
エコライフの実践頻度で“寒いときは服をもう1枚着るなどして、暖房の設定温度を1 下げる”については、「常に実践している」が51.4%、「ときどき実践している」が36.1%、となっている。これに対して、「ほとんど実践していない」は10.3%、となっている。

“寒いときは服をもう1枚着るなどして、暖房の設定温度を1 下げる”は、51.4%の人が「常に実践している」と回答している。

## エコライフの実践頻度（保温時間）

問9 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい生活（エコライフ）を実践していますか。  
次の1～16のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[16 電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする]



エコライフの実践頻度で“電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする”については、「常々実践している」が49.8%、「ときどき実践している」が28.8%、となっている。

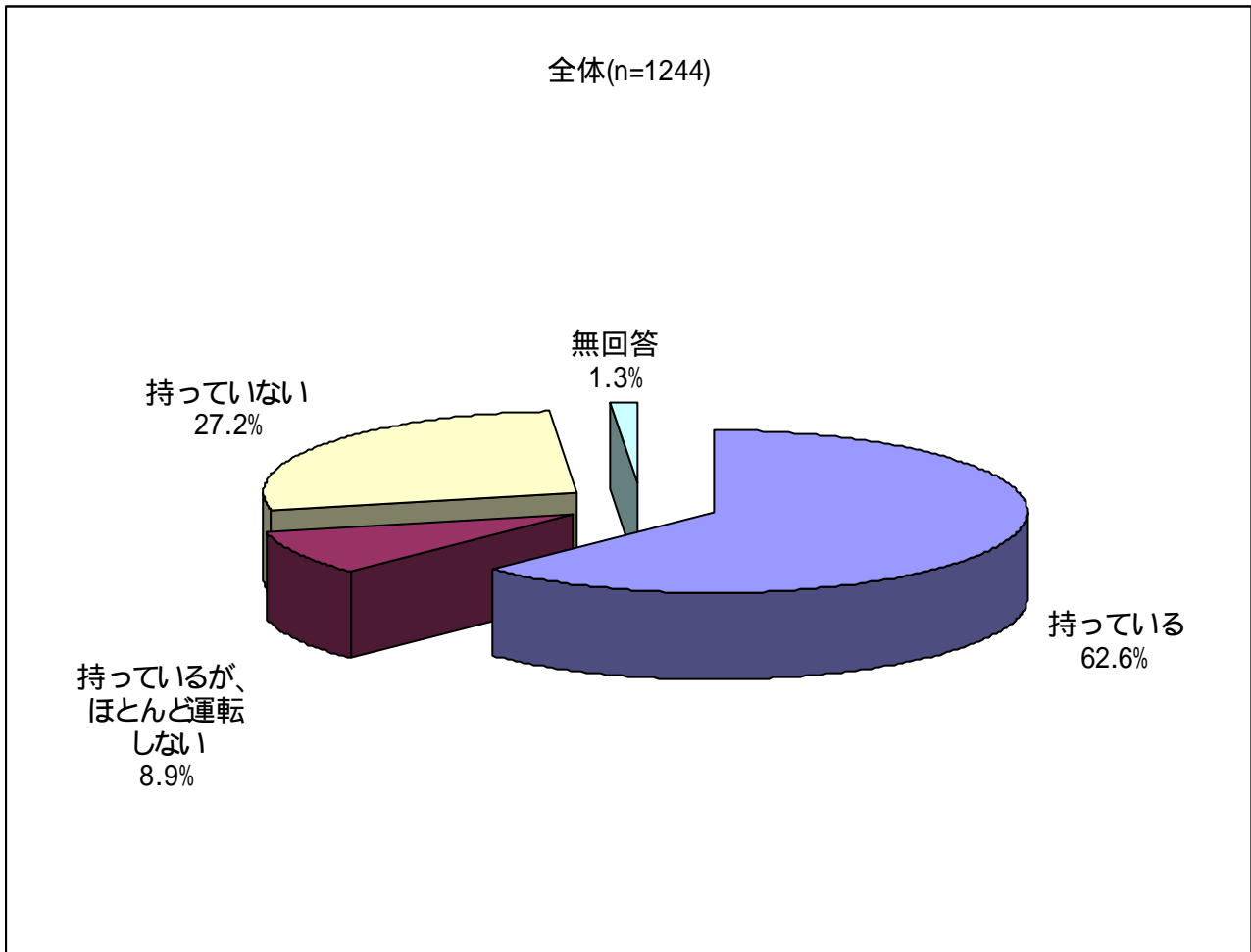
これに対して、「ほとんど実践していない」は17.3%、となっている。

“電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする”は、49.8%の人が「常々実践している」と回答している。



## 車の運転免許証の有無

問 10 あなたは、車の運転免許証（原付・自動二輪車を除く）を持っていますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。



車の運転免許証の有無については、「持っている」が 62.6%、「持っているが、ほとんど運転しない」が 8.9%となっており、これらを合わせた“持っている”は 71.5%、となっている。  
これに対して、「持っていない」は 27.2%、となっている。

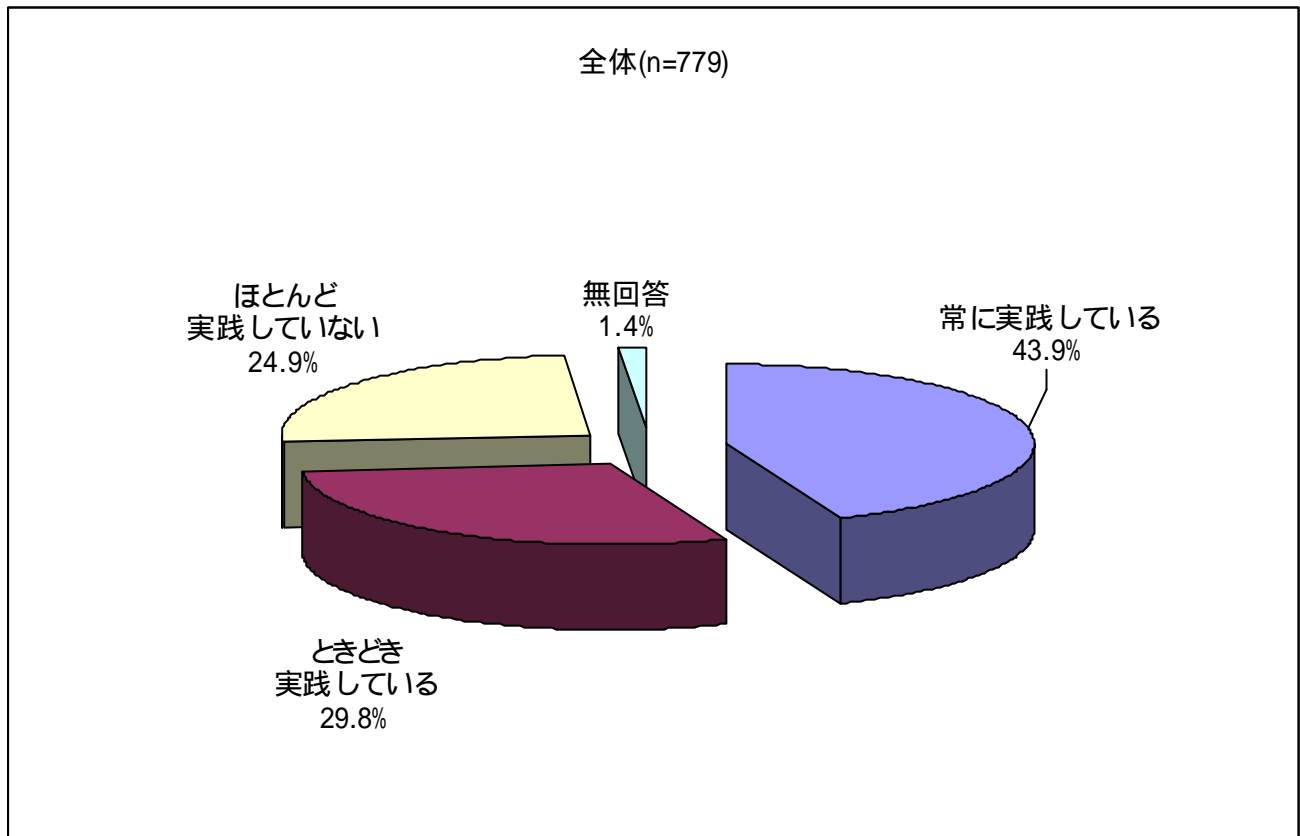
車の運転免許証の有無については、“持っている”が 71.5%、「持っていない」が 27.2%。

## エコドライブの実践頻度（アイドリングストップ）

《問10で「1 持っている」と答えた方にお聞きします》

問10の1 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい運転（エコドライブ）を実践していますか。次の1～3のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[1 駐停車中はアイドリングストップをする]



エコドライブの実践頻度で“駐停車中はアイドリングストップをする”については、「常に実践している」が43.9%、「ときどき実践している」が29.8%、となっている。

これに対して、「ほとんど実践していない」は24.9%、となっている。

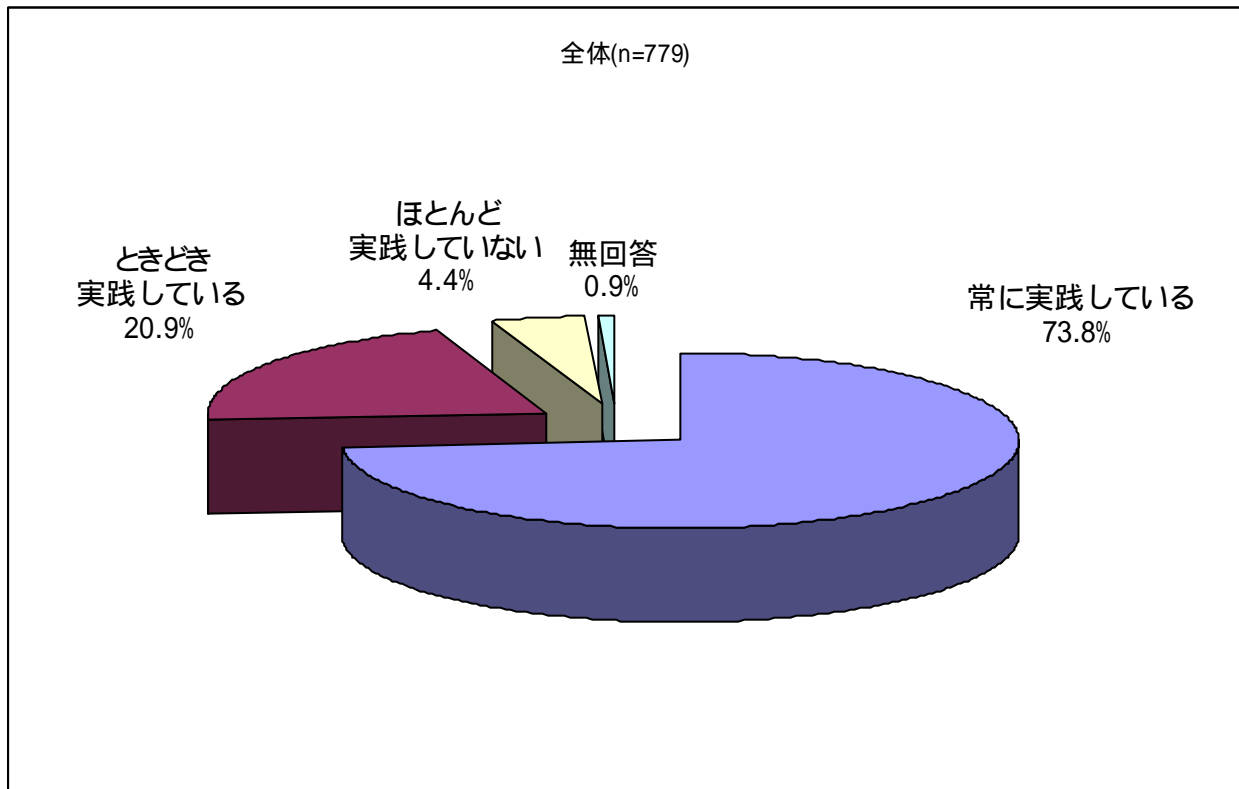
“駐停車中はアイドリングストップをする”は、43.9%の人が「常に実践している」と回答している。

## エコドライブの実践頻度（急ブレーキ・急発進）

《問10で「1 持っている」と答えた方にお聞きします》

問10の1 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい運転（エコドライブ）を実践していますか。次の1～3のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[2 車の運転時には急ブレーキ、急発進をしない]



エコドライブの実践頻度で“車の運転時には急ブレーキ、急発進をしない”については、「常々実践している」が73.8%、「ときどき実践している」が20.9%、となっている。

これに対して、「ほとんど実践していない」は4.4%、となっている。

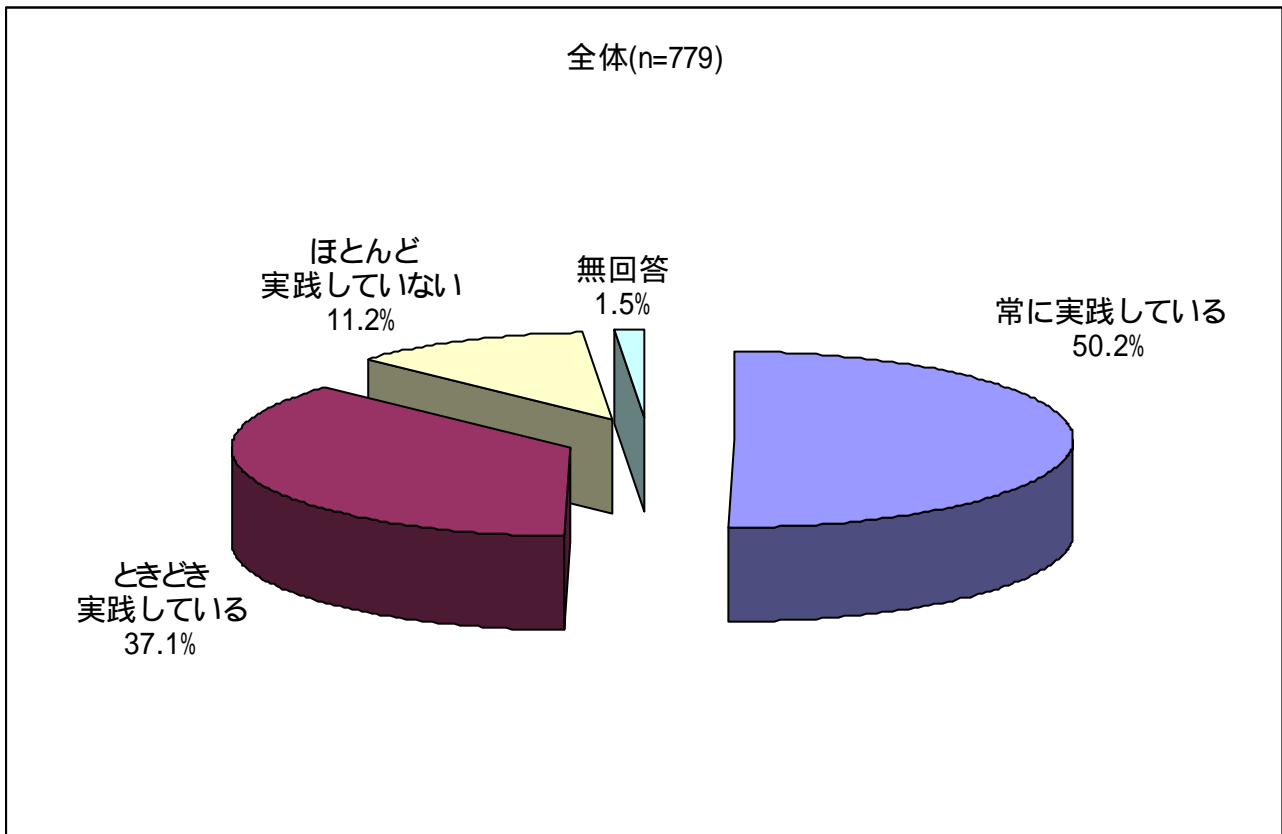
“車の運転時には急ブレーキ、急発進をしない”は、73.8%の人が「常々実践している」と回答している。

## エコドライブの実践頻度（カーエアコン）

《問10で「1 持っている」と答えた方にお聞きします》

問10の1 あなたは、日常生活の中で環境にやさしい運転（エコドライブ）を実践していますか。次の1～3のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつをつけてください。

[3 カーエアコンの使用を控えめにする]



エコドライブの実践頻度で“カーエアコンの使用を控えめにする”については、「常に実践している」が50.2%、「ときどき実践している」が37.1%、となっている。

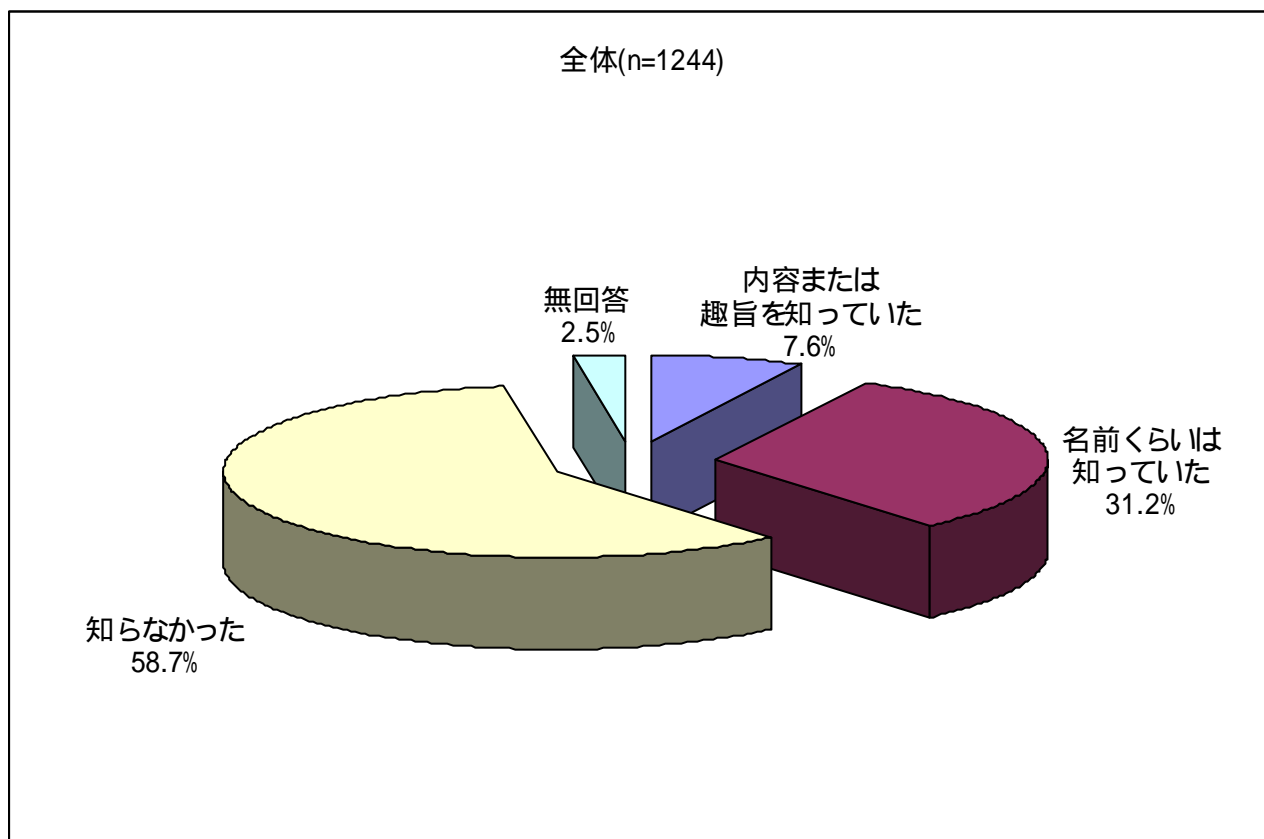
これに対して、「ほとんど実践していない」は11.2%、となっている。

“カーエアコンの使用を控えめにする”は、50.2%の人が「常に実践している」と回答している。

### 3 地球温暖化防止活動について

#### 「さっぽろエコ市民運動」の認知度

問 11 あなたは、「さっぽろエコ市民運動」を知っていますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。



「さっぽろエコ市民運動」については、「名前くらいは知っていた」が 31.2%、「内容または趣旨を知っていた」が 7.6% となっている。

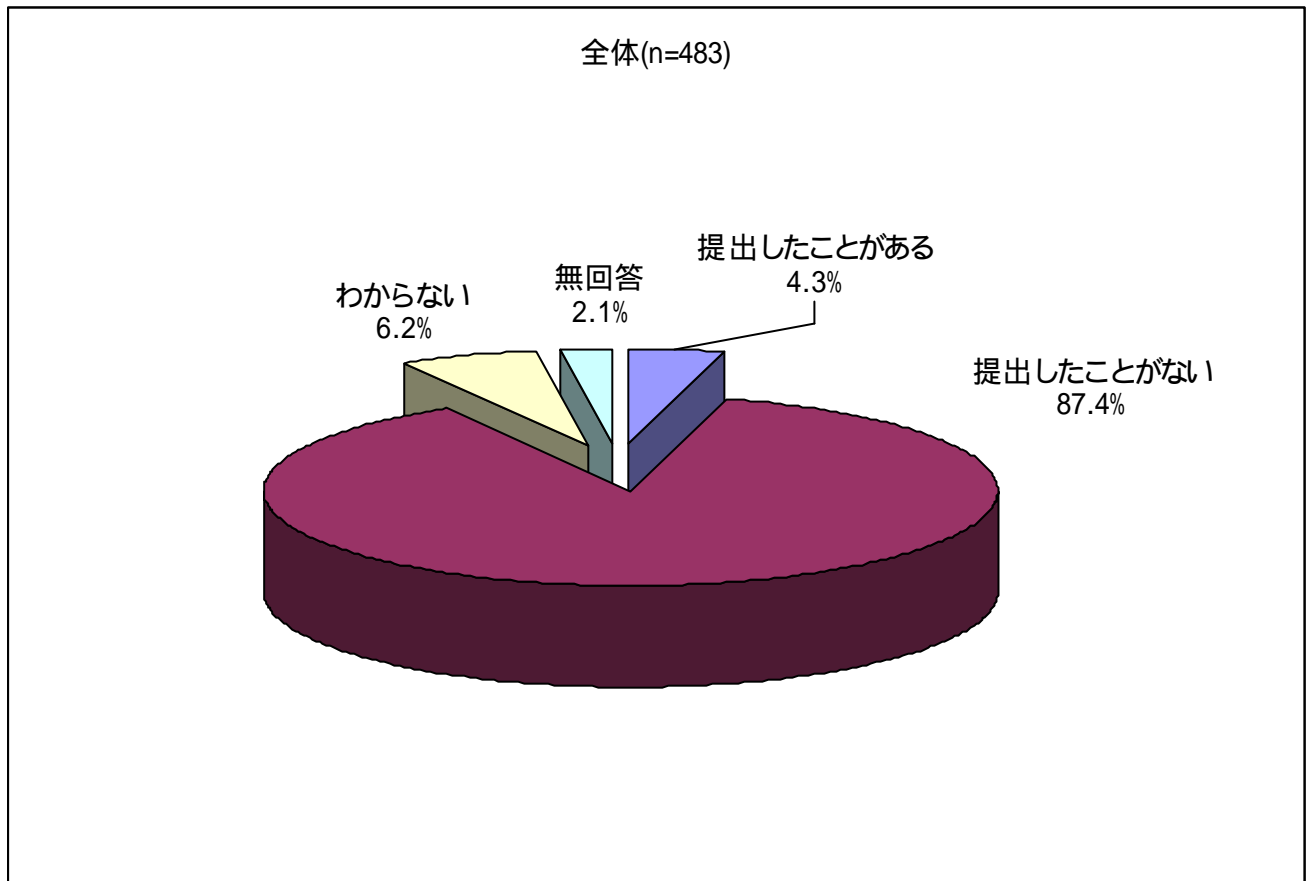
これに対して、「知らなかった」は 58.7%、となっている。

「さっぽろエコ市民運動」については、“知っていた”(「内容または趣旨を知っていた」+「名前くらいは知っていた」)が 38.8%。

## 「エコライフレポート」の提出経験

《問11で「1」、「2」と答えた方にお聞きします》

問11の1 あなたは、「エコライフレポート」を提出したことがありますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。

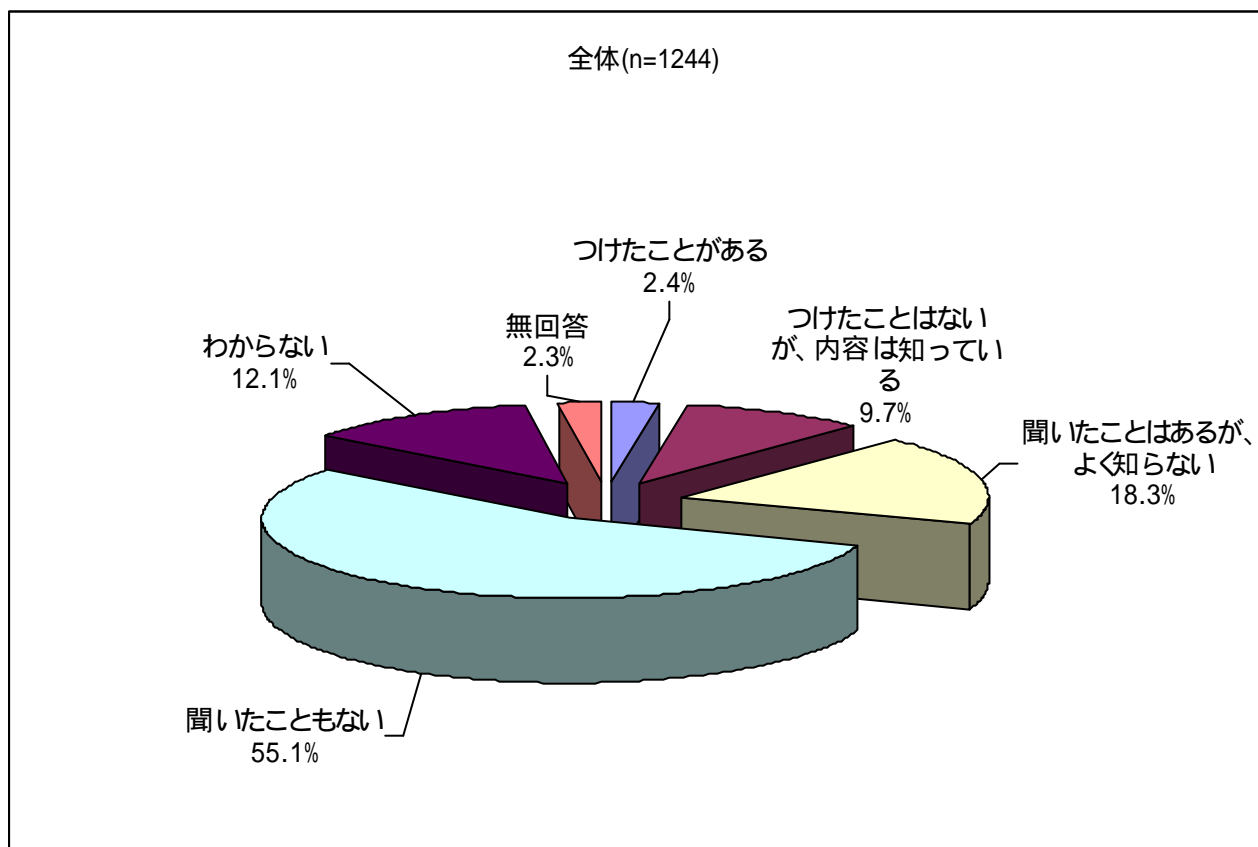


「エコライフレポート」の提出経験については、「提出したことがある」は4.3%となっている。これに対して、「提出したことがない」は87.4%、となっている。

「エコライフレポート」については、「提出したことがある」が4.3%、「提出したことがない」が87.4%。

## 「環境家計簿」の記録経験

- 問 12 家庭における省エネルギーなどのエコライフを継続して実践するために、電気やガス、水道など家庭でのエネルギー消費量を月1回程度記録する「環境家計簿」をつける方法があります。あなたは、「環境家計簿」をつけたことがありますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。



「環境家計簿」の記録経験については、「つけたことがある」が2.4%、「つけたことはないが、内容は知っている」が9.7%、となっている。

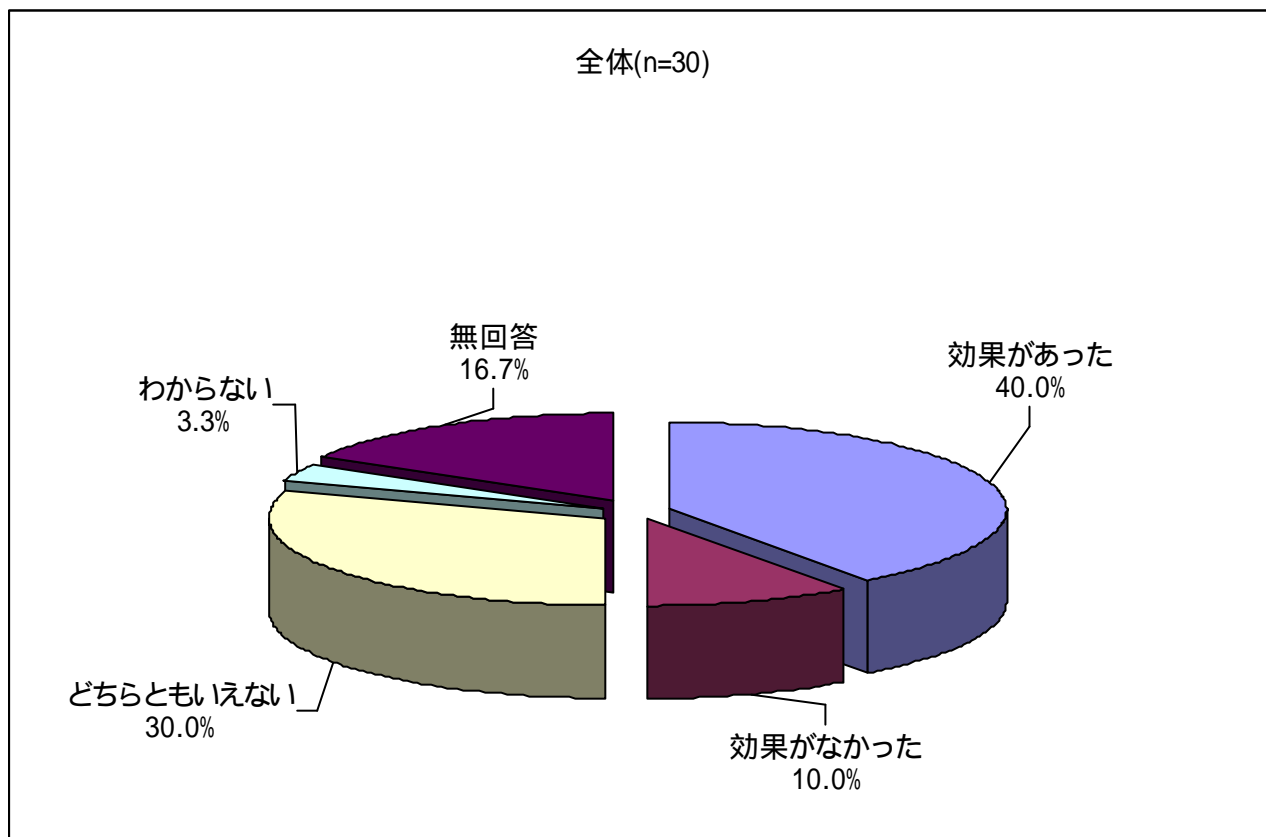
これに対して、「聞いたこともない」は55.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が18.3%、となっている。

「環境家計簿」については、「つけたことがある」が2.4%。

## 「環境家計簿」による省エネルギー効果

《問12で「1 つけたことがある」と答えた方にお聞きします》

問12の1 あなたの家庭では、環境家計簿をつけて省エネルギーの効果はありましたか。  
次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。



「環境家計簿」による省エネルギー効果については、「効果があった」が40.0%、「どちらともいえない」が30.0%、となっている。

これに対して、「効果がなかった」は10.0%、となっている。

「環境家計簿」による省エネルギー効果については、「効果があった」が40.0%。



## 「環境家計簿」をつけて感じたこと

《問12で「1 つけたことがある」と答えた方にお聞きします》

問12の2 効果の有無にかかわらず、あなたが環境家計簿をつけて感じたことがあれば自由にご記入ください。

「環境家計簿」をつけて感じたことについて、主な意見は以下のとおりです。

### つけて良いと思った

- ・ 効果を数値で把握できて良い。
- ・ 毎日気を付けていることが数値になるとやる気が出る。
- ・ 数字が目標になり効果がわかるのでよいと思う。
- ・ 毎月つけていると、前月との比較や前年との比較、そして年間の推移がわかって非常に良い。
- ・ 自分の消費生活状況が把握できる。
- ・ 無駄な消費を抑えられる。

### 効果がないと思った

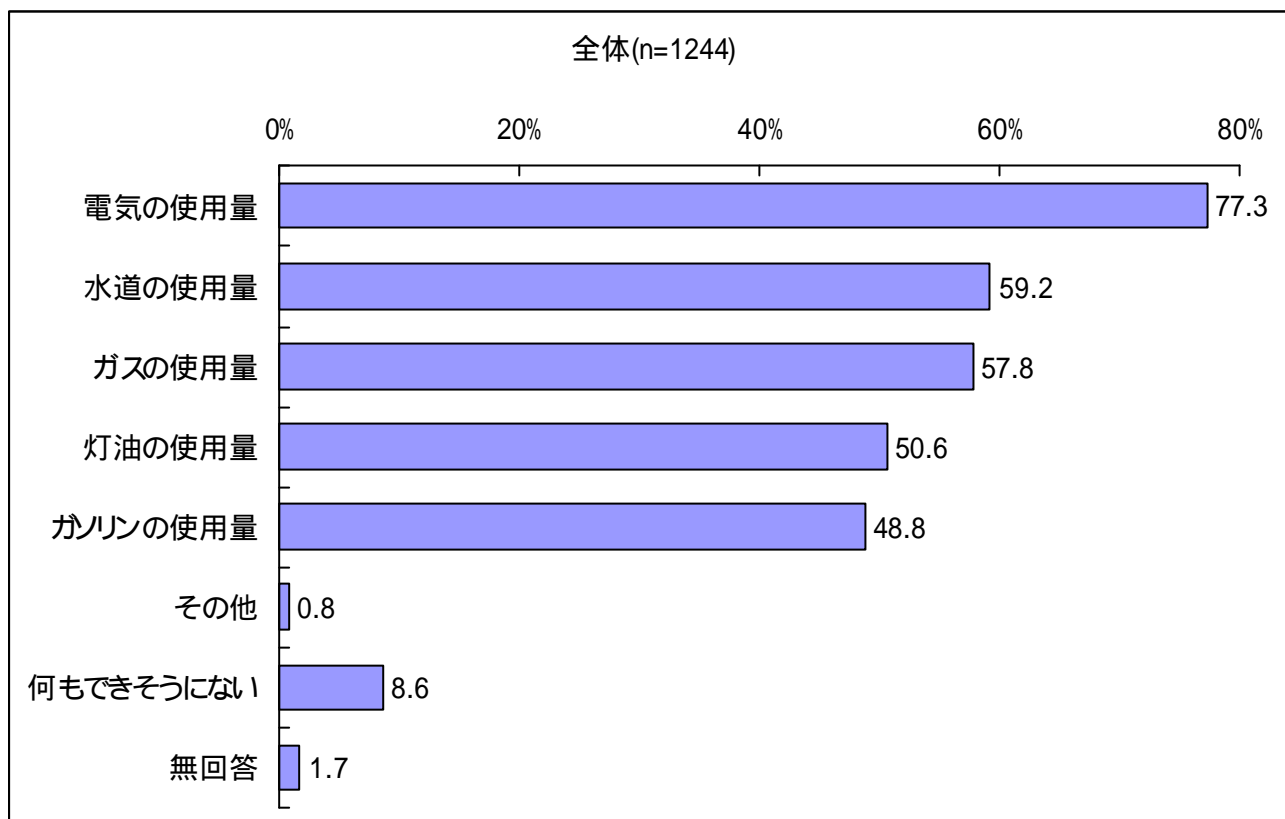
- ・ もっと他に効率のよいやり方があると思う。
- ・ つけたあとにどうすればいいかわからない。
- ・ 何か中途半端に感じる。
- ・ 日常の目標だけになってしまう。

### その他

- ・ すでに日常生活の一部になっている。
- ・ 家計簿と一緒に環境家計簿を付けている。

## 「環境家計簿」に記録できそうなこと

問 13 あなたが環境家計簿に取り組む場合に、月に1回程度なら記録することができると思うものは何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでもをつけてください。



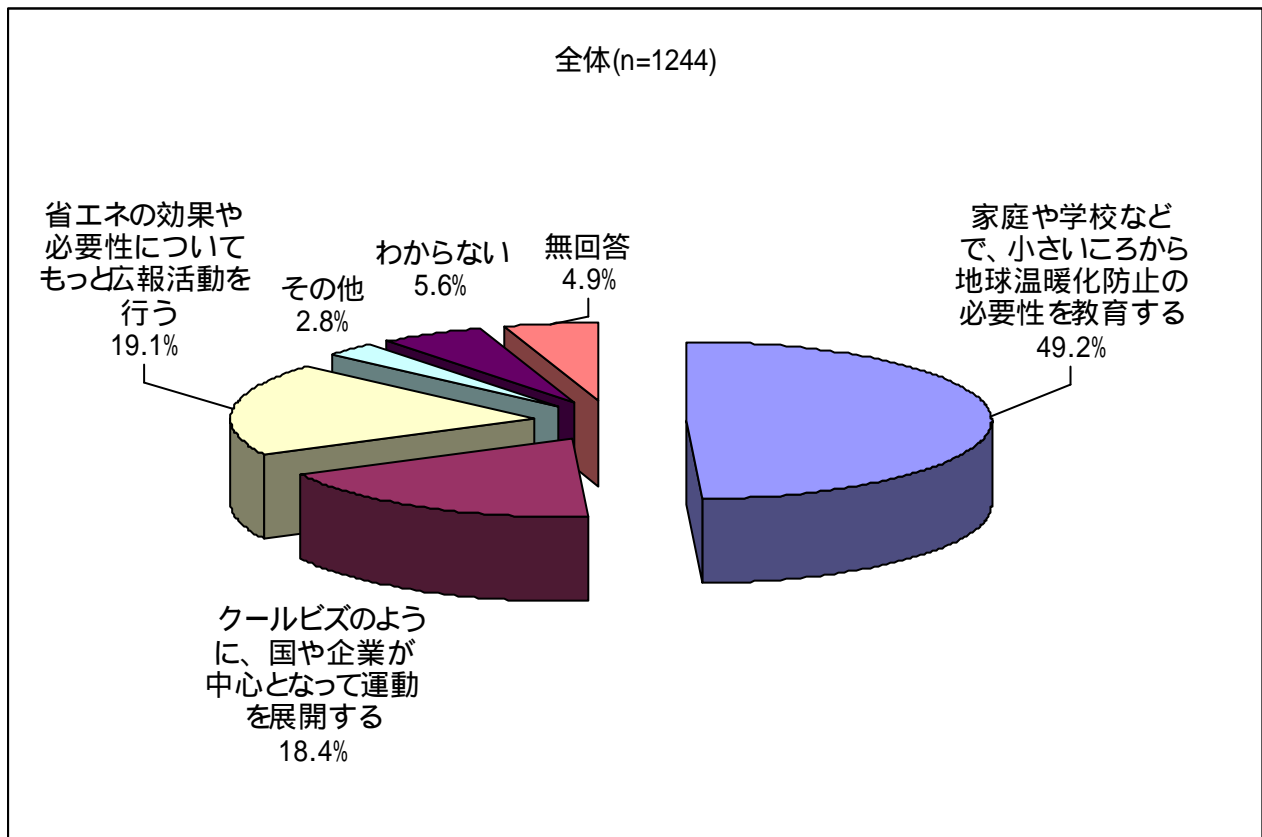
「環境家計簿」に記録できそうなことについては、「電気の使用量」が77.3%で第1位、「水道の使用量」が59.2%、「ガスの使用量」が57.8%となっている。

これに対して、「何もできそうにない」は8.6%となっている。

全ての項目で約5割以上が「環境家計簿」に記録できそうなものとしてあげている。

## 地球温暖化防止活動を普及させるための有効方法

問 14 地球温暖化防止に配慮した行動を日常生活に普及させるために、あなたはどのような方法が有効だと思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものに1つをつけてください。

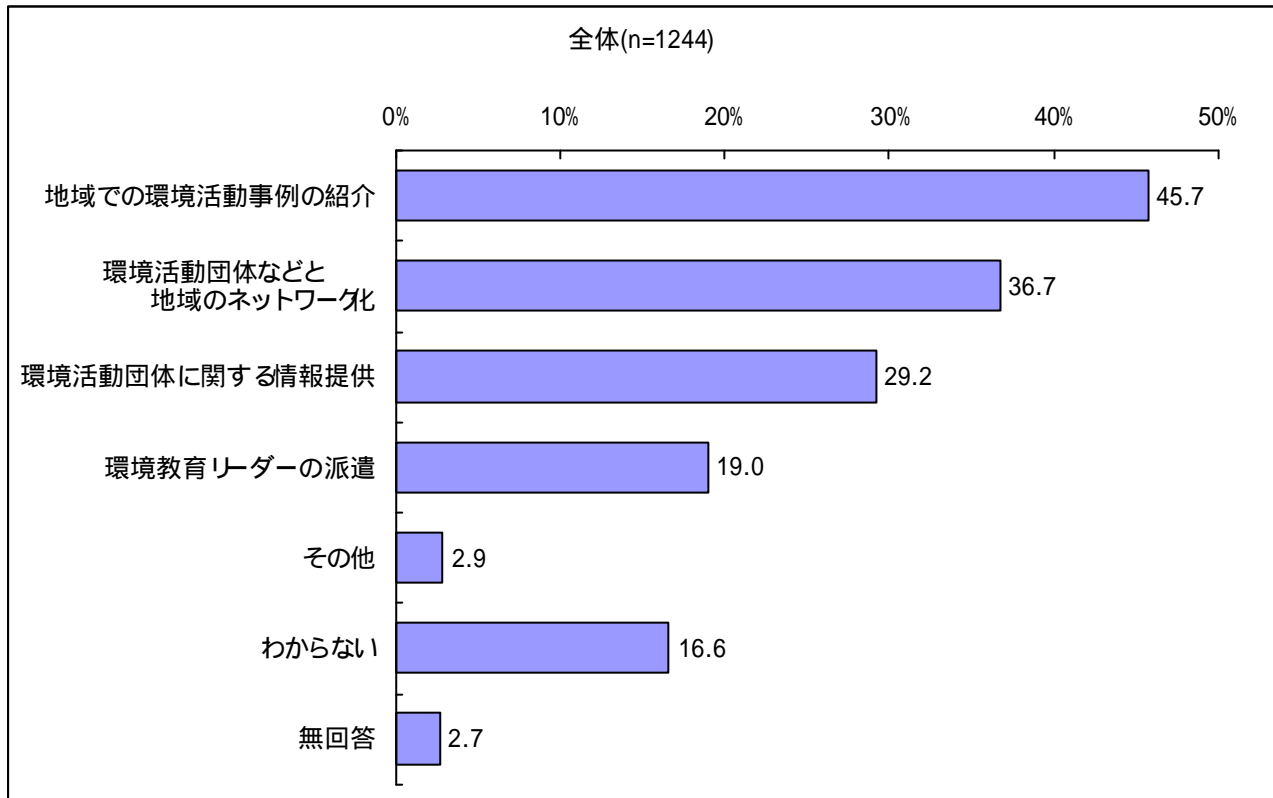


地球温暖化防止活動を普及させるための有効方法については、「家庭や学校などで、小さいころから地球温暖化防止の必要性を教育する」が 49.2%、「省エネの効果や必要性についてもっと広報活動を行う」が 19.1%、「クールビズのように、国や企業が中心となって運動を展開する」が 18.4%、となっている。

地球温暖化防止活動を普及させるための有効方法については、「家庭や学校などで、小さいころから地球温暖化防止の必要性を教育する」が 49.2%。

## 地域環境活動推進のために必要な行政支援

問 15 地球温暖化防止のためには、地域での環境活動の推進が大切ですが、行政が行う支援のうちあなたは、何が必要だと思いますか。次の中から、特に必要だと思うものに2つまで をつけてください。

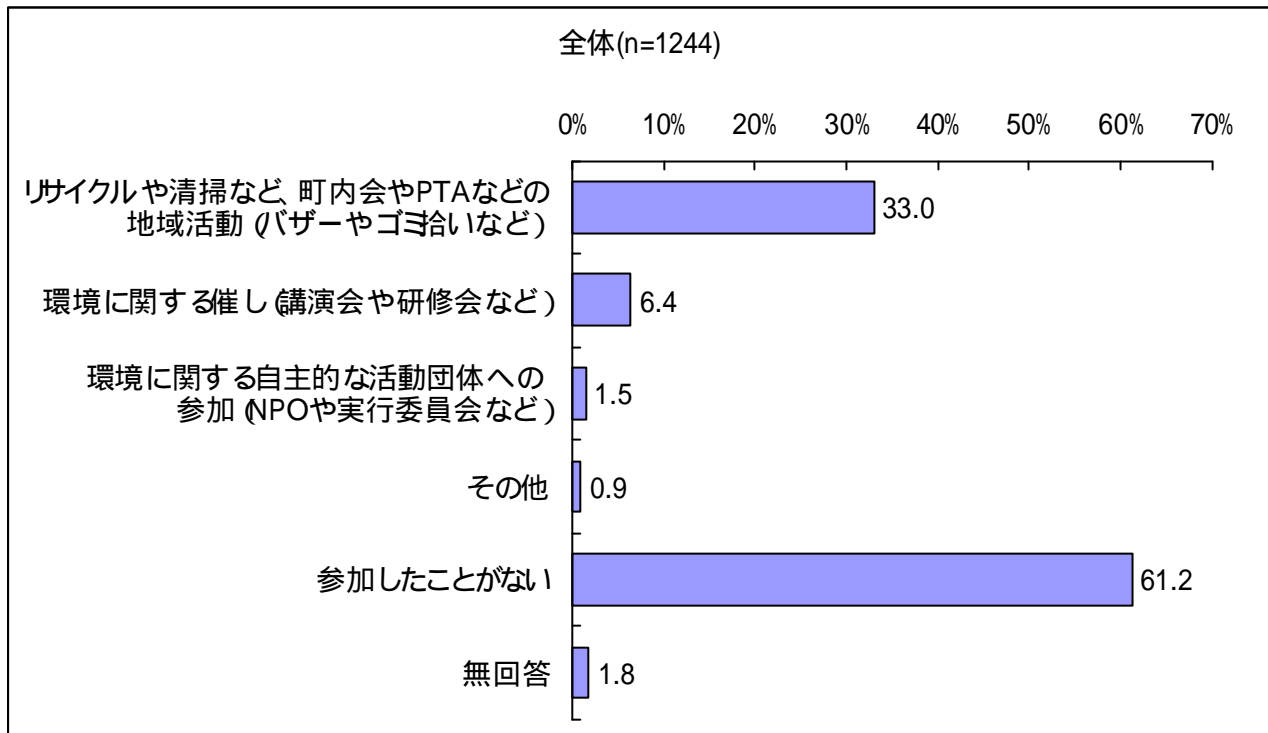


地域環境活動推進のために必要な行政支援については、「地域での環境活動事例の紹介」が 45.7% で第 1 位、「環境活動団体などと地域のネットワーク化」が 36.7%、「環境活動団体に関する情報提供」が 29.2% となっている。

地域環境活動推進のために必要な行政支援については、「地域での環境活動事例の紹介」が 45.7% で第 1 位、「環境活動団体などと地域のネットワーク化」が 36.7% で第 2 位。

## 参加経験のある地球環境保全活動・団体

問 16 地球環境の保全に関するさまざまな活動や団体がありますが、あなたが参加したことのある活動や団体は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでもをつけてください。



参加経験のある地球環境保全活動・団体については、「リサイクルや清掃など、町内会やPTAなどの地域活動」が33.0%、「環境に関する催し」が6.4%、「環境に関する自主的な活動団体への参加」が1.5%、となっている。

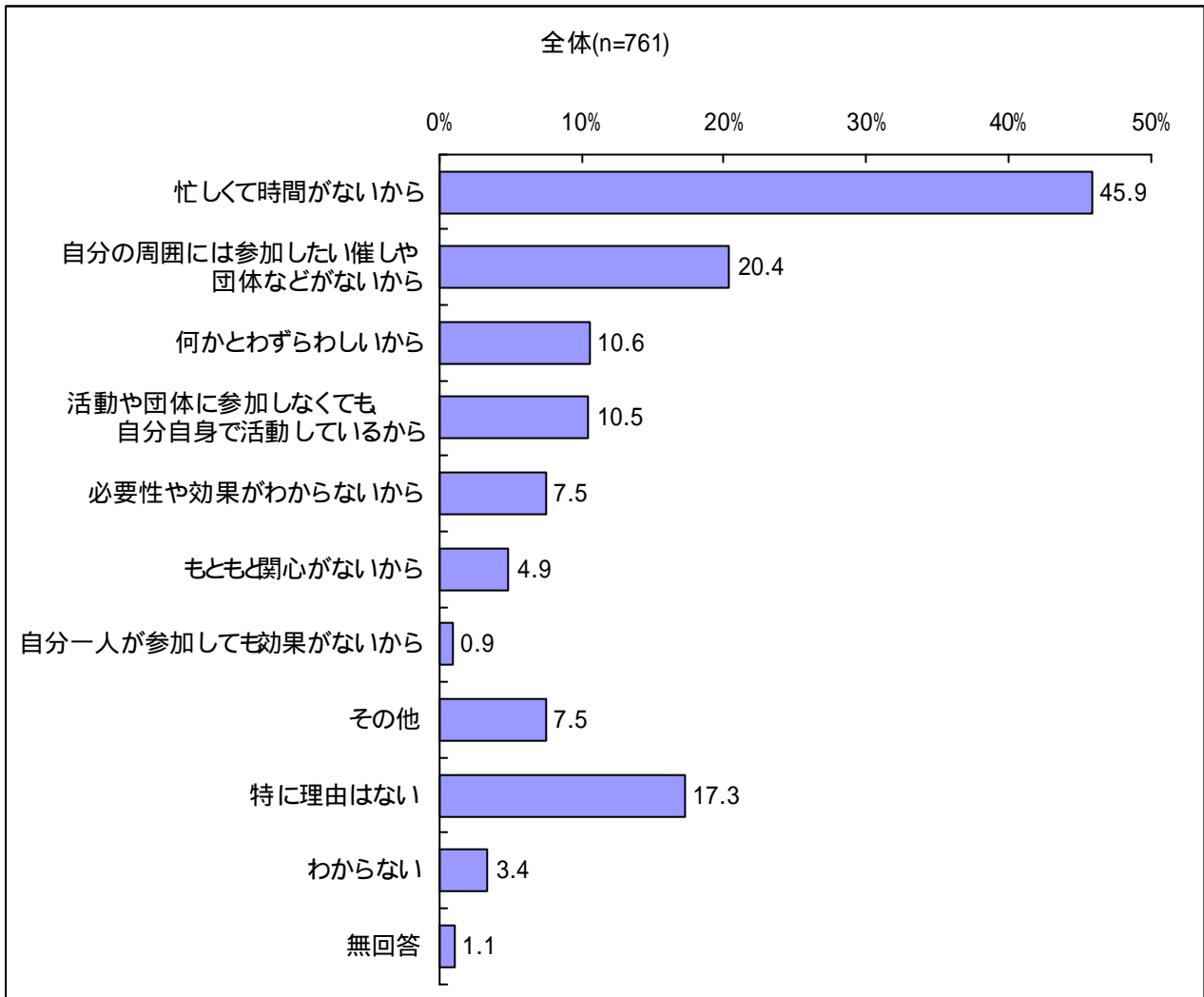
これに対して、「参加したことがない」は61.2%、となっている。

参加経験のある地球環境保全活動・団体については、「リサイクルや清掃など、町内会やPTAなどの地域活動」が33.0%。

## 地球環境保全活動・団体への不参加の理由

《問16で「5 参加したことがない」と答えた方にお聞きします。》

問16の1 あなたが、地球環境の保全に関する活動や団体に参加したことがない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものいくつかをつけてください。

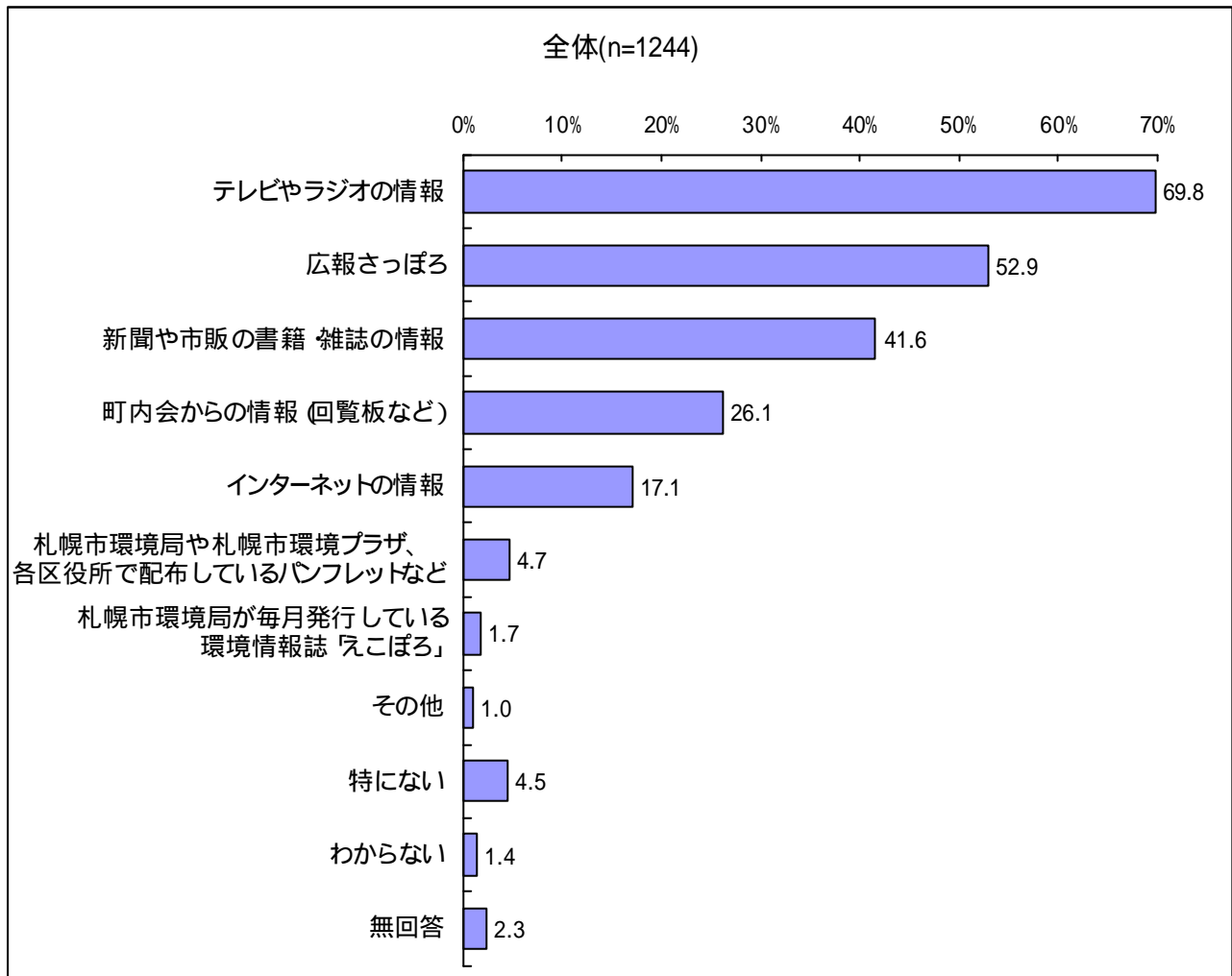


地球環境保全活動・団体への不参加の理由については、「忙しくて時間がないから」が45.9%で第1位、「自分の周囲には参加したい催しや団体などがないから」が20.4%、「何かとわずらわしいから」が10.6%、「活動や団体に参加しなくても、自分自身で活動しているから」が10.5%、となっている。

地球環境保全活動・団体への不参加の理由については、「忙しくて時間がないから」が45.9%で第1位、「自分の周囲には参加したい催しや団体などがないから」が20.4%で第2位。

## 環境問題等についての情報源

問 17 あなたが、環境にやさしい生活スタイルや環境問題についての情報を得るために、役立っているものは何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも をつけてください。



環境問題等についての情報源では、「テレビやラジオの情報」が 69.8%で第 1 位、「広報さっぽろ」が 52.9%、「新聞や市販の書籍・雑誌の情報」が 41.6%、「町内会からの情報(回覧板など)」が 26.1%、となっている。

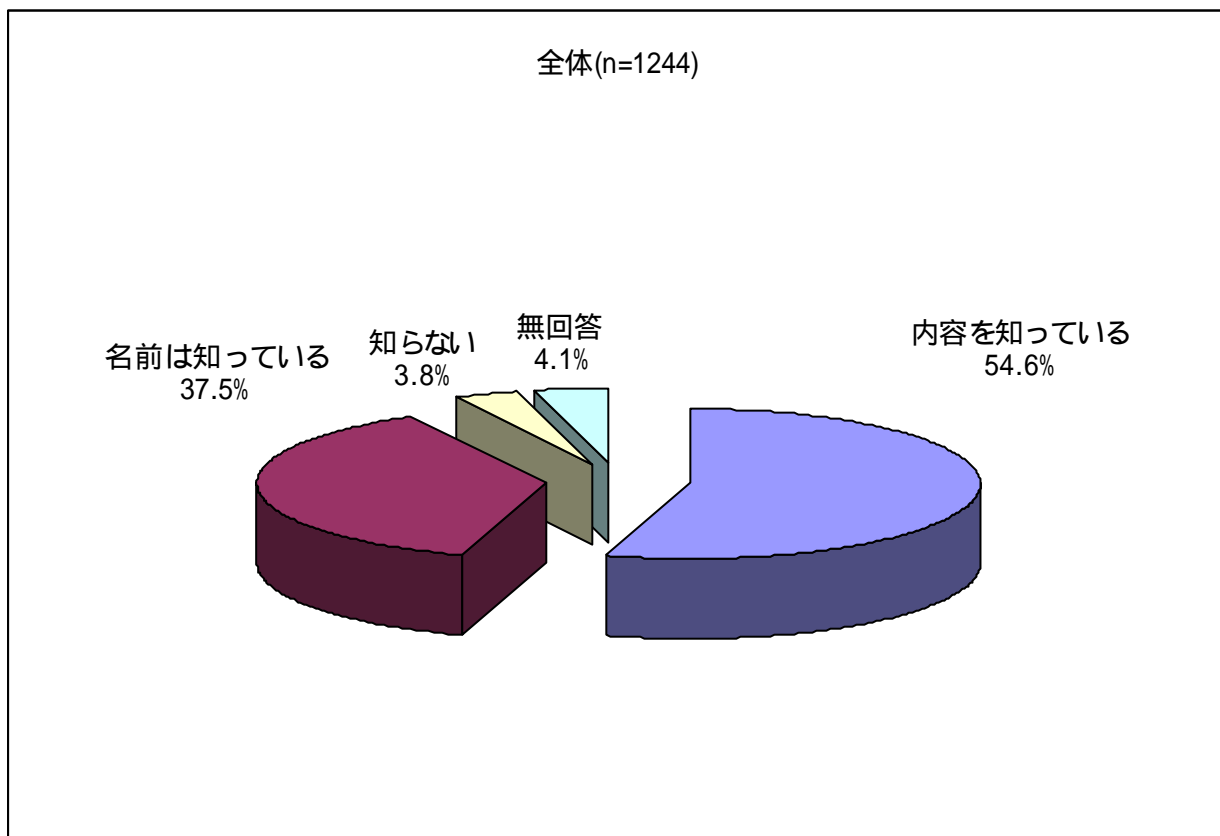
環境問題等についての情報源については、「テレビやラジオの情報」が 69.8%で第 1 位、「広報さっぽろ」が 52.9%で第 2 位。

## 4 新エネルギー等について

### 「新エネルギー等」についての認知度（太陽光発電）

問 18 あなたは「新エネルギー等」についてどれくらい知っていますか。次の1～10のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつ をつけてください。

[1 太陽光発電]



「新エネルギー等」についての認知度で「太陽光発電」については、「知っている」が 54.6%、「名前を知っている」が 37.5%、となっている。  
これに対して、「知らない」は 3.8%、となっている。

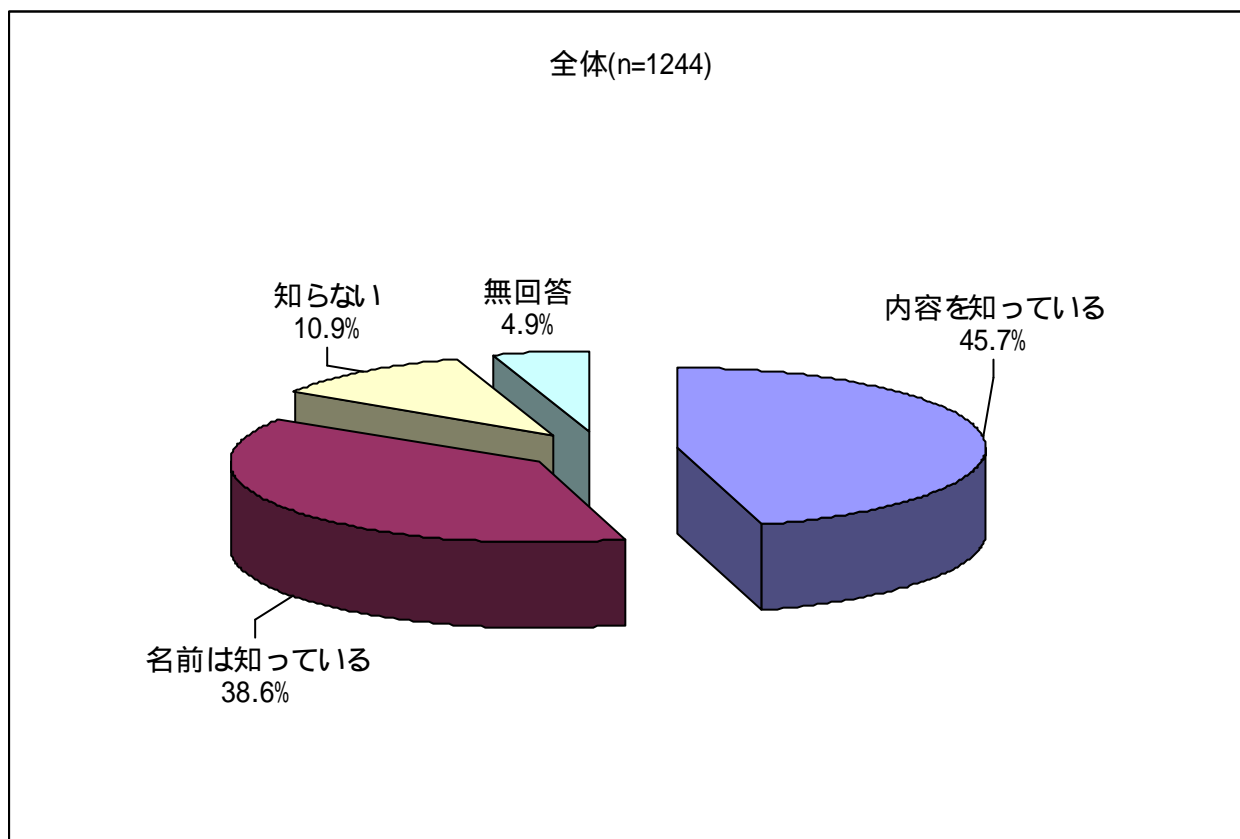
“太陽光発電”は、54.6%の人が「知っている」と回答している。



## 「新エネルギー等」についての認知度（太陽熱利用）

問 18 あなたは「新エネルギー等」についてどれくらい知っていますか。次の1～10のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつ をつけてください。

[ 2 太陽熱利用（太陽熱温水器など） ]



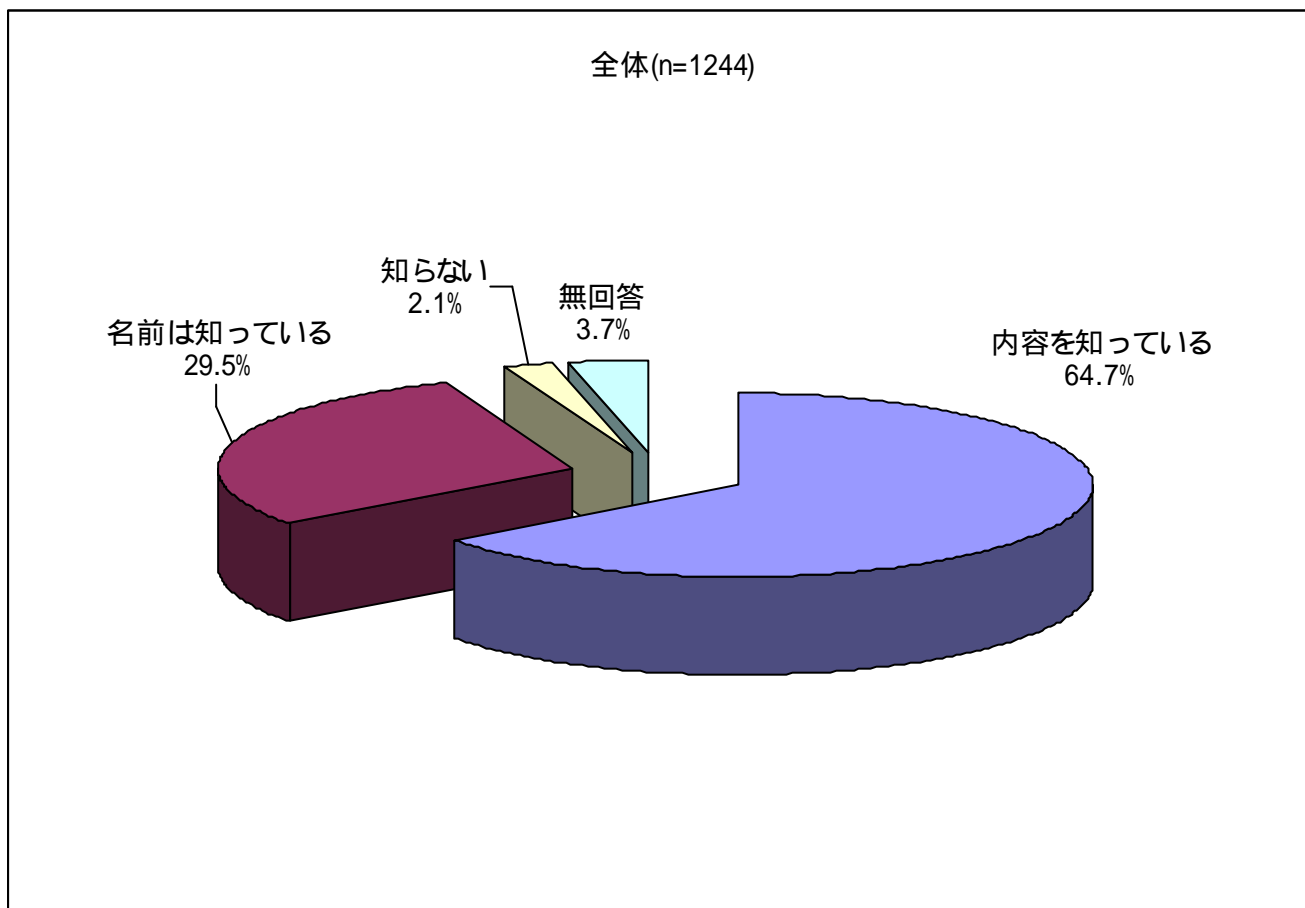
「新エネルギー等」についての認知度で「太陽熱利用」については、「内容を知っている」が45.7%、「名前を知っている」が38.6%、となっている。  
これに対して、「知らない」は10.9%となっている。

“太陽熱利用”は、45.7%の人が「内容を知っている」と回答している。

## 「新エネルギー等」についての認知度（風力発電）

問 18 あなたは「新エネルギー等」についてどれくらい知っていますか。次の1～10のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつ をつけてください。

[3 風力発電]



「新エネルギー等」についての認知度で“風力発電”については、「知っている内容」が64.7%、「名前を知っている」が29.5%、となっている。

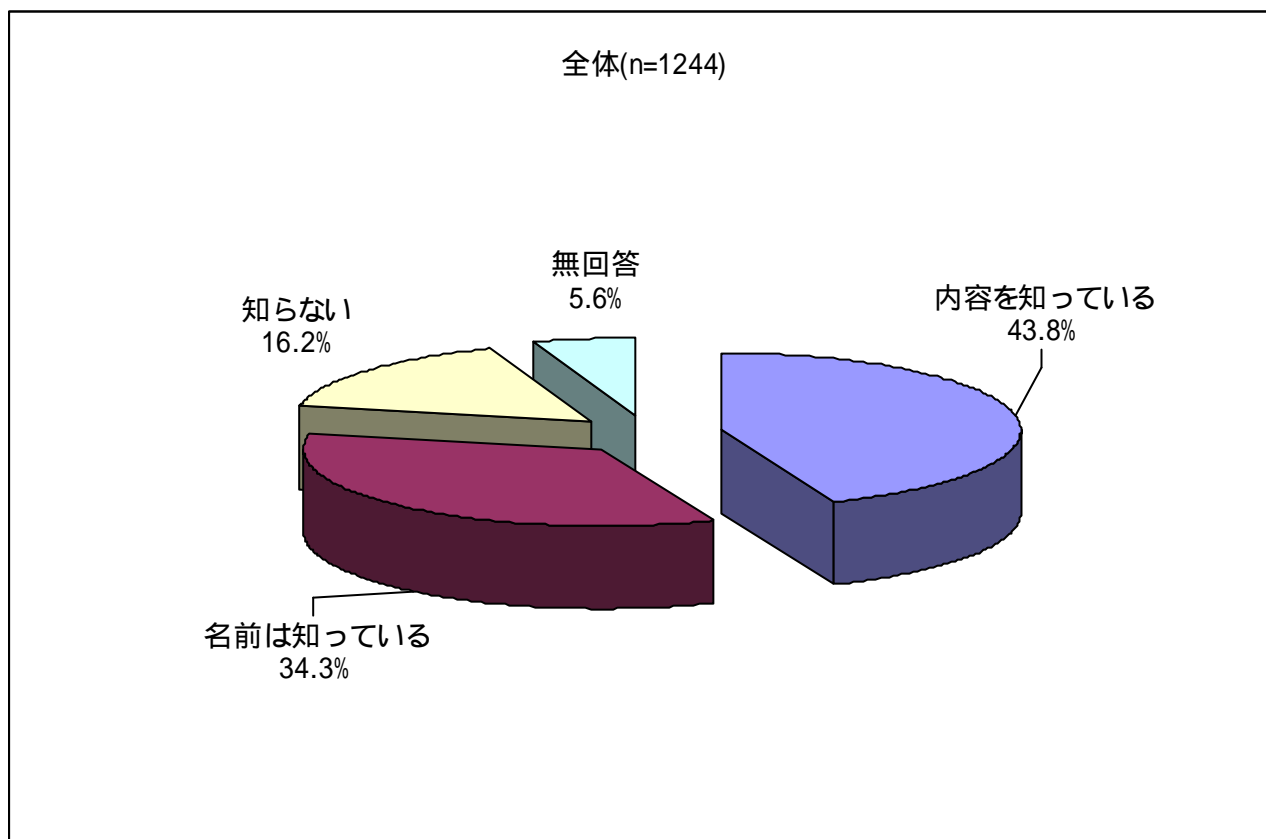
これに対して、「知らない」は2.1%、となっている。

“風力発電”は、64.7%の人が「知っている内容」と回答している。

## 「新エネルギー等」についての認知度（雪氷冷熱利用）

問 18 あなたは「新エネルギー等」についてどれくらい知っていますか。次の1～10のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつ をつけてください。

[ 4 雪氷冷熱利用（雪冷房、雪冷蔵など） ]



「新エネルギー等」についての認知度で“雪氷冷熱利用（雪冷房、雪冷蔵など）”については、「内容を知っている」が43.8%、「名前は知っている」が34.3%、となっている。これに対して、「知らない」は16.2%となっている。

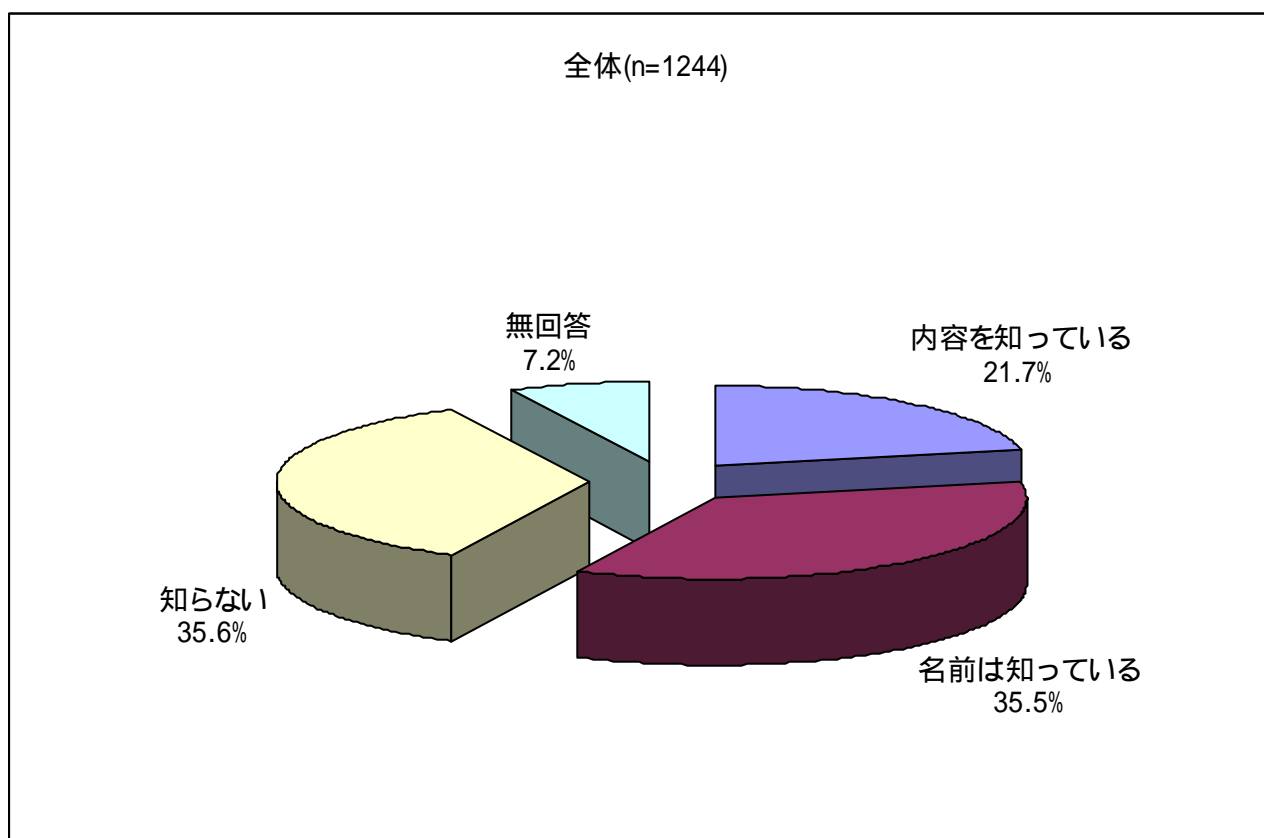
“雪氷冷熱利用（雪冷房、雪冷蔵など）”は、43.8%の人が「内容を知っている」と回答している。

## 「新エネルギー等」についての認知度（バイオマス 1 熱利用・発電、燃料製造）

問 18 あなたは「新エネルギー等」についてどれくらい知っていますか。次の1～10のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつ をつけてください。

### [5 バイオマス 1 熱利用・発電、燃料製造]

1 バイオマス： エネルギー源として活用が可能な木製品廃材やし尿、生ゴミなどの有機物のことをいい、再生可能エネルギーの1つ。発酵させ発生するメタンやエタノールを燃料として利用したり、固形燃料として利用します。



「新エネルギー等」についての認知度で“バイオマス熱利用・発電、燃料製造”については、「内容を知っている」が21.7%、「名前を知っている」が35.5%、となっている。

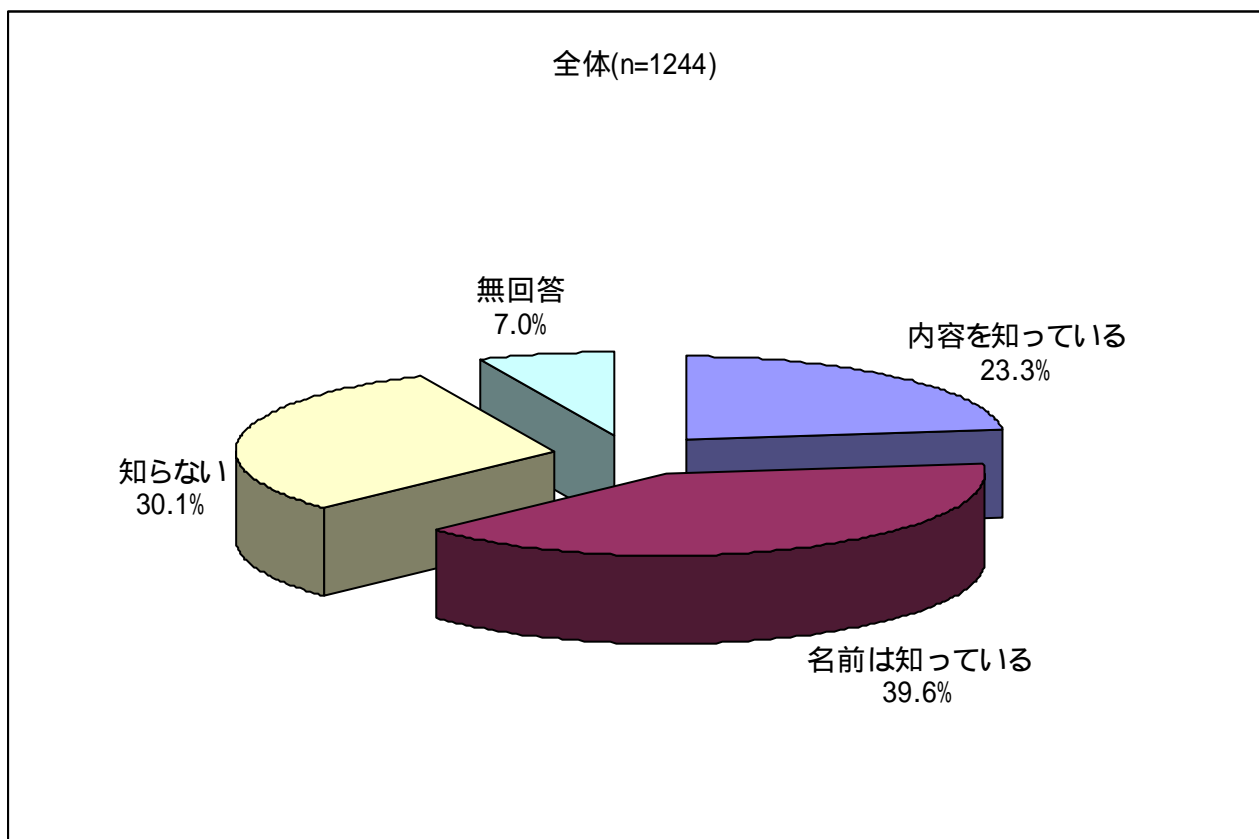
これに対して、「知らない」が35.6%、となっている。

“バイオマス熱利用・発電、燃料製造”は、21.7%の人が「内容を知っている」と回答している。

## 「新エネルギー等」についての認知度（廃棄物熱利用・発電、燃料製造）

問 18 あなたは「新エネルギー等」についてどれくらい知っていますか。次の1～10のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつ をつけてください。

[ 6 廃棄物熱利用・発電、燃料製造 ]



「新エネルギー等」についての認知度で“廃棄物熱利用・発電、燃料製造”については、「内容を知っている」が23.3%、「名前を知っている」が39.6%となっている。

これに対して、「知らない」は30.1%となっている。

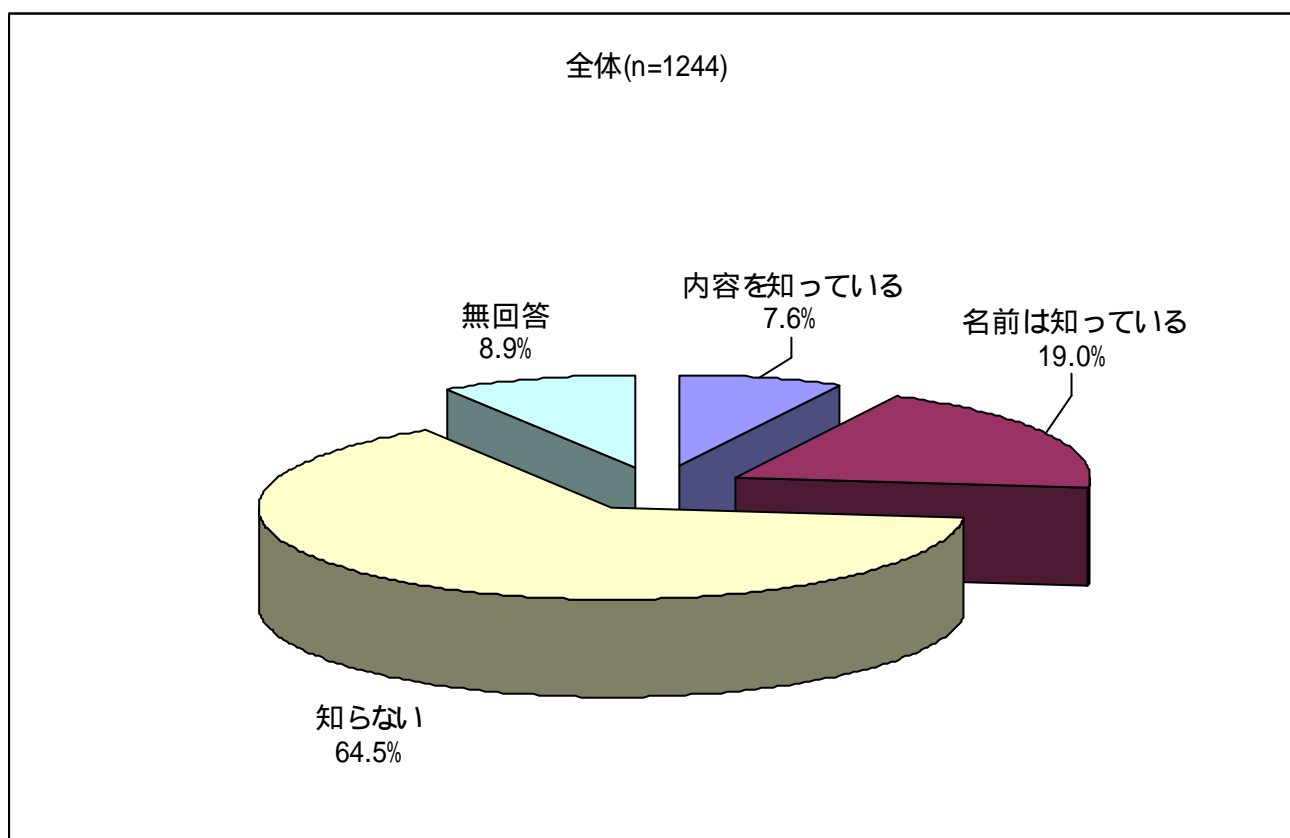
“廃棄物熱利用・発電、燃料製造”は、23.3%の人が「内容を知っている」と回答している。

## 「新エネルギー等」についての認知度（温度差エネルギー）

問 18 あなたは「新エネルギー等」についてどれくらい知っていますか。次の1～10のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつ をつけてください。

[7 温度差エネルギー<sup>2</sup>]

2 温度差エネルギー：海や川、下水処理水などは、夏・冬もあまり温度変化がなく、外気との温度差があります。これを温度差エネルギーといい、ヒートポンプや熱交換器を使って冷暖房に利用することができます。



「新エネルギー等」についての認知度で“温度差エネルギー”については、「内容を知っている」が7.6%、「名前は知っている」が19.0%、となっている。

これに対して、「知らない」は64.5%となっている。

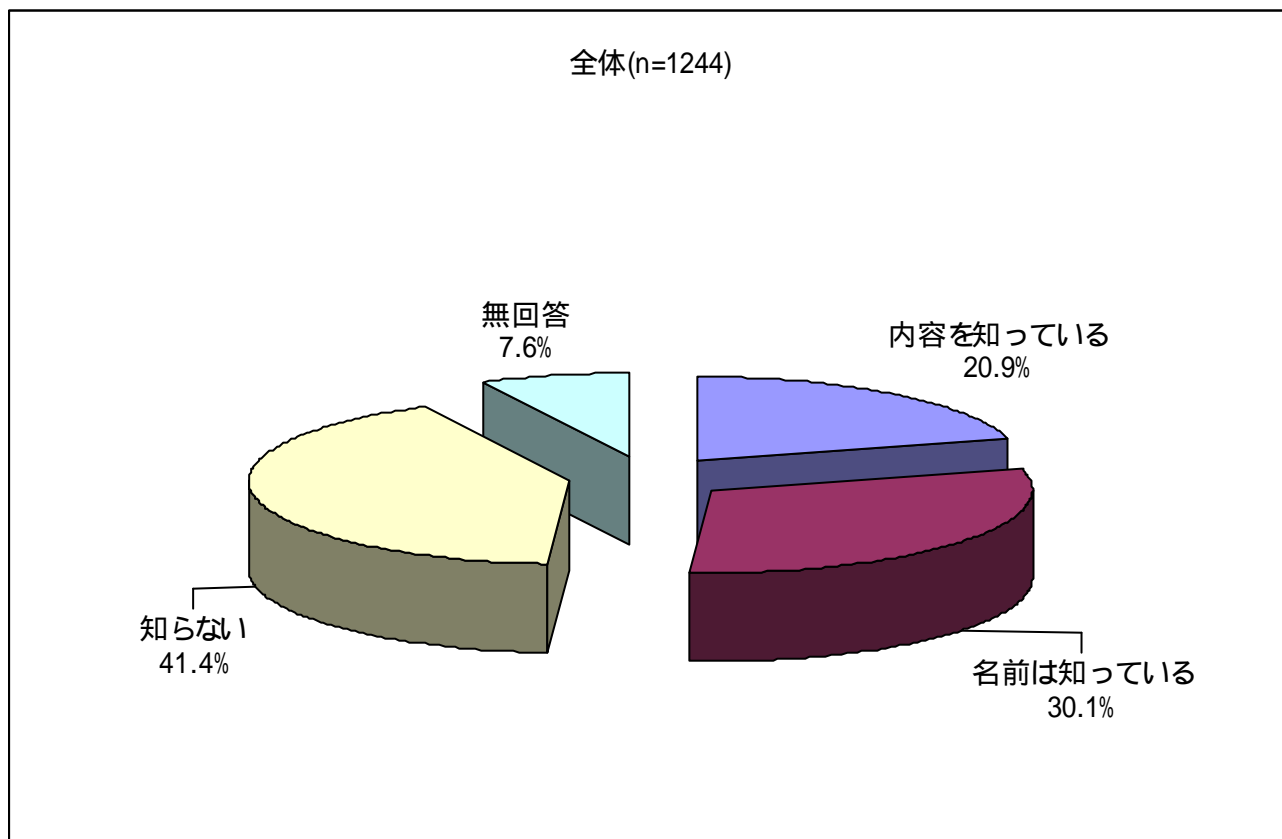
“温度差エネルギー”は、7.6%の人が「内容を知っている」と回答している。

## 「新エネルギー等」についての認知度（燃料電池）

問 18 あなたは「新エネルギー等」についてどれくらい知っていますか。次の1～10のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつ をつけてください。

[ 8 燃料電池 <sup>3</sup> ]

3 燃料電池： 水素と酸素を化学反応させて直接「電気」を発電する装置です。発電と同時に発生する熱も利用し、効率を高めます。



「新エネルギー等」についての認知度で“燃料電池”については、「内容を知っている」が20.9%、「名前を知っている」が30.1%、となっている。  
これに対して、「知らない」は41.4%となっている。

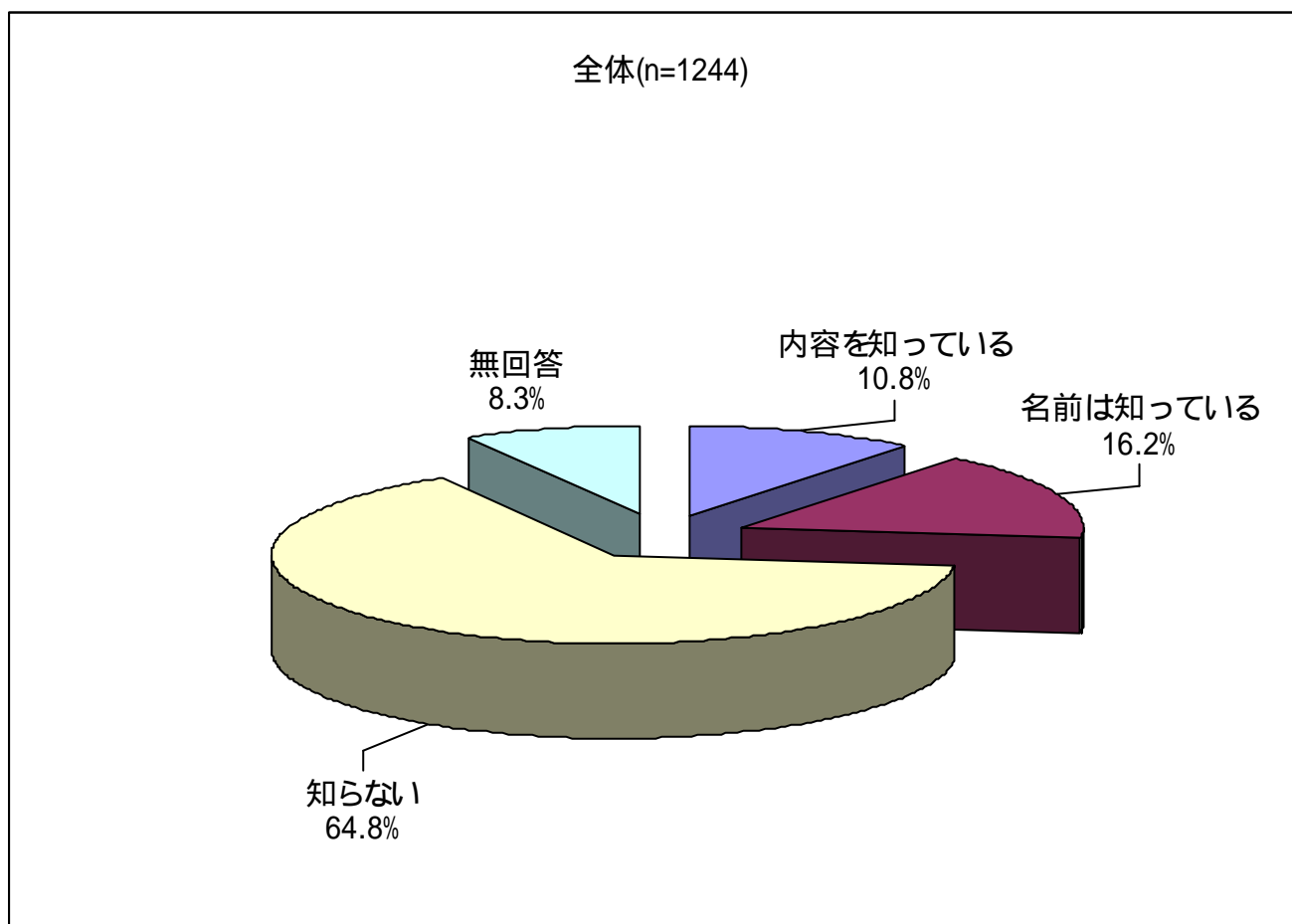
“燃料電池”は、20.9%の人が「内容を知っている」と回答している。

## 「新エネルギー等」についての認知度（天然ガスコージェネレーション）

問 18 あなたは「新エネルギー等」についてどれくらい知っていますか。次の1～10のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつ をつけてください。

[9 天然ガスコージェネレーション 4]

4 天然ガスコージェネレーション：天然ガスを燃焼し、発電機で「電気」を作るときに発生する「熱」も同時に利用して、給湯や暖房に利用するシステムです。



「新エネルギー等」についての認知度で“天然ガスコージェネレーション”については、「内容を知っている」が10.8%、「名前を知っている」が16.2%、となっている。

これに対して、「知らない」は64.8%、となっている。

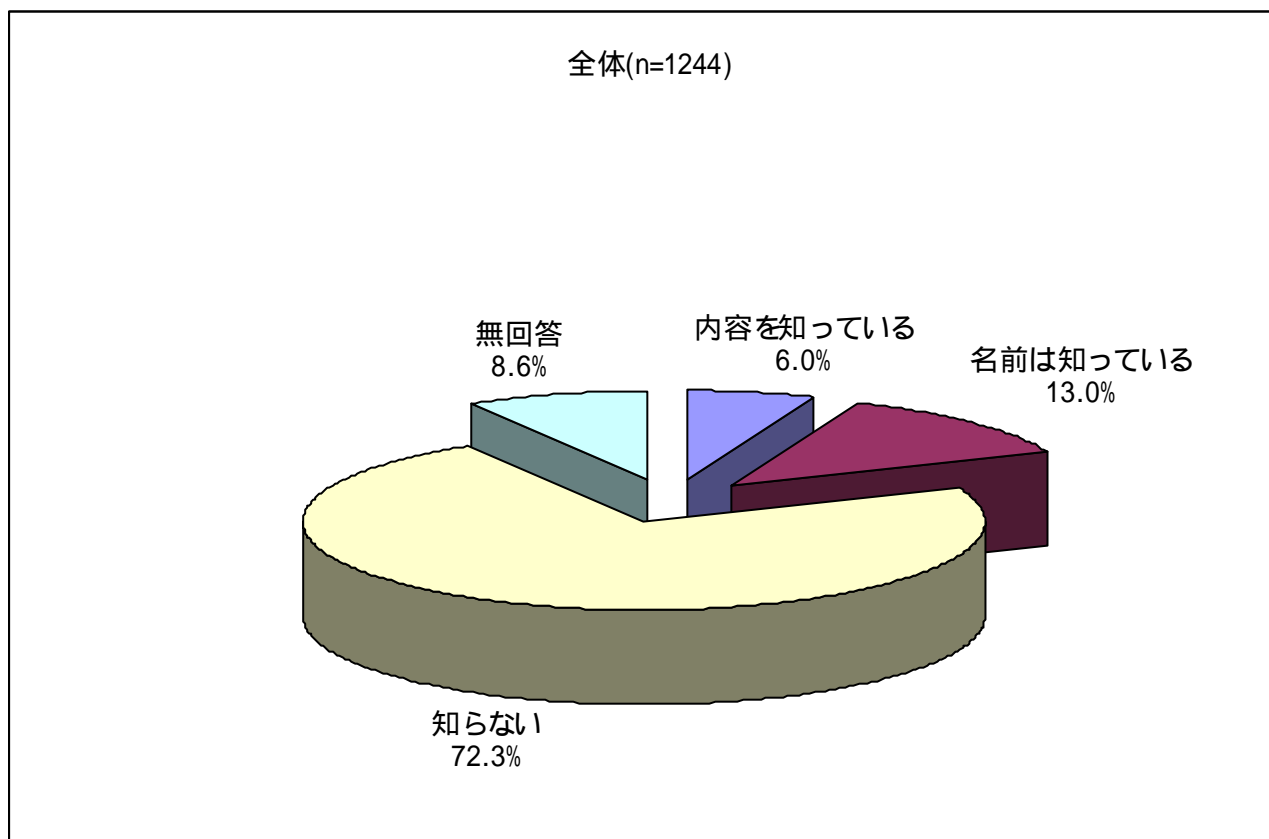
“天然ガスコージェネレーション”は、10.8%の人が「内容を知っている」と回答している。



## 「新エネルギー等」についての認知度（小水力・マイクロ水力発電）

問 18 あなたは「新エネルギー等」についてどれくらい知っていますか。次の1～10のそれぞれの項目について、最も近いものに1つずつ をつけてください。

[10 小水力・マイクロ水力発電]



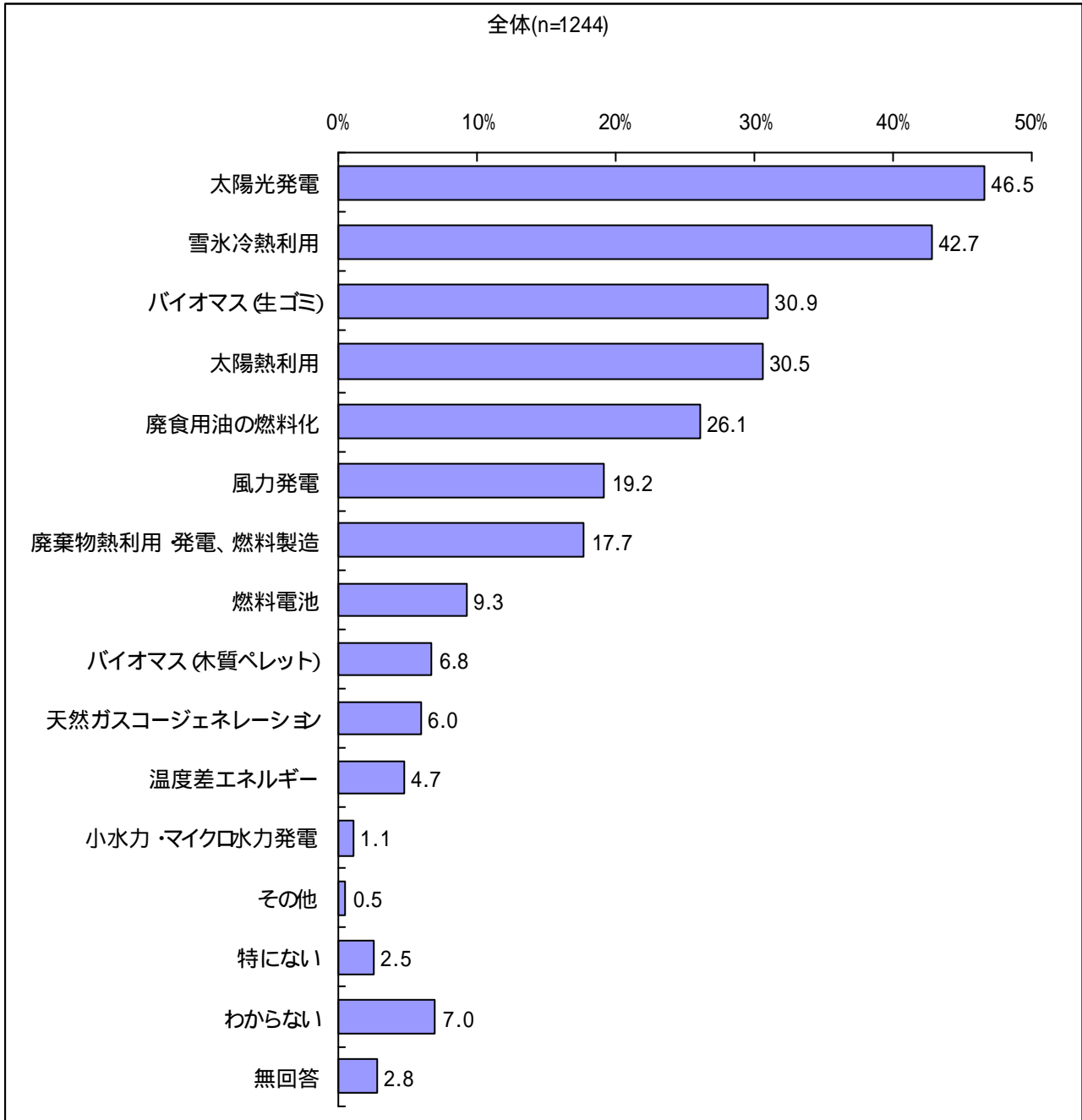
「新エネルギー等」についての認知度で“小水力・マイクロ水力発電”については、「内容を知っている」が6.0%、「名前を知っている」が13.0%、となっている。

これに対して、「知らない」は72.3%となっている。

“小水力・マイクロ水力発電”は、6.0%の人が「内容を知っている」と回答している。

## 札幌市に望む新エネルギー等

問 19 あなたが、札幌市に対して普及や促進を望む新エネルギー等は何ですか。次の中から、あてはまるものに3つまで をつけてください。

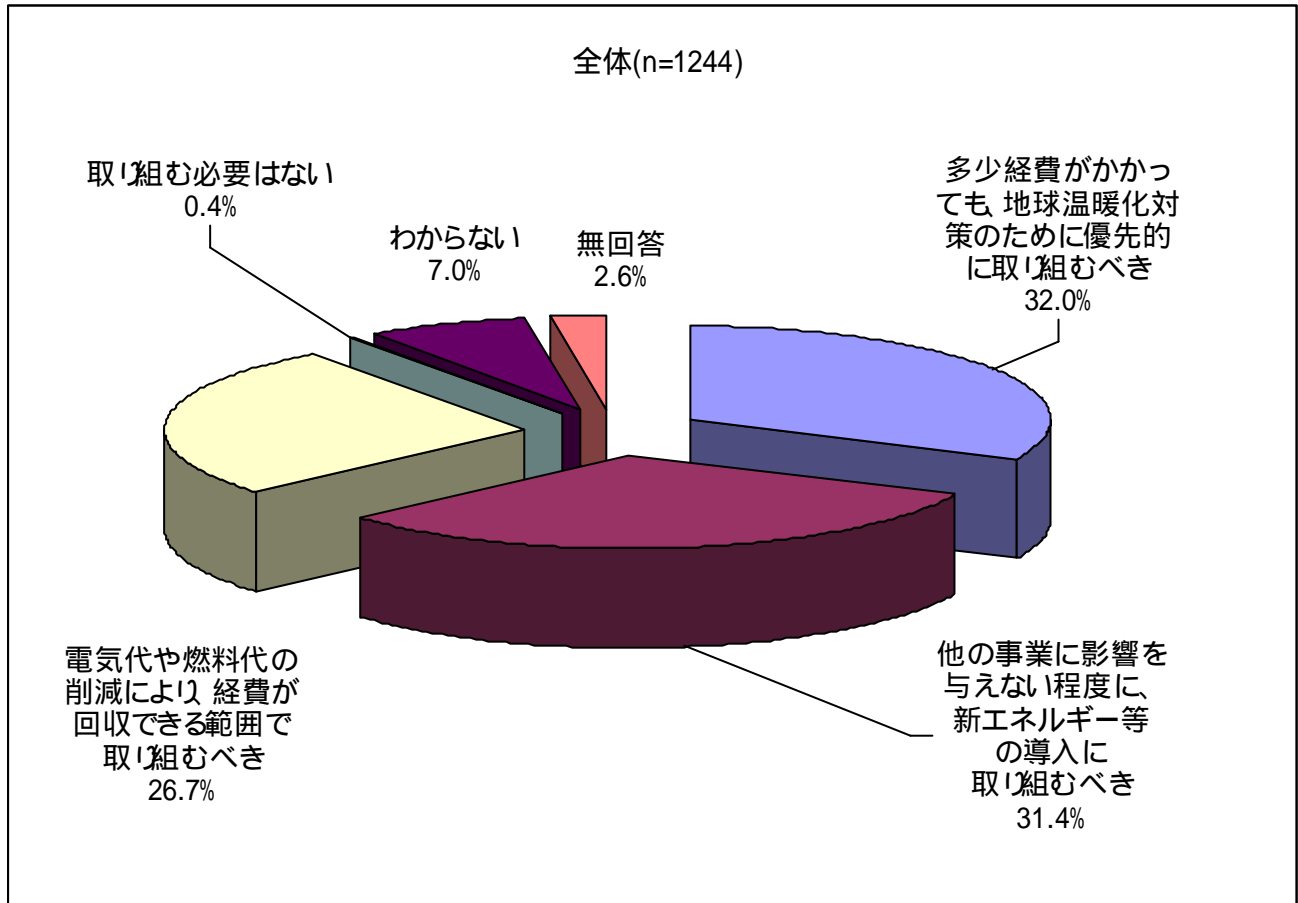


札幌市に望む新エネルギー等としては、「太陽光発電」が46.5%で第1位、「雪氷冷熱利用」が42.7%、「バイオマス(生ゴミ)」が30.9%、となっている。

札幌市に望む新エネルギー等は、「太陽光発電」が46.5%で第1位、「雪氷冷熱利用」が42.7%で第2位。

## 新エネルギー等に対する札幌市の取り組みへの評価

問 20 札幌市では、小学校に太陽光発電を設置したり、雪や廃棄物、下水処理水をエネルギーとして利用するなど新エネルギー等の取り組みを進めております。あなたは、新エネルギーに対する札幌市の取り組みについてどう思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。



新エネルギー等に対する札幌市の取り組みへの評価については、「多少経費がかかっても、地球温暖化対策のために優先的に取り組むべき」が 32.0%、「他の事業に影響を与えない程度に、新エネルギー等の導入に取り組むべき」が 31.4%、「電気代や燃料代の削減により、経費が回収できる範囲で取り組むべき」が 26.7% となっている。

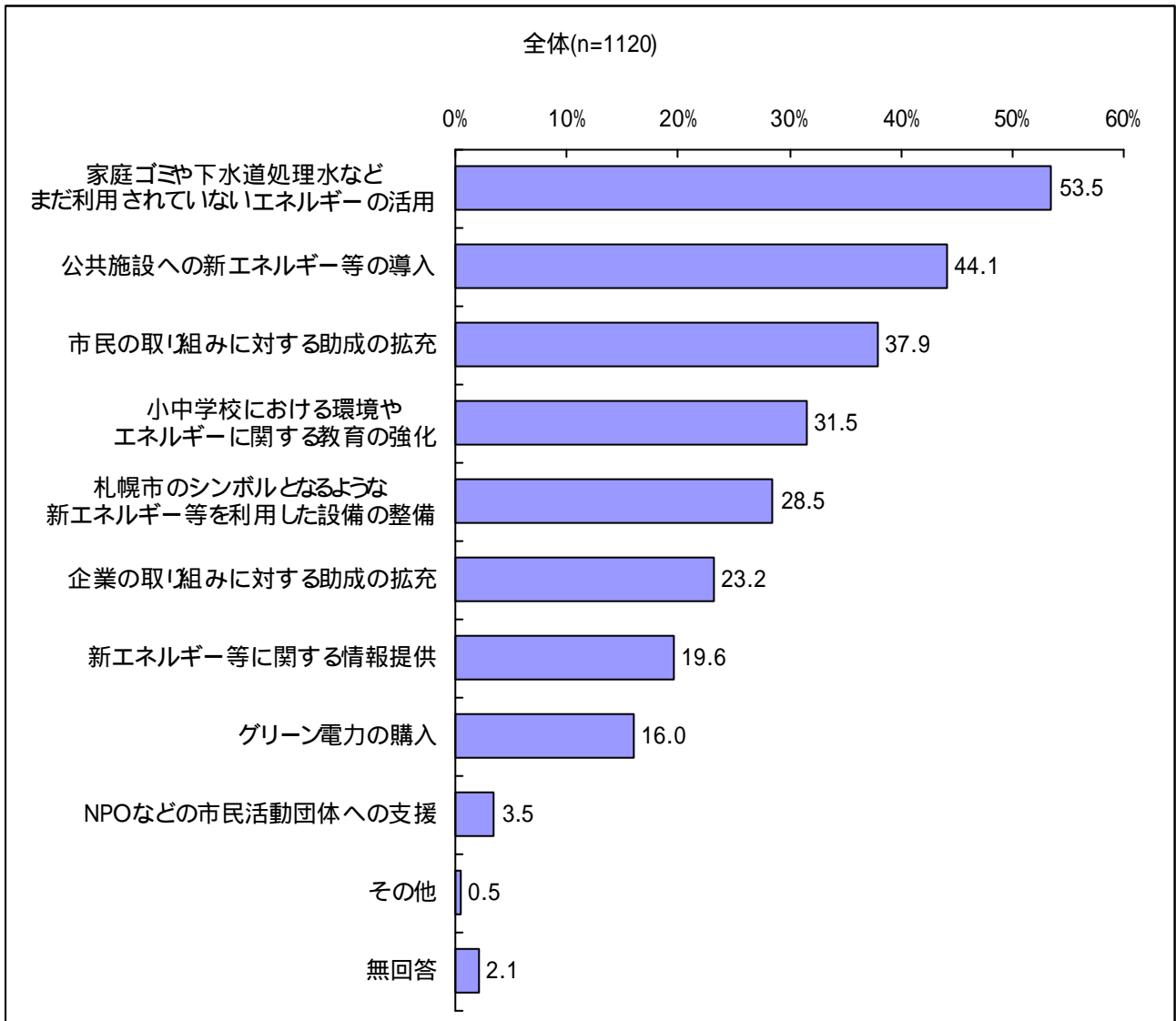
これに対して、「取り組む必要はない」は 0.4% となっている。

新エネルギー等に対する札幌市の取り組みへの評価については、「多少経費がかかっても、地球温暖化対策のために優先的に取り組むべき」が 32.0%。

## 新エネルギー等導入のための札幌市の施策

《問20で「1」、「2」、「3」のいずれかに つけた方にお聞きします》

問20の1 あなたは、新エネルギー等の導入について、札幌市としてどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から、あてはまるものに3つまで をつけてください。

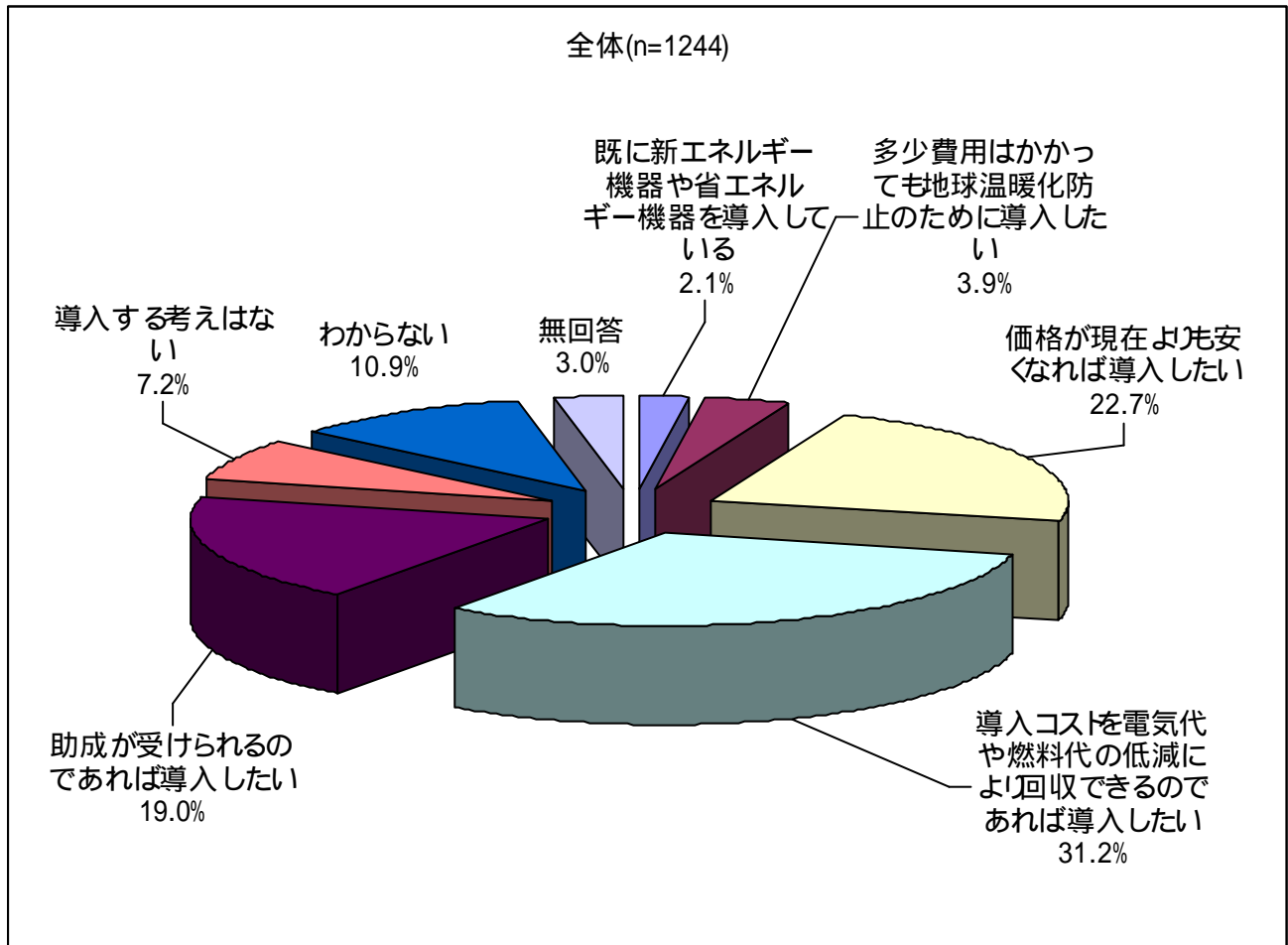


新エネルギー等導入のための札幌市の施策としては、「家庭ゴミや下水道処理水などまだ利用されていないエネルギーの活用」が 53.5%で第1位、「公共施設への新エネルギー等の導入」が 44.1%、「市民の取り組みに対する助成の拡充」が 37.9%、となっている。

新エネルギー等導入のための札幌市の施策としては、「家庭ゴミや下水道処理水などまだ利用されていないエネルギーの活用」が 53.5%で第1位、「公共施設への新エネルギー等の導入」が 44.1%で第2位。

## エネルギー機器の導入意向

問 21 地球温暖化対策を進めるためには、ご家庭での石油などの化石燃料の消費削減も重要です。あなたは、ご自宅に新エネルギー機器や省エネルギー機器を導入したいと思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものに1つ をつけてください。



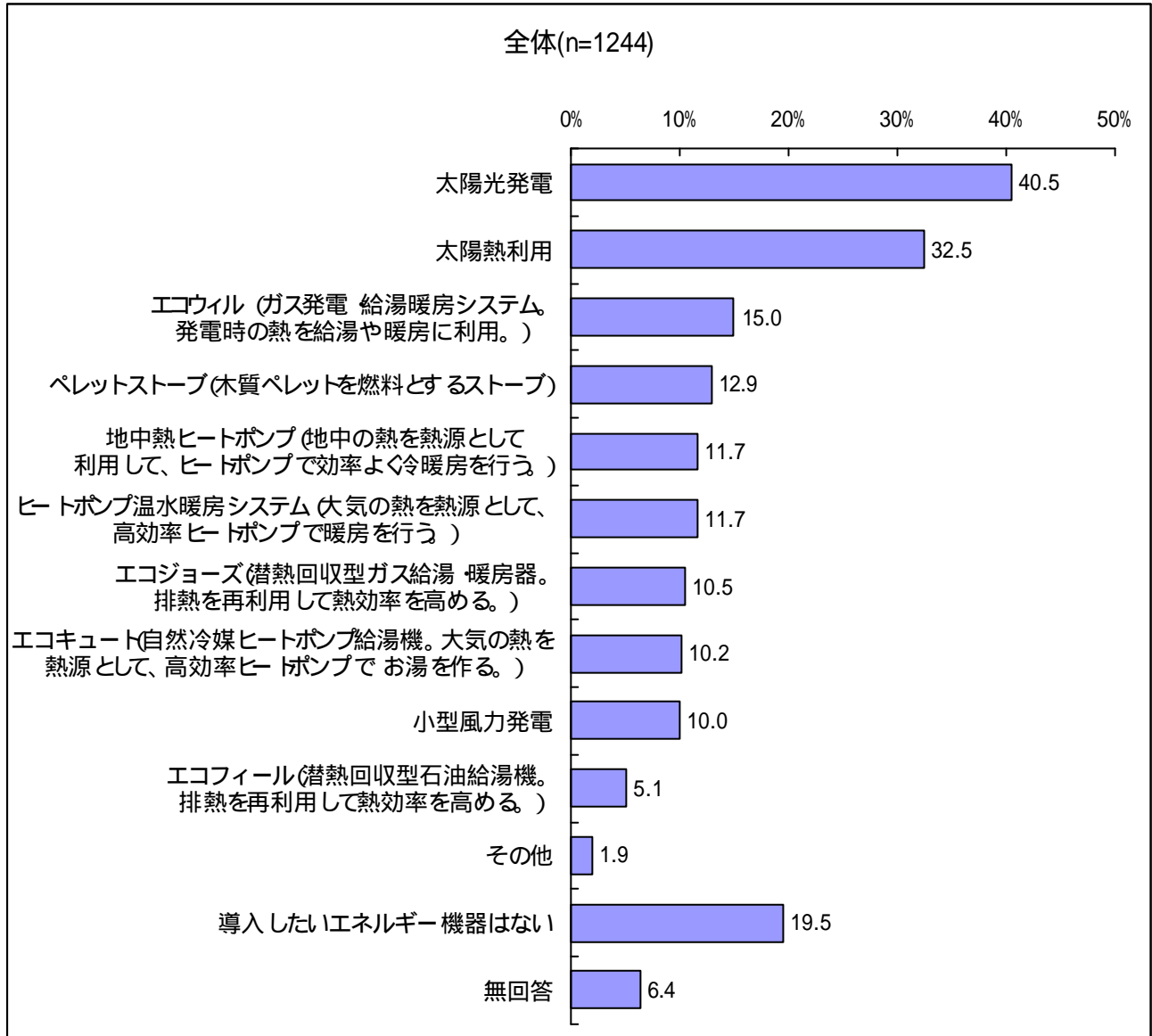
エネルギー機器の導入意向については、「導入コストを電気代や燃料代の低減により回収できるのであれば導入したい」が 31.2%、「価格が現在よりも安くなれば導入したい」が 22.7%、「助成が受けられるのであれば導入したい」が 19.0%、となっている。

これに対して、「導入する考えはない」は 7.2%、となっている。

エネルギー機器の導入意向については、「導入コストを電気代や燃料代の低減により回収できるのであれば導入したい」が 31.2%。

## 導入したいエネルギー機器

問 22 あなたは、ご自宅に導入したいと思う新エネルギー機器や省エネルギー機器はありますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも をつけてください。



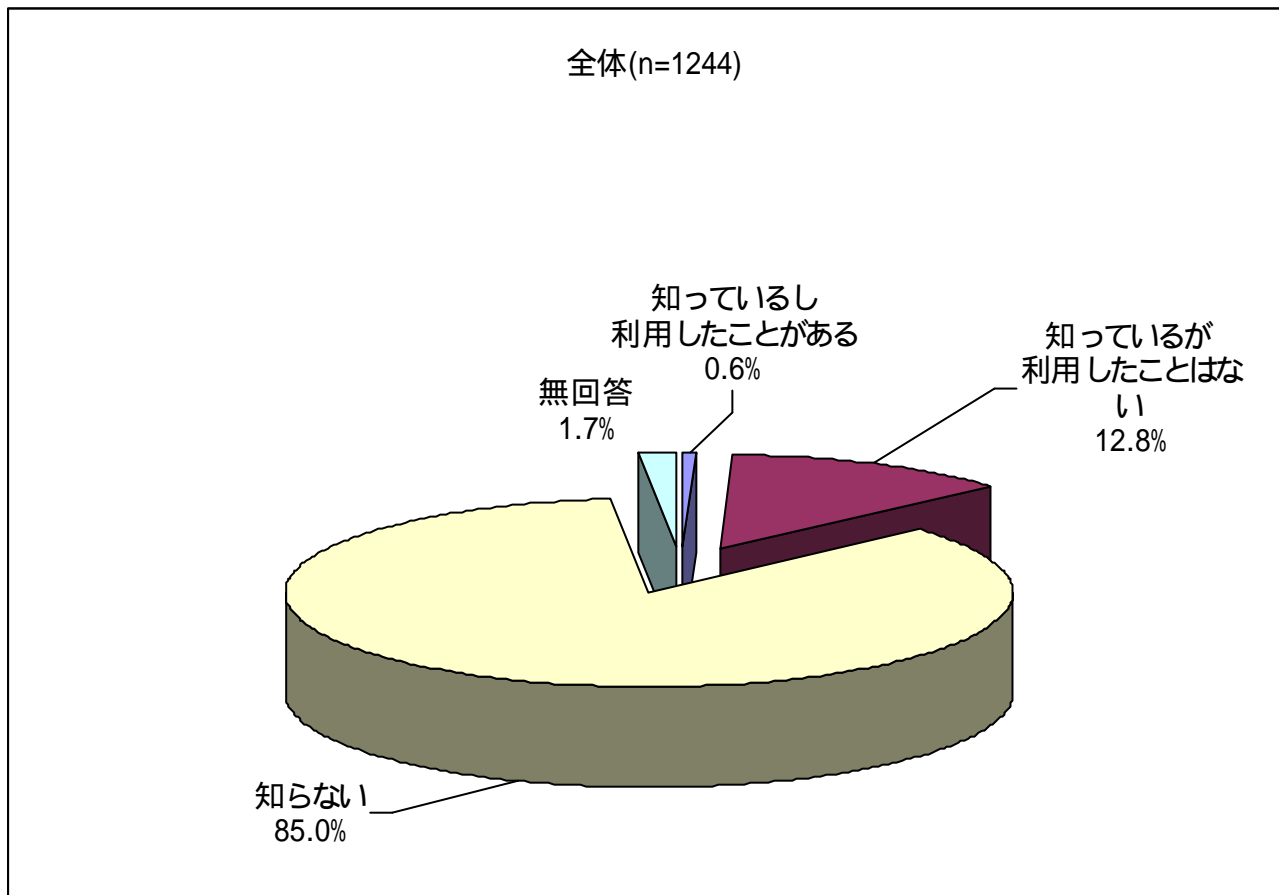
導入したいエネルギー機器としては、「太陽光発電」が 40.5%で第 1 位、「太陽熱利用」が 32.5%、「エコウィル (ガス発電・給湯暖房システム。発電時の熱を給湯や暖房に利用。)」が 15.0%、となっている。

これに対して、「導入したいエネルギー機器はない」は 19.5%、となっている。

導入したいエネルギー機器としては、「太陽光発電」が 40.5%で第 1 位、「太陽熱利用」が 32.5%で第 2 位。

## 「札幌・エネルギーeco プロジェクト」の認知度

問 23 あなたは、「札幌・エネルギーeco プロジェクト」を知っていますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。

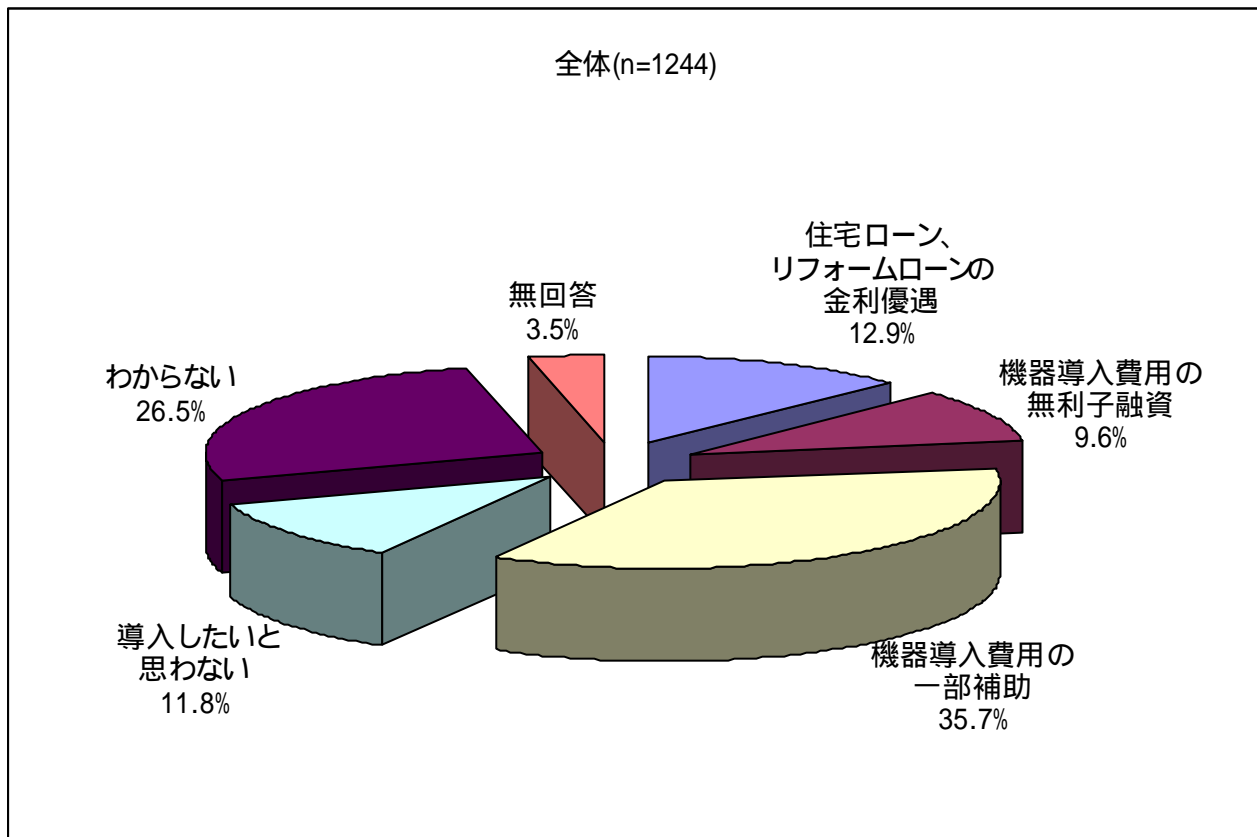


「札幌・エネルギーeco プロジェクト」については、「知っているが利用したことはない」が 12.8%、「知っているし利用したことがある」が 0.6%、となっている。  
これに対して、「知らない」は 85.0% となっている。

「札幌・エネルギーeco プロジェクト」については、「知っているが利用したことはない」が 12.8%。

## エネルギー機器導入のための支援制度

問 24 今後新エネルギー機器や省エネルギー機器をご自宅に導入するために、現在札幌市が行っている支援制度の中で、あなたはどの支援制度を利用したいと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。



エネルギー機器導入のために利用したい支援制度については、「機器導入費用の一部補助」が 35.7%、「住宅ローン、リフォームローンの金利優遇」が 12.9%、「機器導入費用の無利子融資」が 9.6%、となっている。

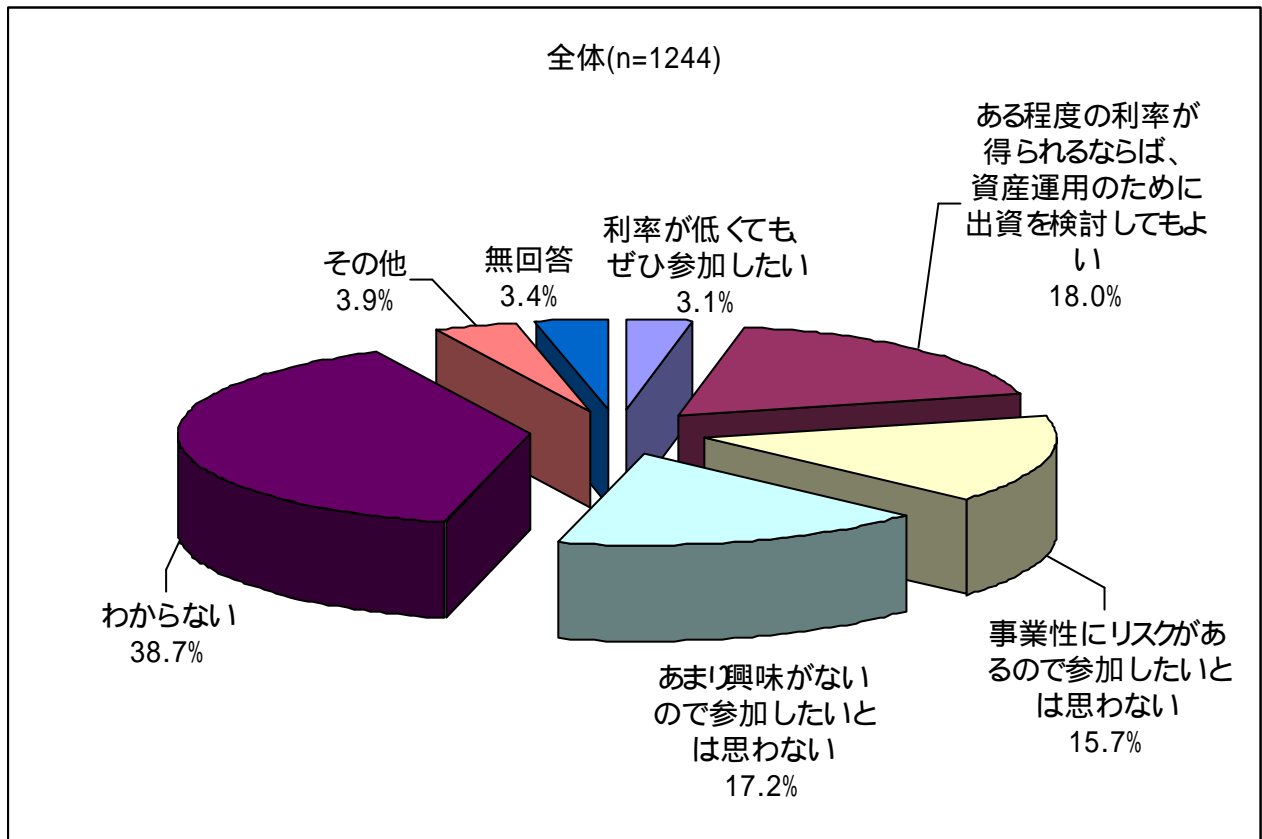
これに対して、「導入したいと思わない」は 11.8% となっている。

エネルギー機器導入のために利用したい支援制度については、「機器導入費用の一部補助」が 35.7%。



## 共同発電所設置取り組みへの参加意向

- 問 25 新エネルギー等の利用拡大に賛同する市民が、少しずつ出資金を出し合って、風力発電や太陽光発電などの共同発電所を設置する取り組みが各地で始まっています。あなたは、今後、このような取り組みがあれば参加してみたいと思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものに1つ をつけて下さい。(例；一口10万円～50万円、目標利回り2～3%程度、期間10年と15年程度)



共同発電所設置取り組みへの参加意向については、「ある程度の利率が得られるならば、資産運用のために出資を検討してもよい」が18.0%、「利率が低くても、ぜひ参加したい」が3.1%、となっている。

これに対して、「あまり興味がないので参加したいとは思わない」が17.2%、「事業性にリスクがあるので参加したいとは思わない」が15.7%、となっている。

共同発電所設置取り組みへの参加意向については、「ある程度の利率が得られるならば、資産運用のために出資を検討してもよい」が18.0%、「利率が低くても、ぜひ参加したい」が3.1%。